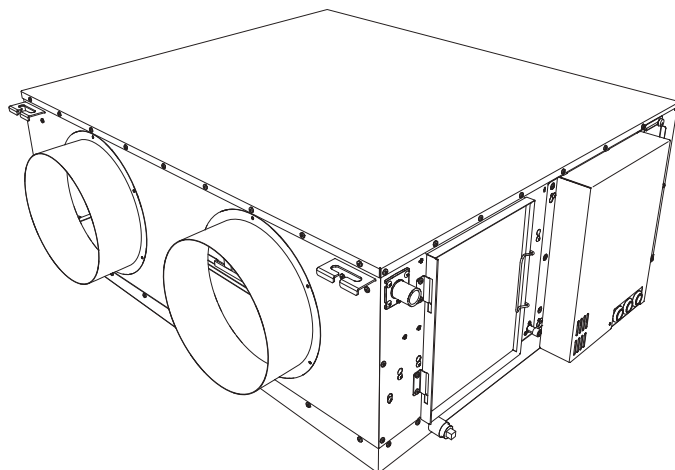


## WM-VIB-Tタイプ



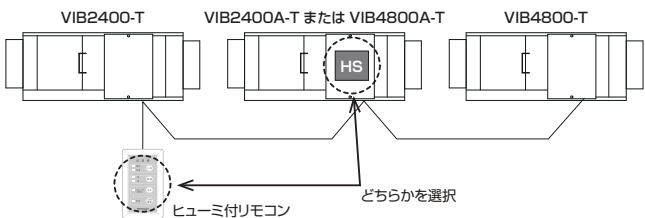
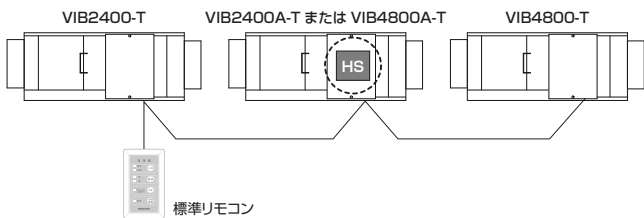
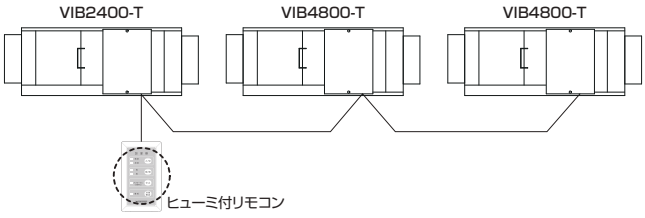
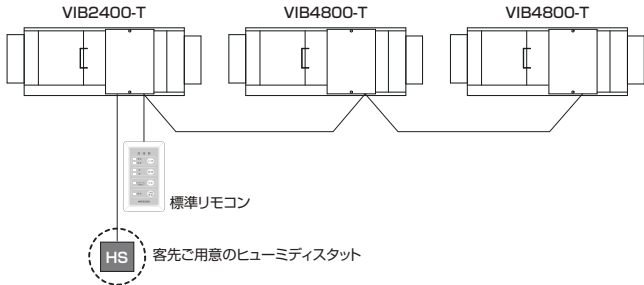
このたびはウエットマスター滴下浸透気化式加湿器をご採用いただき、まことにありがとうございます

### 施工者の方へ

- 加湿器の機能を十分に発揮させ、安全にご使用いただくためには、適切な取付工事が必要です。施工にあたっては必ず本書をお読みいただき、本書の内容に従って施工してください。
- 本書を含めて製品添付の説明書類は、必ずお客様にお渡しして、保管いただくように依頼してください。

# はじめに

本書は下記に示す4種類のグループ制御パターンを標準とし、標準制御する場合の説明を記載しています。下記以外の制御パターンでグループ制御を行う場合は追加で別途設定等が必要となります。詳細につきましては、当社宛お問い合わせください。

制御パターン①	制御パターン②
 <p>●機器構成</p> <p>【加湿器】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ VIB2400-T/VIB4800-T（複数台）</li> <li>・ VIB2400A-T または VIB4800A-T（1台）</li> </ul> <p>【リモコン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヒューミ付リモコン</li> </ul> <p>●湿度検知</p> <p>VIB2400A-T または VIB4800A-T に内蔵のヒューミディスタット、もしくはヒューミ付リモコンに内蔵のヒューミディスタットのどちらかを選択可</p>	 <p>●機器構成</p> <p>【加湿器】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ VIB2400-T/VIB4800-T（複数台）</li> <li>・ VIB2400A-T または VIB4800A-T（1台）</li> </ul> <p>【リモコン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標準リモコン</li> </ul> <p>●湿度検知</p> <p>VIB2400A-T または VIB4800A-T に内蔵のヒューミディスタットで湿度検知を行う</p>
制御パターン③	制御パターン④
 <p>●機器構成</p> <p>【加湿器】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ VIB2400-T/VIB4800-T（複数台）</li> </ul> <p>【リモコン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヒューミ付リモコン</li> </ul> <p>●湿度検知</p> <p>ヒューミ付リモコンに内蔵のヒューミディスタットで湿度検知を行う</p>	 <p>●機器構成</p> <p>【加湿器】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ VIB2400-T/VIB4800-T（複数台）</li> </ul> <p>【リモコン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標準リモコン</li> </ul> <p>●湿度検知</p> <p>客先ご用意のヒューミディスタットで湿度検知を行う</p>

# 目次

■はじめに.....	P.1	4-5 外部指令信号入力による遠方発停(外部指令制御)を使用する場合のディップスイッチ設定 .....	P.36
■安全上のご注意.....	P.3	4-6 ヒューミ付リモコンによる各種設定 .....	P.37
1 一般 .....	P.4	4-6-1 各モードについて.....	P.37
1-1 概要 .....	P.4	4-6-2 設定モード .....	P.38
1-2 加湿原理について .....	P.4	a)使用するヒューミディスタットの選択 .....	P.38
1-3 給水水质について .....	P.4	b)ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の外部機器と連動運転を行うための設定 .....	P.39
1-4 使用場所の制限について .....	P.4	c)湿度検知の感度変更 .....	P.40
2 構造と各部の名称 .....	P.5 ~ 6	d)ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の設定湿度の変更 .....	P.41
2-1 加湿器本体 .....	P.5	4-6-3 設定確認モード .....	P.43
2-2 リモコンスイッチ .....	P.6	4-6-4 設定初期化モード.....	P.45
3 施工 .....	P.7 ~ 30	4-7 加湿器本体に内蔵されたヒューミディスタットで湿度検知する場合の設定湿度の変更 .....	P.46
3-1 梱包内容(付属品) .....	P.7	5 試運転 .....	P.47 ~ 51
3-2 加湿器本体の取付 .....	P.7	5-1 客先ご用意のヒューミディスタットで湿度検知する場合 .....	P.47
3-2-1 本体の取付 .....	P.7	5-2 リモコンスイッチに内蔵されたヒューミディスタットで湿度検知する場合 .....	P.48
3-2-2 リモコンスイッチの取付と配線要領 .....	P.9	5-3 加湿器本体に内蔵されたヒューミディスタットで湿度検知する場合 .....	P.50
3-3 給排水配管 .....	P.11	6 運転動作 .....	P.52 ~ 55
3-3-1 給水配管 .....	P.11	6-1 リモコンスイッチによる運転動作 .....	P.52
3-3-2 排水配管 .....	P.12	6-2 基本的な運転動作 .....	P.52
3-4 電気配線 .....	P.13	6-3 リモコンスイッチ、外部指令信号入力の後押し優先機能 .....	P.53
3-4-1 共通事項 .....	P.13	6-4 運転動作と外部信号出力(運転信号、警報信号) .....	P.53
3-4-2 VIB2400-T、VIB4800-T と標準リモコンの組み合わせで使用する場合 .....	P.14	6-5 定時乾燥運転について .....	P.54
【電気回路図・結線要領図・結線参考図】		6-6 警報発生時の運転停止およびリモコンスイッチの表示について .....	P.54
VIB2400-T/VIB4800-T・標準リモコン .....	P.15 ~ 18	7 仕様 .....	P.55 ~ 57
VIB2400-T/VIB4800-T・ヒューミ付リモコン .....	P.19 ~ 22	7-1 VIB2400-T、VIB4800-T(標準仕様) .....	P.55
VIB2400A-T/VIB4800A-T・標準リモコン .....	P.23 ~ 26	7-2 VIB2400A-T、VIB4800A-T(加湿器本体内ヒューミディスタット内蔵仕様) .....	P.56
VIB2400A-T/VIB4800A-T・ヒューミ付リモコン .....	P.27 ~ 30	7-3 ヒューミ付リモコン .....	P.57
4 各種設定 .....	P.31 ~ 46		
4-1 アドレス設定(リモコンスイッチ初期設定操作)、接続台数確認 .....	P.31		
4-1-1 アドレス設定方法 .....	P.31		
4-1-2 加湿器本体接続台数の確認方法 .....	P.31		
4-2 警報信号出力(外部信号出力)を使用する場合 .....	P.32		
4-3 運転信号出力(外部信号出力)を使用する場合のディップスイッチ設定 .....	P.32		
4-4 外部機器と連動運転を行う場合の設定 .....	P.34		
4-4-1 ヒューミ付リモコンで連動運転を行う場合 .....	P.34		
4-4-2 加湿器本体に内蔵されたヒューミディスタットで連動運転を行う場合 .....	P.34		

## 安全上のご注意

取付および取扱は、本書をよくお読みのうえ、本書の内容に従って確実に行ってください。

ここに示した注意事項は「⚠ 警告」・「⚠ 注意」に区分していますが、誤った取付や取扱をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを、特に「⚠ 警告」の欄にまとめて記載しています。また「⚠ 注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

取付工事完了後は、試運転を行って異常がないことを確認してください。また、本書を含めて製品添付の説明書類は、必ずお客様にお渡しして、保管いただくように依頼してください。

### ⚠ 警告

- 本製品は、専門業者の管理のもとにご使用ください。
- 取付は、専門業者に依頼してください。取付工事に不備があると、水もれや感電、火災等の事故の原因になります。
- 取付工事は製品添付の説明書類に従って確実に行ってください。取付工事に不備があると、水もれや感電、火災等の事故の原因になります。
- 取付は、重さに充分耐える所に確実に行ってください。強度不足や取付工事に不備があると、落下や転倒等による事故の原因になります。
- 製品の大きさ、重さに注意してください。取付には製品を支持する揚重機等を使用し、作業者の危険を防止するための措置を講じてください。
- 高さが2メートル以上の箇所で作業を行うときは、適正な足場を確保し安全带を使用する等、墜落による作業者の危険を防止するための措置を講じてください。
- 作業時は、けが防止のため保護手袋を着用してください。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規定」および製品添付の説明書類に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電気回路の容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。
- 電気配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災の原因になります。
- 本製品は給水器具等の認証品です（第三者認証品）。給水配管工事は、所轄水道局（水道事業者）指定の給水装置工事事業者の方が施工してください。
- 工事の部材は付属品および指定の部材をご使用ください。寸法や材質等の適合しない部材を使用すると、水もれや感電、火災等の事故の原因になります。
- 水道法、消防法等に規制される部材の取扱いについては、専門業者に依頼してください。
- 改造は絶対にしないでください。部品交換を含め、修理は当社または専門業者にご相談ください。修理に不備があると、水もれや感電、火災等の事故の原因になります。
- 保守点検作業は、当社または専門業者にご相談いただくか、設備機器に関する知識および作業経験のある方が行ってください。保守点検作業に不備があると、水もれや感電、火災等の原因になります。
- 保守点検作業を行うときは、必ず運転を停止して元電源を切ってください。

### ⚠ 注意

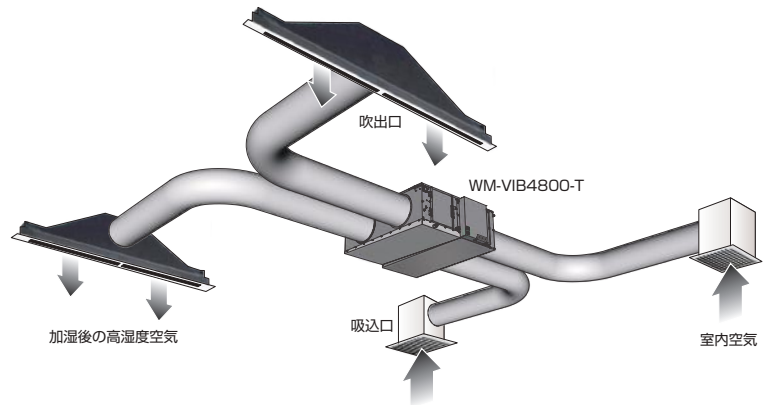
- 本製品は、病院空調等、特に清浄度を必要とする空調設備には使用できないことがあります。このような場合は当社までご相談ください。
- 給水の水質は、必ず水道法に定められた水道法水質基準に適合した飲料水をご使用ください（上水道の使用を推奨します）。水質が不適当な場合は、室内空気の汚れの原因になることがあります。
- 配管工事は、製品添付の説明書類に従って確실히行い、結露が生じないよう保温してください。配管工事に不備があると、水もれによる事故の原因になります。
- アース接続（D種接地工事）を行ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。
- 加湿器元電源の漏電ブレーカを取り付けてください。漏電ブレーカが取り付けられていないと、感電の原因になることがあります。
- 正しい容量のヒューズ以外は使用しないでください。不適当な容量のヒューズや針金・銅線等を使用すると、故障や火災の原因になることがあります。
- 本製品の下に濡れて困るものを置かないでください。
- メンテナンスのために、加湿器直下には移動できないものを置かないでください。

# 1 一般

## 1-1 概要

- VIBタイプは加湿器本体ケーシングに加湿モジュール、ファン、ドレンパンが組み込まれたユニット型加湿器です。加湿器本体を天井内へ隠蔽設置し、ダクト接続した吸込口・吹出口より室内空気に直接加湿を行う単独運転の気化式加湿器です。
- 本体内に組み込まれた給水ヘッドより滴下給水して、加湿材表面で流通空気との顕熱～潜熱の熱交換を行うことにより水分を気化蒸発させて加湿します。
- 本製品は給水装置の性能基準適合品（第三者認証品：（一財）電気安全環境研究所）で、水道管への直接連結が可能です。

VIBタイプのダクト接続例



### 給水装置の第三者認証について

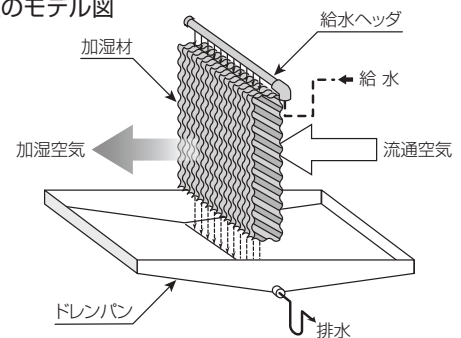
水道法第16条に基づく給水装置の構造及び材質の基準に関する省令に対し、給水器具等の認証機関である一般財団法人 電気安全環境研究所（JET）で耐圧性能、水撃限界性能、逆流防止性能、負圧破壊性能などの性能基準への適合確認および生産工場の品質管理体制等の確認を行って認証を取得し、加湿器本体銘板に認証マークを表示しています。



## 1-2 加湿原理について

- 給水は給水ヘッドから加湿材に均一に滴下され、下方に向かって浸透します。気流が加湿材を通過する際に加湿材表面から水分のみが気化蒸発して加湿が行われ、余剰水は加湿材の汚れなどを含みながらドレンとして排水されます（自己洗浄効果）。

加湿原理のモデル図



## 1-3 給水水質について

- 給水の水質は、水道法水質基準に準ずる飲料水をご使用ください（上水道の使用を推奨します）。

※加湿モジュールは、使用によって汚れが堆積するため、加湿能力および加湿による気化冷却効果が徐々に低下します。以下の点にご注意ください。

\* 汚れの量は、水質や運転環境の様々な要因によって変化しますので定期的に監視し、汚れの質や量に応じた洗浄方法、洗浄サイクルを定めてください。水道法水質基準に準じている場合でも、全硬度、シリカ成分量などが多ければ、それだけ汚れやスケール成分の析出量も多くなる可能性があります。参考として、（一社）日本冷凍空調工業会標準規格では「冷凍空調機器用冷却水水質基準（JRA-GL02-1994）」において、冷却水の補給水の水質についてスケールの傾向に影響を与える項目と基準は、pH

(25℃):6.8～8.0、導電率(25℃):30mS/m以下、酸消費量(pH4.8):50mgCaCO<sub>3</sub>/ℓ以下、全硬度:70mgCaCO<sub>3</sub>/ℓ以下、カルシウム硬度:50mgCaCO<sub>3</sub>/ℓ以下、イオン状シリカ濃度:30mgSiO<sub>2</sub>/ℓ以下とされています。ただし、上記基準を満たした水でも、地下水・井戸水・地下水を利用した専用水道・工業用水を利用した水の使用では、その含有成分の影響で早期のスケール発生やスケール飛散が生じる場合がありますのでご注意ください。また、軟水器処理水および軟水器処理水と地下水・井戸水・地下水を利用した専用水道・工業用水との混合水は使用しないでください。軟質のスケールが析出し、飛散することがあります。

## 1-4 使用場所の制限について

- 滴下浸透気化式加湿器は、下記のような現場では使用できないことがありますので、事前に当社宛お問い合わせください。

- \* 通気、設置場所に腐食性ガスが予想される場合
- \* 厨房、食品工場その他、通気に塩分やオイルミストを含むおそれのある場合
- \* 機械工場など、通気に金属製の塵埃を含むおそれのある場合
- \* 病院などの特殊空調

## 2 構造と各部の名称

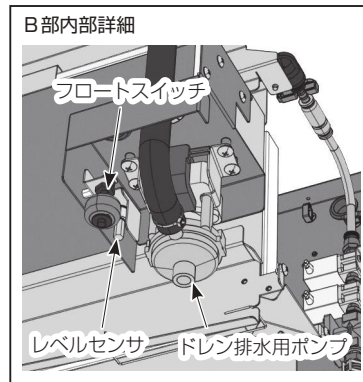
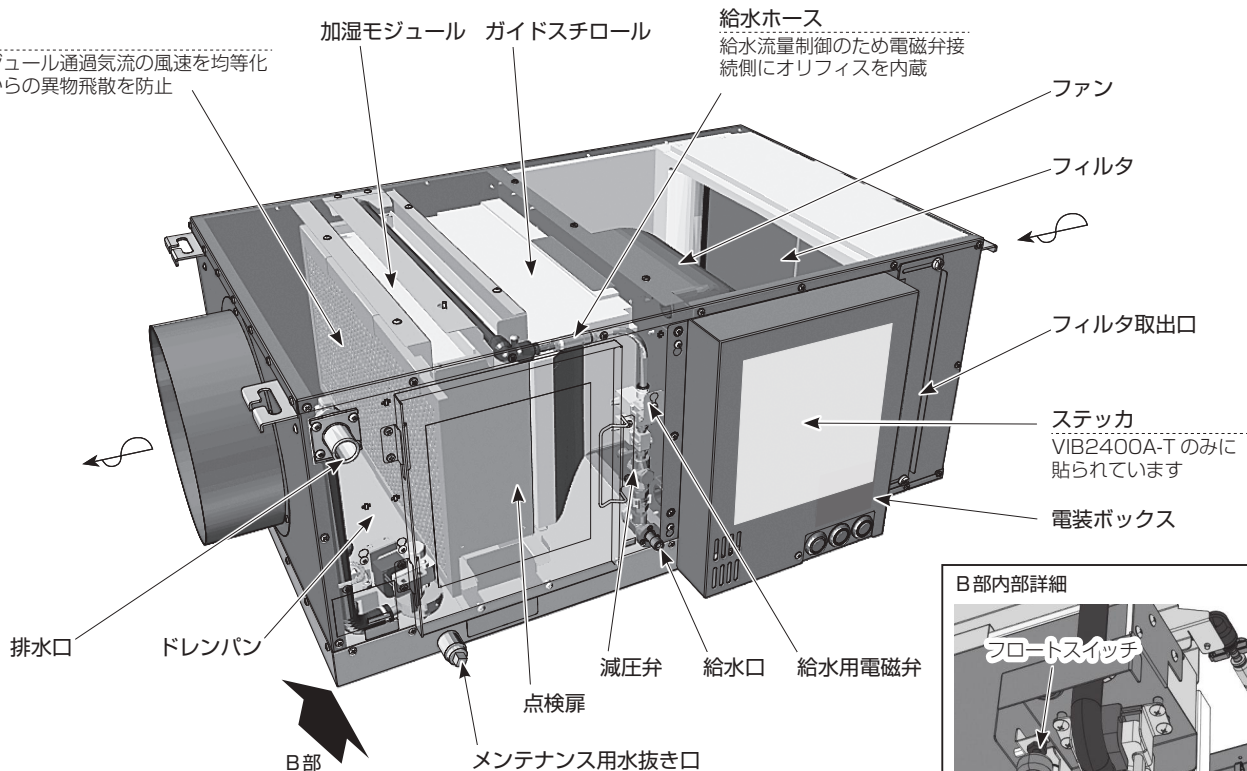
### 2-1 加湿器本体

●下図は各部の構造説明のため、加湿器本体の天板を外した状態を表しています。実際に天板は取り外さないでください。  
また、ガイドスチロールは本体を構成する部品のため、廃棄しないでください。

#### VIB2400-T/VIB2400A-T

##### 整流板

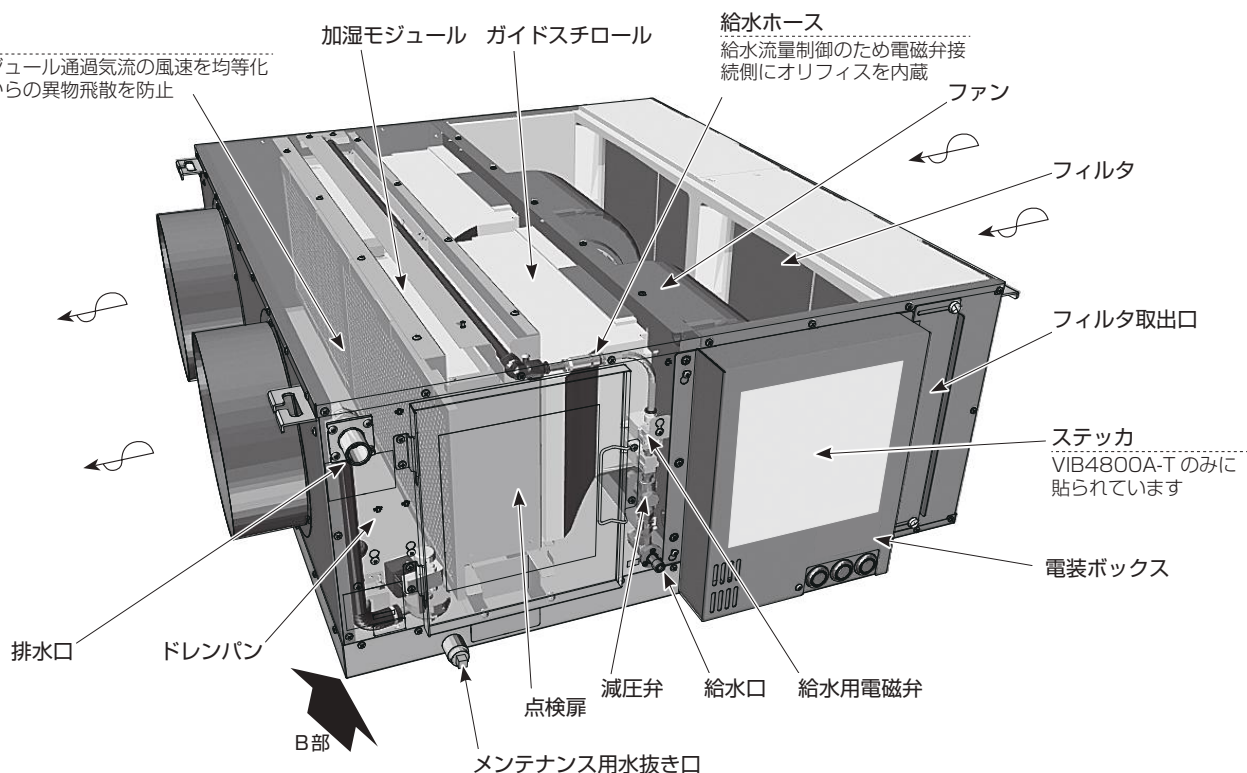
加湿モジュール通過気流の風速を均等化  
加湿器からの異物飛散を防止



#### VIB4800-T/VIB4800A-T

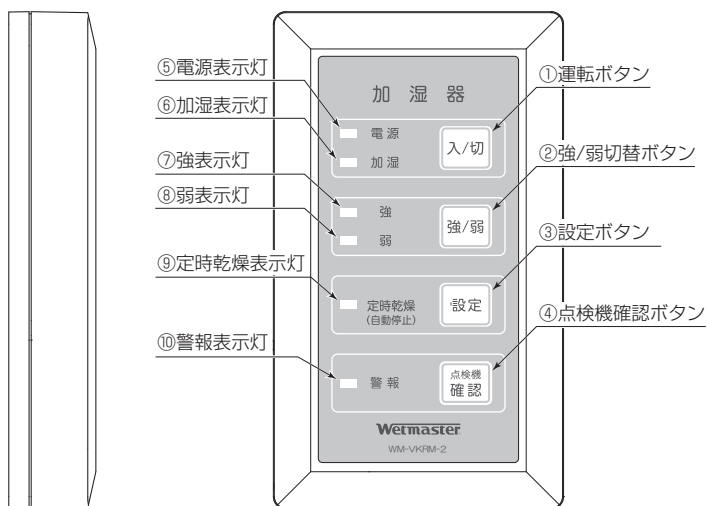
##### 整流板

加湿モジュール通過気流の風速を均等化  
加湿器からの異物飛散を防止



## 2-2 リモコンスイッチ

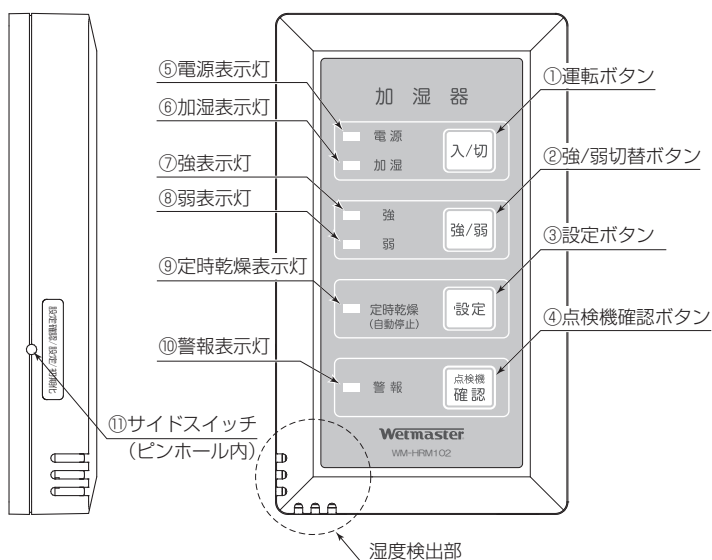
## 標準リモコンスイッチ



- ① **運転ボタン**  
加湿器の運転を入/切します。
- ② **強/弱切替ボタン**  
ファンの強運転と弱運転を切り替えます。
- ③ **設定ボタン**  
アドレス設定など各種設定変更をする場合に用います。
- ④ **点検機確認ボタン**  
警報が発生した加湿器を確認します。警報表示灯点灯時に押すと、加湿器本体の警報発生器より微小電子音が 30 秒間鳴ります。途中で止めたい場合には点検機確認ボタンをもう一度押します。

- 加湿器の運転に関する表示と動作は P.52 表 11 のとおりです。
- ブレーカ ON 時にはすべての表示灯が点滅します (約 5 秒間)。消灯後、リモコンスイッチ操作を行ってください。

## ヒューミ付リモコンの場合



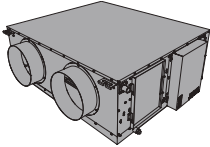
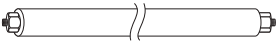




- ① **運転ボタン**  
加湿器の運転を入/切します。
- ② **強/弱切替ボタン**  
ファンの強運転と弱運転を切り替えます。
- ③ **設定ボタン**  
アドレス設定など各種設定変更をする場合に用います。
- ④ **点検機確認ボタン**  
警報が発生した加湿器を確認します。警報表示灯点灯時に押すと、加湿器本体の警報発生器より微小電子音が 30 秒間鳴ります。途中で止めたい場合には点検機確認ボタンをもう一度押します。
- ⑪ **サイドスイッチ**  
ヒューミ付リモコンで各種設定変更をする場合に用います。ピンホール内部にスイッチがありますので、ペン先などで押して設定してください。

- 加湿器の運転に関する表示と動作は P.52 表 11 のとおりです。
- ブレーカ ON 時にはすべての表示灯が点滅します (約 5 秒間)。消灯後、リモコンスイッチ操作を行ってください。
- ヒューミディスタット設定湿度の初期設定は 40%RH です。

# 3 施工


## 3-1 梱包内容（付属品）

●標準品の梱包内容（付属品）は下記のとおりです。開封後は直ちに内容を確認してください。

梱包内容 / 部品名称	仕様など	形状	個数
<b>A 加湿器本体梱包</b>			
①加湿器本体 (VIB2400-T、VIB2400A-T、 VIB4800-T、VIB4800A-Tのいずれか)	ドレン排水用ポンプ内蔵 (VIB2400A-TまたはVIB4800A-Tは ヒューミディスタット内蔵)		1台
②給水軟銅管	φ6.35×0.4m、リングジョイント式 断熱材被覆付		1セット
③給水ストレーナ	T型、#100、R1/2		1ヶ
④排水ホース	φ30×φ25×0.2m ホースバンド2ヶ付		1本
⑤施工要領書・取扱説明書	—	—	各1冊
<b>B リモコンスイッチ梱包</b>			
⑥リモコンスイッチ (標準リモコンスイッチまたは ヒューミ付リモコン)	—	 または 	1ヶ
⑦初期設定操作説明書	—	—	1部

## 3-2 加湿器本体の取付

### 3-2-1 本体の取付



**警告**

●取付は、本体の重さに充分耐える所に確実に行ってください。強度不足や取付工事に不備があると、落下などによる事故の原因になります。

- 本体内への異物の混入や取付時の加湿モジュールの損傷にご注意ください。

●加湿器本体は水準器を使用し、水平に取り付けてください。正しく施工されないとフロートスイッチの誤動作をまねき、水漏れの原因になります。やむを得ず水平に取り付けられない場合は、排水（点検扉）側に1°以内、風下側に1°以内の傾きに収めてください。また、本体の天地および気流方向にご注意ください。

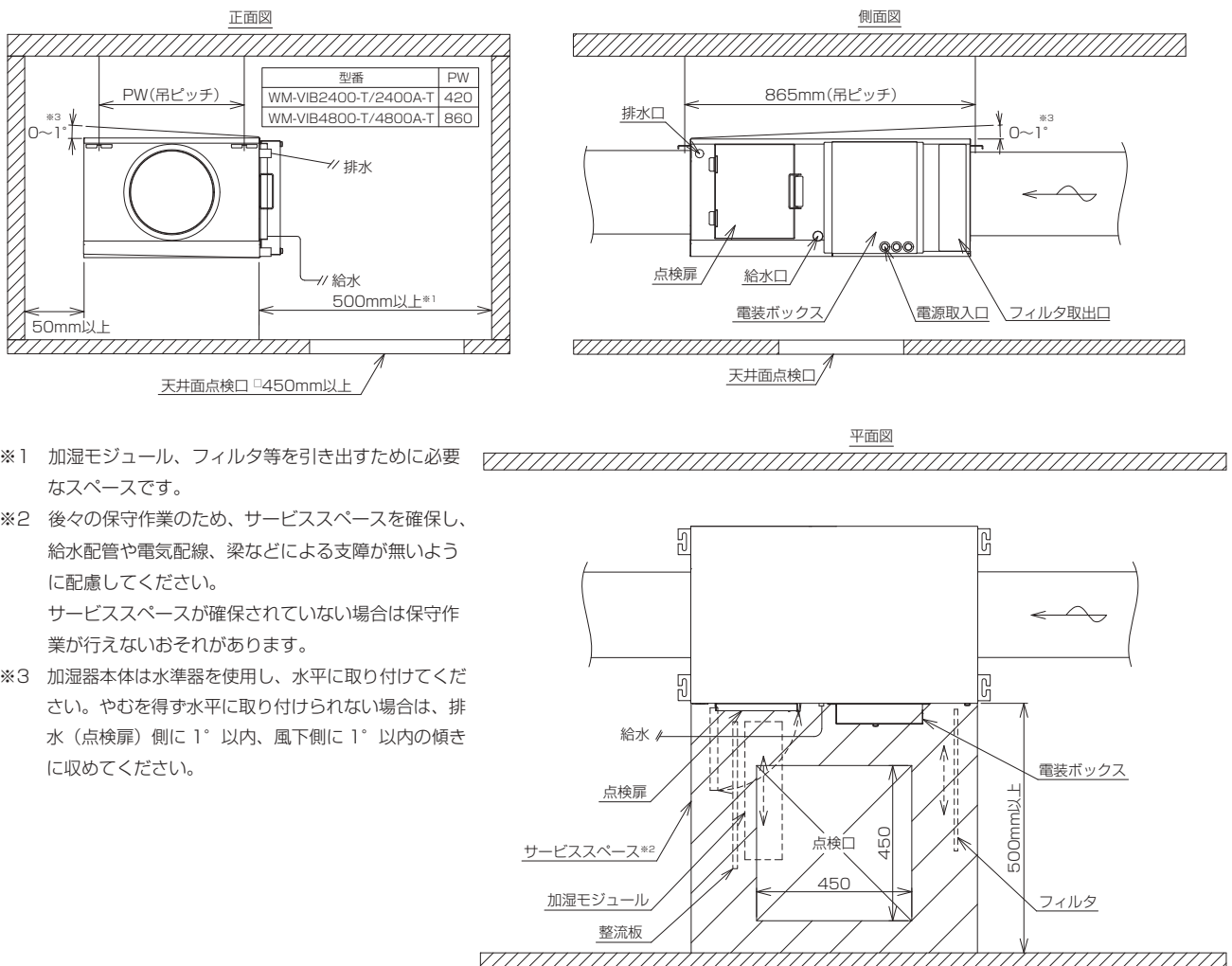
●施工時、水平を取る際は加湿器本体の上部に水準器をあててください。

- 取り付けにあたっては、本体周囲に保守点検が容易にできるサービススペースを500mm以上確保してください（P.8 図-1）。
- 加湿器本体取付位置の天井面（加湿器本体の配管側）には□450以上の点検口を設置してください。
- 加湿器本体は取付方向（気流方向）に制限があります。左右のダクト接続は気流方向を確認のうえ接続してください。
- 加湿器本体を取り付ける位置に吊ボルトを取り付け、必ずダブルナットで固定してください。吊ボルトは耐震など必要に応じて揺れ止め用耐震支持部材にて補強してください。
- あらかじめ各ボルトにナットを1個通し、本体を吊り上げてもう1つのナットで仮止めします。水準器を使用し、加湿器本体を水平〔水平に取り付けられない場合は、排水（点検扉）側に1°以内、風下側に1°以内の傾きに収める〕に取り付けて本締めしてください。
- ダクトサイズはφ250です。市販のダクトをダクト接続口に差し込み、バンドやアルミテープ等で風漏れのないように取り付けください。
- 加湿器本体にダクトの荷重がかからないように設置してください。



- ダクトは極端な曲げ、多数曲げ、ダクト接続口近くで曲げのないようにしてください。加湿量の低下や異常音発生の原因となります。
- 接続部は、リーク防止にご配慮ください。
- 加湿器出口側空気は高湿です。ダクト、吹出口内は結露防止のため必ず保温処理を施してください。また、吹出空気が窓や壁面などに直接あたると結露するおそれがありますので、吹き出しの種類、取付位置にご配慮ください。
- 接続前には、加湿器内ドレンパン上にゴミ、異物がないことを確認してください。
- 必要に応じて保温処理を施してください。
- ダクト接続後は、再度本体の取付が水平であることを確認してください〔水平に取り付けられない場合は、排水（点検扉）側に $1^{\circ}$ 以内、風下側に $1^{\circ}$ 以内の傾きに収める〕。
- 空気清浄度を管理されている室内、施設を対象に加湿器をご使用になる場合は、加湿器を組み込んだ空調システムの加湿器二次側に、要求清浄度を満足できる能力を有する最終フィルタを設置してください。
- 当加湿器のダクト系統にはエアコンや電気ヒータを接続しないでください。エアコンの冷房運転による加湿器外部の結露や電気ヒータによる過加湿の原因となります。
- ブースターファンを接続する場合は吸込側とし、吹出側へ接続しないでください。また、過度の風量増は加湿モジュールからの水滴飛散の原因となりますのでご注意ください。

図 -1 本体周囲スペース



3-2-2 リモコンスイッチの取付と配線要領

- リモコンスイッチは必ずご使用ください。リモコンスイッチを使用しないと運転できません。
- リモコンスイッチ取付にあたって、JIS ボックスをご用意ください (JIS C 8340 適合品、ピッチ 83.5mm、客先ご用意)。
- リモコンスイッチの取付と配線終了後はアドレス設定を行ってください (P.31「4-1 アドレス設定 (リモコンスイッチ初期設定操作)、接続台数確認」参照)。

- ①リモコンスイッチ下面の凹部に、マイナスドライバを差し込んで軽くねじり (2ヶ所、上ケースを外してください (図-2))。
- ②壁面の JIS ボックスに下ケースを取り付けます。
  - ・取付用のネジは JIS ボックスに合わせて現地でご手配ください。
  - ・ヒューミ付リモコンの場合、リモコンスイッチのサイドスイッチ操作と湿度感知に影響するため、壁面へ取り付ける際は左側面から 50mm の空間を空けてください。
- ③配線引込穴から配線を引き込み、リモコンスイッチ基板の端子に接続します (図-3)。
  - ・線材は 0.5 ~ 0.75mm<sup>2</sup> のシース付きビニルコードまたはケーブルをご使用ください (客先ご用意)。
  - ・配線は M3 ねじ用裸丸端子を使用し、リモコンスイッチ基板の端子 C1、C2 に配線してください。インパクトドライバ等で締め付けた場合、端子台破損の原因になりますのでご注意ください。
  - ・リモコンスイッチ基板の端子 C1、C2 と加湿器本体の端子 C1、C2 と接続してください (C1 と C2 の極性はありません)。
- ④配線を挟まないように注意してリモコンスイッチケースを元通り閉じてください。

図-2 リモコンスイッチケースの開け方

**注意**

- リモコンスイッチ基板は上ケースに付いています。ドライバ等で基板を傷つけないように注意してください。
- 基板にゴミあるいは水分などが付着しないように注意してください。

※イラストは標準リモコンスイッチで表していますが、ヒューミ付リモコンの場合も同様です。

図-3 リモコンスイッチの取付と配線要領

標準リモコンスイッチの場合

ヒューミ付リモコンの場合

※露出配線を行う場合は、P.10 図-4 をご参照ください。

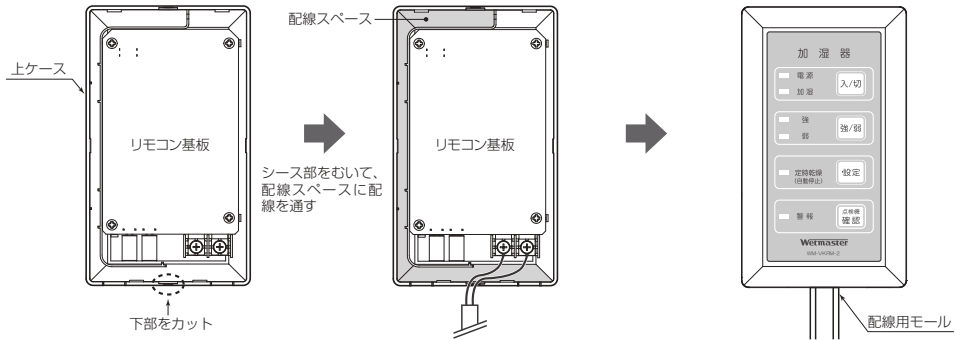
図 -4 露出配線を行う場合

●配線方向は P.9 の後方引き込みの他に、下記の方法で下方引き込みまたは上方引き込みとすることが出来ます。

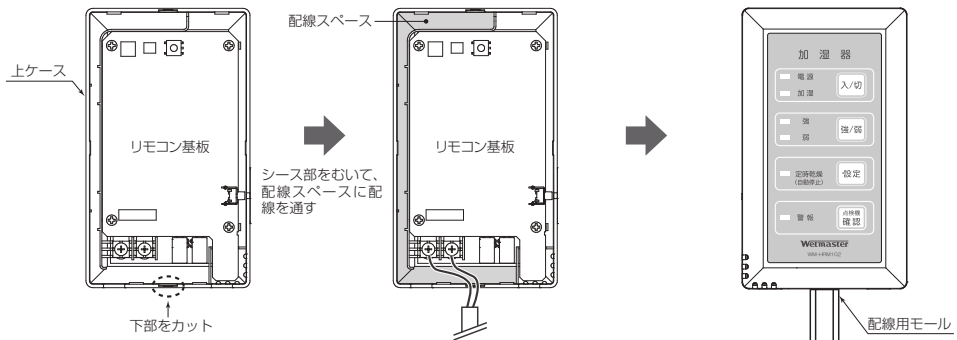
- ①配線方向にあわせてニップなどで上ケースの薄肉部を切り取り、ヤスリなどでバリをとってください。  
その際、ケースを割らないように注意して作業してください。
- ②配線の引き込み方向にあわせてリモコンスイッチケース内に入るケーブルのシース部をむき、下図のように配線を回してください。
- ③配線を挟まないように注意して、壁面に取り付けた下ケースに上ケースをはめ合せてください。  
また、露出配線は上ケースが外せるように注意して配線用モール（客先ご用意）などで処理してください。

【下方引き込みの場合】

標準リモコンスイッチの場合

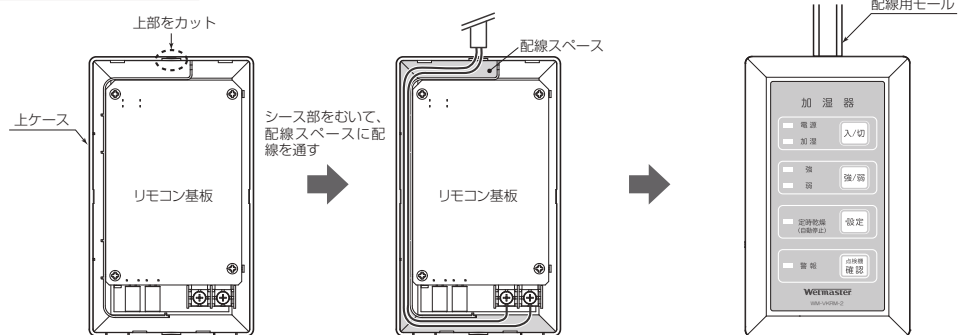


ヒューミ付リモコンの場合

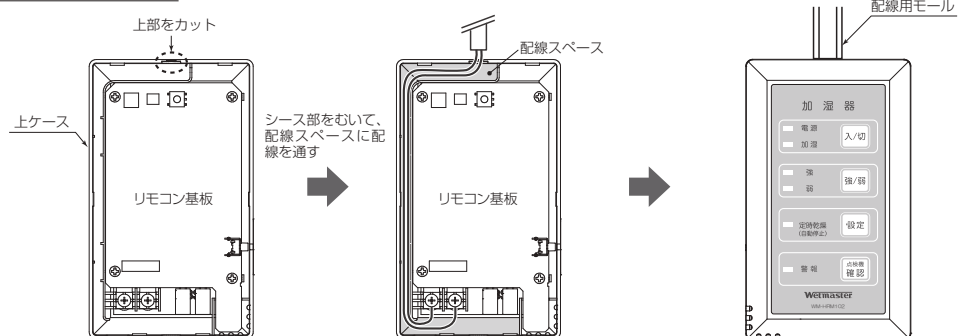


【上方引き込みの場合】


標準リモコンスイッチの場合



ヒューミ付リモコンの場合



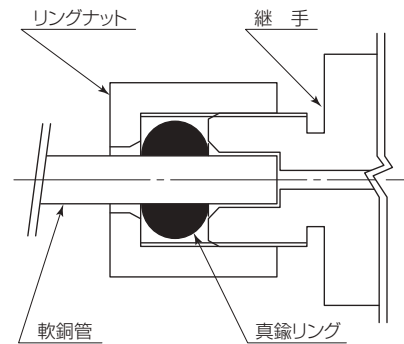
### 3-3 給排水配管


 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●給水の水質は、水道法水質基準に準ずる飲料水をご使用ください（上水道の使用を推奨します）。水質が不適当な場合は、室内空気の汚れの原因になることがあります。</li> <li>●配管は必ず保温してください。保温しないと結露による漏水の原因になります。</li> <li>●本製品は給水器具等の認証品です（第三者認証品）。給水配管工事は、所轄水道局（水道事業者）指定の給水装置工事事業者の方が施工してください。</li> </ul>
---	---

#### 3-3-1 給水配管

- 加湿器に使用する供給水は、必ず水道法に定められた水道法水質基準に適合した飲料水をご使用ください（上水道の使用を推奨します）。飲料水の水質基準を満足した水でも、地下水・井戸水・地下水を利用した専用水道・工業用水を利用した水の使用では、その含有成分の影響で早期のスケール発生やスケール飛散が生じる場合がありますのでご注意ください。また、軟水器処理水および軟水器処理水と地下水・井戸水・地下水を利用した専用水道・工業用水との混合水は使用しないでください。軟質のスケールが析出し、飛散することがあります。
- ドレン排水用ポンプはレベルセンサ（電極ピン）により水位を検知して運転・停止しますので純水は使用できません。
- 各加湿器ごとに給水サービス弁、フラッシング用バルブを設けてください。その際、点検口から手の届く場所に設置してください。
- 配管に結露が生じないよう、必ず保温してください。
- 配管の管末にはフラッシング用バルブやプラグを取り付けるなどして、施工後にもフラッシングが行えるように現場の都合に応じて配管してください。
- フラッシング用バルブ後に配管を接続する場合、クロスコネクションとしないよう処置してください。
- 給水配管と加湿器本体を接続する前には通水して必ずフラッシング（配管のブロー）を行い、配管内の汚れや異物が加湿器に流入しないようにしてください。
- 給水軟銅管の接続はリングジョイント式です。図-5を参照して、水もれないように確実に接続してください。客先配管との接続は、付属の給水ストレーナ（R1/2）を使用します。
- 給水配管の施工に配管シール剤を使用する場合、配管シール剤メーカーの取扱上の注意に準拠してお願いします。また、十分なシール剤乾燥時間を確保してください。塗布量が多かったり乾燥が不十分な状態で通水すると、シール剤が給水に混ざる形で加湿器本体内に流入することになり、加湿器内でのシール剤固化により故障の原因になります。また、配管シール剤には有機溶剤成分が含まれているため、加湿器に流入した場合は構成部品に悪影響を及ぼすことがあります。加湿器への通水の前には、縦配管のフラッシングのほか、加湿器給水配管管末のフラッシング用バルブ等から十分なフラッシングを実施し、フラッシング実施後の水が無色透明、無臭であることを確認してください。

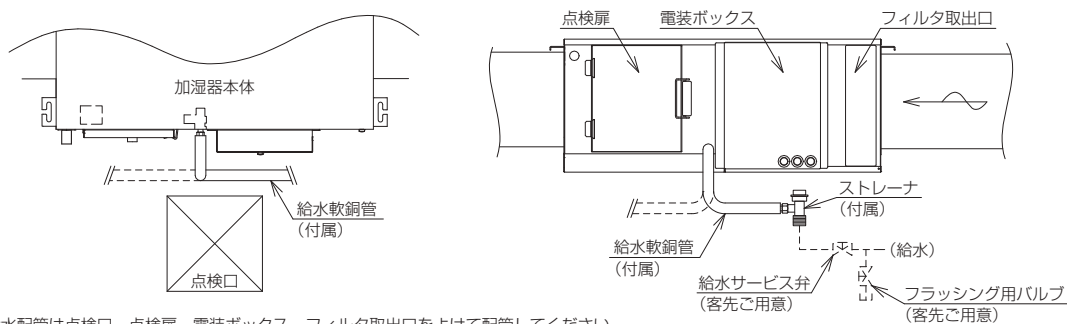
図-5 給水軟銅管の接続



 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●軟銅管は継手部付近からの急な曲げ加工は行わないでください。漏水の原因になることがあります。</li> </ul>
--	--

- ※軟銅管は、継手の奥までまっすぐにしっかりと差し込んでください。
- ※リングナットの締付トルクは 10N・m 程度としてください。
- ※必ず 2 本のレンチを使ってナットを締めてください（付属の給水接続継手側）。

図-6 給水配管施工参考図

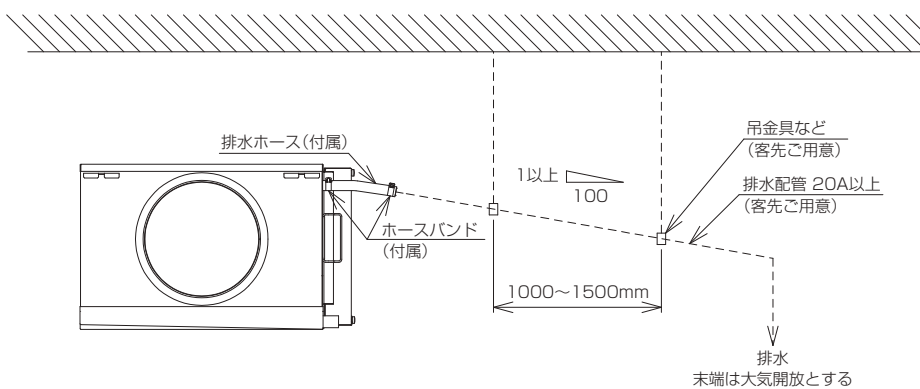


- ・給水配管は点検口、点検扉、電装ボックス、フィルタ取出口をよけて配管してください。
- ・給水口に荷重がかからないように給水軟銅管を設置してください。

### 3-3-2 排水配管

- 排水口からの排水配管は必ず 1/100 以上の先下がり勾配・大気開放とし、排水がスムーズに流れるよう配管してください（図-7）。
- 排水配管は 20A 以上とし、排水主管までは各加湿器ごとに単独になるように配管してください。
- 排水配管途中に山越えやトラップを作らないように施工してください（図-8）。排水不良の原因となります。また、配管途中にエア抜きは設けないでください。
- 排水配管は排水口より上へ立ち上げることはできません。
- 排水ホースの内径は  $\phi 25$  です。排水口と客先ご用意の排水配管との間を付属品の排水ホースで接続します。ホースバンドの締付トルクは 1.5N・m 程度としてください（図-9）。
- 排水口に排水ホースを接続する際は、排水ホースに有機溶剤（接着剤など）は使用しないでください。排水口が劣化し、不具合に至るおそれがあります。
- 排水口および排水ホースに排水配管の荷重がかからないように施工してください。
- 配管に結露が生じないよう、必ず保温してください。
- 排水配管の取り回しは必ず加湿器本体周囲スペースを確保できるようにし、加湿モジュールやフィルタの交換などメンテナンス作業が行えるようにしてください。
- メンテナンス用水抜き口には排水管を接続しないでください。メンテナンス用水抜き口は、ドレンパンの清掃および水抜きを目的としたものです。接続した場合、排水飲み込み不良となる可能性があります（図-9）。

図-7 排水配管施工参考図



- ・吊金具などは、配管がたわまないように 1000~1500mm 間隔で取り付けてください。
- ・排水配管は点検口、点検扉、電装ボックス、フィルタ取出口をよけて配管してください。
- ・図中破線は客先ご用意となります。

図-8 排水配管の禁止施工例

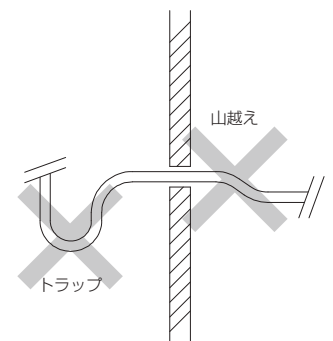
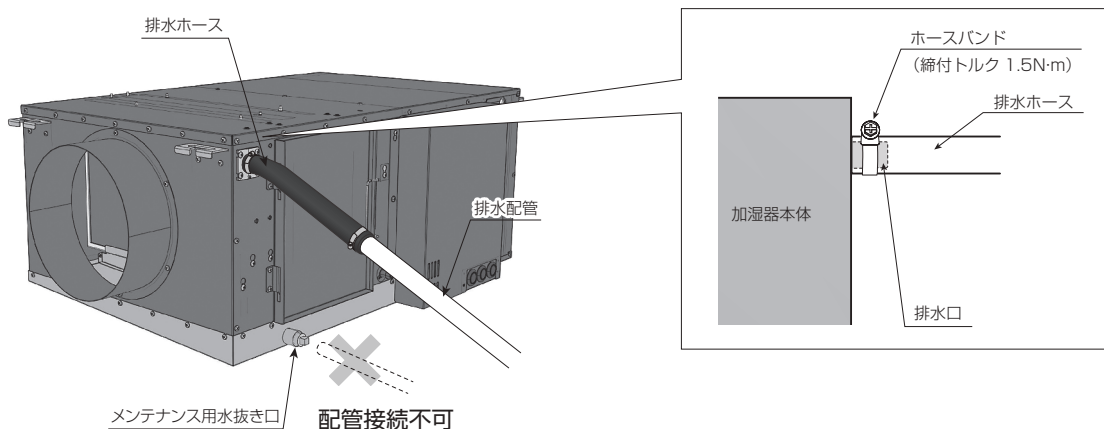




図-9 排水配管の接続



### 3-4 電気配線

 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規定」に従って施工してください。電気回路の容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。</li> <li>●各配線の接続は確実にを行い、接続部にケーブルの外力が加わらないように確実に固定してください。施工不備があると、感電、火災の原因になります。</li> <li>●端子台に接続する線材は電線径に適合するものをご使用ください。適合しないものを使用すると線の抜けや接触不良を起こし、感電、火災の原因になります。</li> <li>●コントロールユニット、ヒューミディスタットユニット（VIB2400A-T、VIB4800A-Tのみ）のディップスイッチ切替作業は、必ず加湿器元電源の漏電ブレーカをOFFにし、電源供給を停止してから行ってください。通電したままの作業は感電の原因になります。</li> </ul>
---	---

 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●供給電源はAC100Vです。事前に供給電源の種類の確認と該当する端子がAC100Vであることを確認し、適切な線材を差し込んでください。</li> </ul>
---	--

#### 3-4-1 共通事項

- 電気配線は客先ご用意となります。加湿器電源として専用回路を使用してください。
- 現場の指示等をよくご確認のうえ、確実な電気工事をお願いします。配線にあたっては、表1から該当する「電気回路図」「結線要領図」を参照してください。使用する加湿器とリモコンスイッチの組み合わせにより配線が異なりますのでご注意ください。
- 加湿器元電源には必ず漏電ブレーカを設けてください。漏電事故防止および保守点検作業時の安全のため必要です。
- リモコンスイッチは必ずご使用ください。リモコンスイッチを使用しないと運転できません。リモコンスイッチ1ヶで加湿器本体10台まで同時制御を行うことができます。
- 電源ラインを加湿器端子台で渡らせる場合は、端子台定格容量を超えないよう4台以下としてください。
- リモコンスイッチの配線は、P.9「3-2-2 リモコンスイッチの取付と配線要領」も参照してください。
- リモコンスイッチ配線（リモコンスイッチ⇔本体1）および本体渡り線（本体1⇔本体2…）の信号配線の総配線長は100m以内としてください。
- リモコンスイッチと加湿器本体を結線した後、加湿器の運転前にはアドレス設定が必要です。アドレス設定を行わないと運転することが出来ません。P.31「4-1 アドレス設定（リモコンスイッチ初期設定操作）、接続台数確認」に従ってアドレス設定を行ってください。
- 運転信号および警報信号を使用する場合は、P.32「4-3 運転信号出力（外部信号出力）を使用する場合のディップスイッチ設定」、P.32「4-2 警報信号出力（外部信号出力）を使用する場合」を参照してください。
- 外部指令信号入力で発停を行う場合にはP.36「4-5 外部指令信号入力による遠方発停（外部指令制御）を使用する場合のディップスイッチ設定」、グループを一括制御する場合は表1に該当する「結線参考図」を参照し、結線してください。
- 強電の電源ラインと弱電の信号ライン（C1、C2、L1、L2、1、2、3、4）は分けて配線してください。同一管路内に納めて配線すると、誤動作の原因になります。
- 必ずアース接続（D種接地工事）を行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

表1 加湿器本体とリモコンスイッチの各組み合わせにおける各種図面の参照ページ

加湿器本体	標準仕様				加湿器本体内部ヒューミディスタット内蔵仕様			
	VIB2400-T		VIB4800-T		VIB2400A-T		VIB4800A-T	
リモコンスイッチ	標準リモコン	ヒューミ付リモコン	標準リモコン	ヒューミ付リモコン	標準リモコン	ヒューミ付リモコン	標準リモコン	ヒューミ付リモコン
電気回路図	P.15	P.19	P.16	P.20	P.23	P.27	P.24	P.28
結線要領図	P.17	P.21	P.17	P.21	P.25	P.29	P.25	P.29
結線参考図	P.18	P.22	P.18	P.22	P.26	P.30	P.26	P.30

## 3-4-2 VIB2400-T、VIB4800-T と標準リモコンスイッチの組み合わせで使用する場合

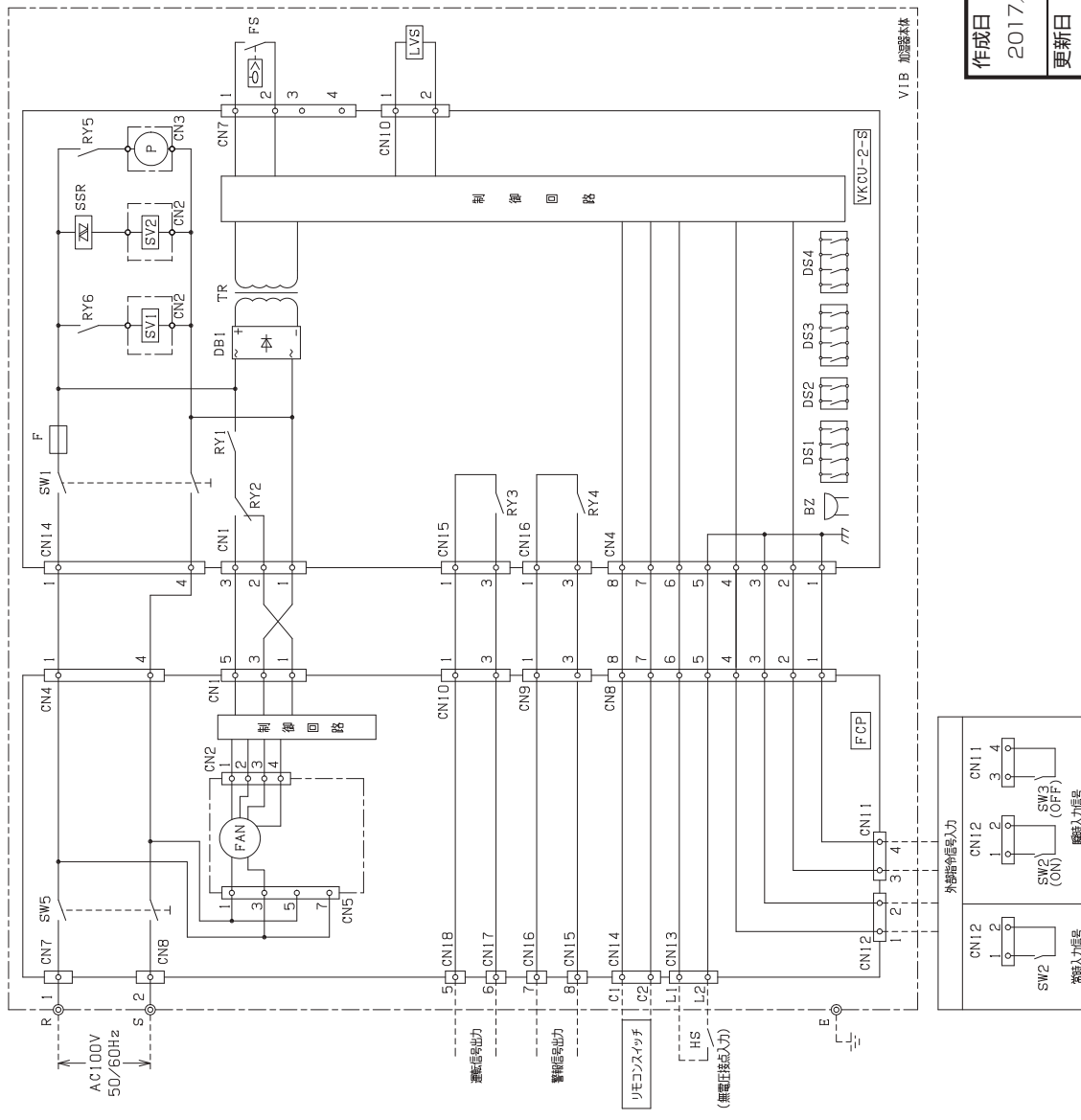
●客先ご用意のヒューミディスタットについては表 2 を参照し、配線を行ってください。

表 2 ヒューミディスタット有無における注意事項

ヒューミディスタットの有無	注意事項
ヒューミディスタットを使用する場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヒューミディスタットは湿度低下で接点が ON となる形式で、接点容量 100V・2A 以上のものをご用意ください。ヒューミディスタット 1 個で加湿器 10 台まで同時制御を行います。</li> <li>●ヒューミディスタットは、P.17「WM-VIB2400-T/4800-T 結線要領図」を参照し「加湿器本体 1」の端子 L1、L2（無電圧接点）に接続してください。</li> <li>●1 つのリモコンスイッチで複数台制御する場合でも端子 L1、L2 への接続は「加湿器本体 1」のみで全数の運転制御ができます。</li> <li>●1 つのリモコンスイッチで複数台制御する場合、ヒューミディスタットを複数個使用して各加湿器を個別に制御することはできません。必ずヒューミディスタットとリモコンスイッチは 1 対 1 となるようにしてください。</li> </ul>
ヒューミディスタットを使用しない場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヒューミディスタットを使用しない場合、P.17「WM-VIB2400-T/4800-T 結線要領図」を参照し「加湿器本体 1」の端子 L1、L2 を短絡してください。L1、L2 が短絡されない場合、加湿器は運転しません。</li> <li>●1 つのリモコンスイッチで複数台制御する場合でも端子 L1、L2 の短絡は「加湿器本体 1」のみで全数の運転ができます。</li> </ul>

- ※ 加温器本体の端子台は、添込式です。以下の線材を使用してください。  
 (R, S) 単線 φ1.6×φ2.0をご使用ください。  
 電線の皮むき寸法を15mmとしてください。  
 (C1, C2, L1, L2, 1~4) 燃線 0.5~0.75mm<sup>2</sup>をご使用ください。  
 電線の皮むき寸法を8mmとしてください。  
 (5~8) 燃線 0.75~1.25mm<sup>2</sup>をご使用ください。  
 電線の皮むき寸法を8mmとしてください。
- ※ 必ず漏電ブレーカーを設置してください。
- ※ ヒューズ（E）は、D種接地工事にて施工してください。
- ※ 加温器の運転を長期休止する場合は、点検などやむを得ず電源をOFFとする場合には、給水サービスを閉じるなど万が一の場合にも水が溢れて漏れ事故にならないようにしてください。

番号	記号	部品名称	仕様
28	SW5	電源スイッチ	波型（基板搭載）
27	FCP	ファンコントロールユニット	AC100V
26	E	アース	D種接地工事
25	BZ	圧電ブザー	（警報発生器確認用）
24	DS4	ディップスイッチ	4P
23	DS3	ディップスイッチ	4P（入/出力信号設定用）
22	DS2	ディップスイッチ	2P
21	DS1	ディップスイッチ	4P（高圧給水時間設定用）
20	LVS	レベルセンサ	電磁離式
19	FS	高圧圧検知用フロートスイッチ	ON
18	RY6	給水過熱弁運転用リレー	DCリレー 1a
17	RY5	ドレン排水ポンプ運転用リレー	DCリレー 1a
16	RY4	警報信号リレー	DCリレー 1a
15	RY3	運転信号リレー	DCリレー 1a
14	RY2	ファン強切替用リレー	DCリレー 1c
13	RY1	ファン運転用リレー	DCリレー 1a
12	SSR	給水電磁弁運転用リレー	ソリッドステートリレー
11	SW3	外部指令入力接点	瞬時停止（客先用意）
10	SW2	外部指令入力接点	瞬時or常時入力（客先用意）
9	HS	ヒューズ	客先用意
8	P	ドレン排水ポンプ	AC100V
7	FAN	ファン	AC100V
6	SV2	給水電磁弁	AC100V
5	SV1	給水過熱弁	AC100V
4	TR	SWトランス	基板搭載タイプ、絶縁型
3	F	ヒューズ	ガラス管 0.5A
2	SW1	電源スイッチ	波型（基板搭載）
1	VKCU-2-S	コントロールユニット	マイコン制御

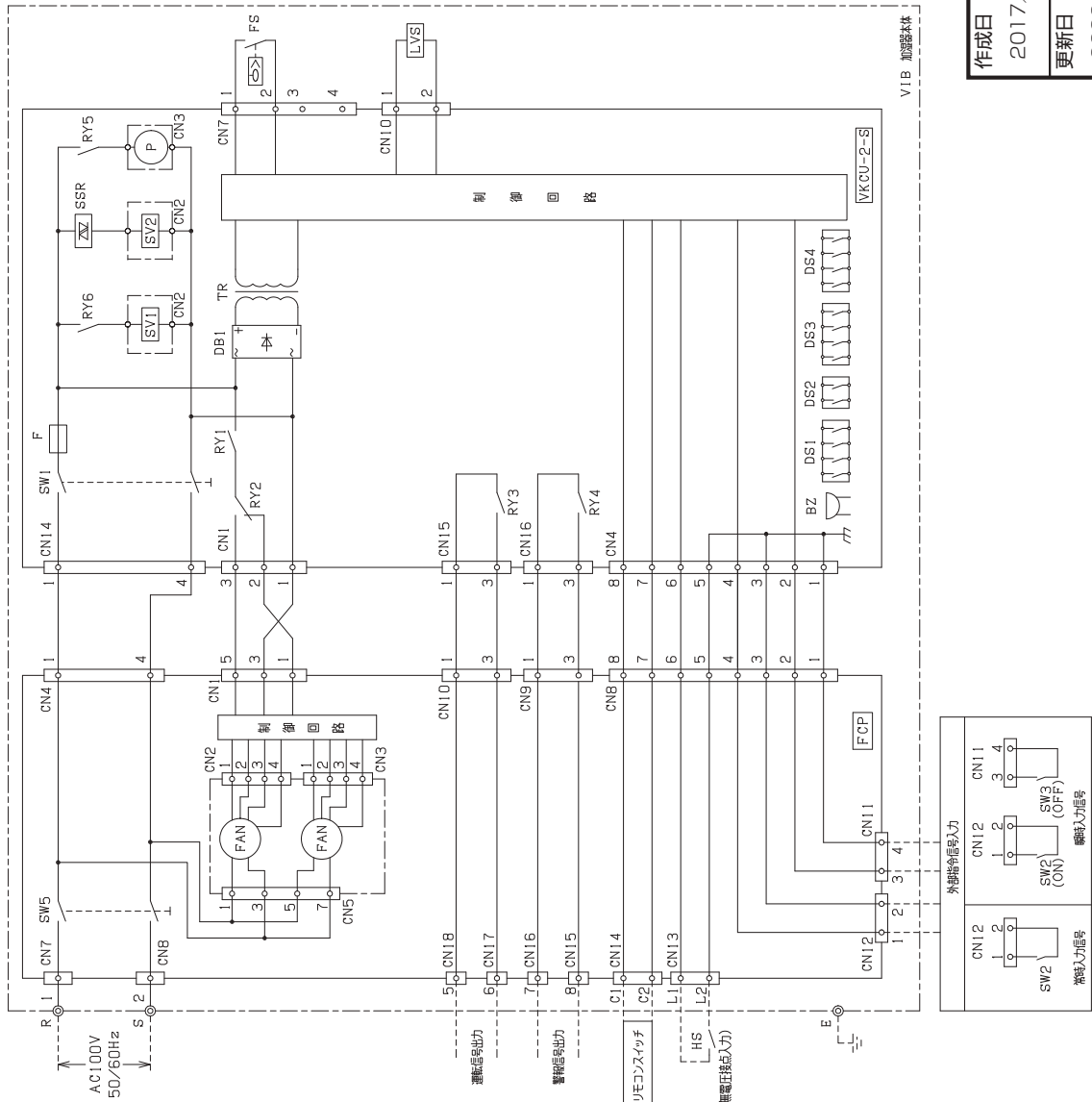


作成日	2017/12/14	図面名称	ウェットマスター VIB
更新日	2020/08/27	部品コード	ウェットマスター株式会社 WETMASTER CO., LTD
図番	AIBQSB00001	訂正回数	3
		葉別	1/1



- ※ 加温器本体の端子台は、差込式です。以下の線材を使用してください。  
(R, S) 単線 φ1.6~φ2.0をご使用ください。  
電線の芯むき寸法を15mmとしてください。  
(C1, C2, L1, L2, 1~4) 線径 0.5~0.75mm<sup>2</sup> をご使用ください。  
(5~8) 線径 0.75~1.25mm<sup>2</sup> をご使用ください。  
電線の芯むき寸法を8mmとしてください。
- ※ 必ず漏電ブレーカを設置してください。
- ※ ヒューズデバイスを使用しない場合には、L1・L2を短絡してください。
- ※ アース(E)は、D種接地工事にて施工してください。
- ※ 加温器の運転を長期止する場合は、点検などやむを得ず電源をOFFとする場合には、給水サービスタブを閉じるど力方が一の場合にも水が流れて漏水事故にならないようにしてください。

番号	記号	部品名称	仕様
28	SW5	電源スイッチ	波型(基板搭載)
27	FCP	ファンコントロールユニット	AC100V
26	E	アース	D種接地工事
25	BZ	圧電プザ	(警報発生器確認用)
24	DS4	チヨップスイッチ	4P
23	DS3	チヨップスイッチ	4P (入/出力信号設定用)
22	DS2	チヨップスイッチ	2P
21	DS1	チヨップスイッチ	4P (給水時間設定用)
20	LVS	レベルセンサ	電磁棒式
19	FS	高水位検出用フオートスイッチ	上ON
18	RY6	給水遮断弁運転用リレー	DCリレー 1a
17	RY5	ドレン排水ポンプ運転用リレー	DCリレー 1a
16	RY4	警報信号リレー	DCリレー 1a
15	RY3	運転信号リレー	DCリレー 1a
14	RY2	ファン強弱切替リレー	DCリレー 1c
13	RY1	ファン運転用リレー	DCリレー 1a
12	SSR	給水電磁弁運転用リレー	ソリッドステートリレー
11	SW3	外部指令入力接点	瞬間停止(優先用)
10	SW2	外部指令入力接点	瞬間or常時入力(優先用)
9	HS	ヒューズデバイス	常時ご用意
8	P	ドレン排水用ポンプ	AC100V
7	FAN	ファン	AC100V
6	SV2	給水電磁弁	AC100V
5	SV1	給水電磁弁	AC100V
4	TR	SWトランス	基板搭載タイプ、絶縁型
3	F	ヒューズ	ガラス管 0.5A
2	SW1	電源スイッチ	波型(基板搭載)
1	VKCU-2-S	コントロールユニット	マイコン制御

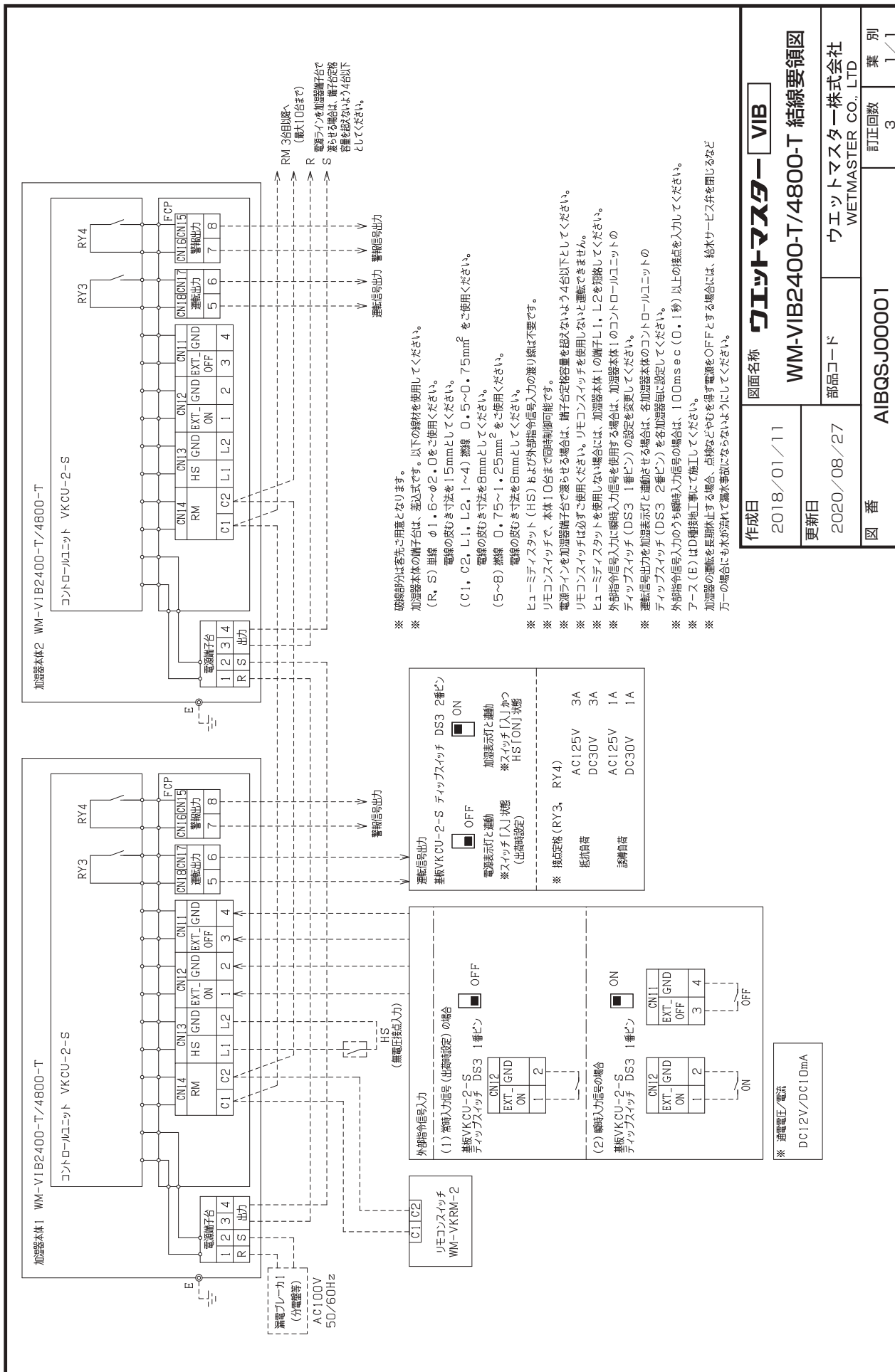


作成日 2017/12/14  
更新日 2020/08/27

図面名称 **ウエットマスター VIB**  
**WM-VIB4800-T 電気回路図**

部品コード ウエットマスター株式会社  
WEITMASTER CO., LTD

図番 **AIBQSB00002** 訂正回数 3 葉別 1/1



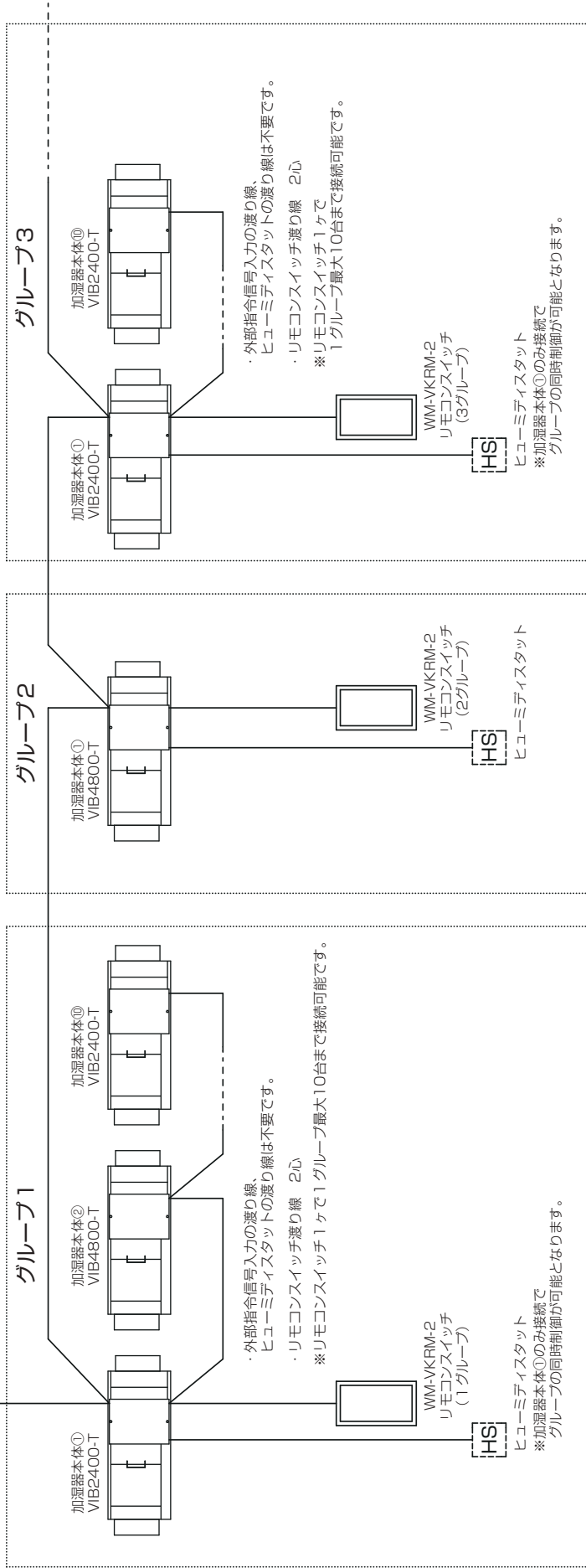
- ※ 破線部分は各先ご用意となります。
- ※ 加振器本体の端子台は、差込式です。以下の線材を使用してください。  
(R, S) 線径 φ1.6~φ2.0 をご使用ください。  
電線の皮むき寸法を15mmとしてください。  
(C1, C2, L1, L2, L1~4) 線径 0.5~0.75mmφ をご使用ください。  
(5~8) 線径 0.75~1.25mmφ をご使用ください。  
電線の皮むき寸法を8mmとしてください。
- ※ ヒューミテッド (HS) および外部指令信号入力の渡り線は不要です。
- ※ リモコンスイッチで、本体10台まで同時制御可能です。
- ※ 電源ラインを加振器端子台で渡らせる場合は、端子台定格容量を超えないよう4台以下としてください。
- ※ リモコンスイッチは必ずご使用ください。リモコンスイッチを使用しないと運転できません。
- ※ ヒューミテッドを使用しない場合は、加振器本体1の端子L1, L2を短絡してください。
- ※ 外部指令信号入力に瞬時入力信号を使用する場合は、加振器本体1のコントロールユニットのディスプレイスイッチ (DS3 1番ピン) の設定を変更してください。
- ※ 運転信号出力を加減表示灯と連動させる場合は、各加振器本体のコントロールユニットのディスプレイスイッチ (DS3 2番ピン) を各加振器毎に設定してください。
- ※ 外部指令信号入力のうち瞬時入力信号の場合は、100msec (0.1秒) 以上の接点を入力してください。
- ※ アース (E) はD種接地工事に施工してください。
- ※ 加振器の運転を長期休止する場合は、点検などやむを得ず電源をOFFとする場合には、給水クーレス弁を閉じるなど万が一の場合にお水が流れて悪水事故にならないようにしてください。

作成日	2018/01/11	<b>ウェットマスター VIB</b>	
更新日	2020/08/27	<b>WM-VIB2400-T/4800-T 結線要領図</b>	
図番	AIBQSJ00001	部品コード	ウェットマスター株式会社 WETMASTER CO., LTD
訂正回数	3	葉別	1 / 1

●WM-VIB2400-T/4800-T 複数グループを外部指令信号入力（遠方発停）で一括制御する場合の結線例

外部指令信号入力  
(常時接点または瞬時接点)

※外部指令信号線の配線径と総配線長から、接続可能な最大グループ数が変わります。  
下表の「一括制御できるグループ数」を参照してください。



必ず1グループに1つリモコンスイッチが必要です。リモコンスイッチ無しでの運転はできません。

外部指令信号入力は常時入力（2心×1本）または瞬時入力（2心×2本）、無電圧接点入力となり、各グループにおける加湿器本体①のみの結線となります。

※加湿器本体コントロールユニットのディスプレイスイッチで常時入力または瞬時入力を選択してください。なお、出荷時は常時入力の設定となっています。

一括制御できるグループ数

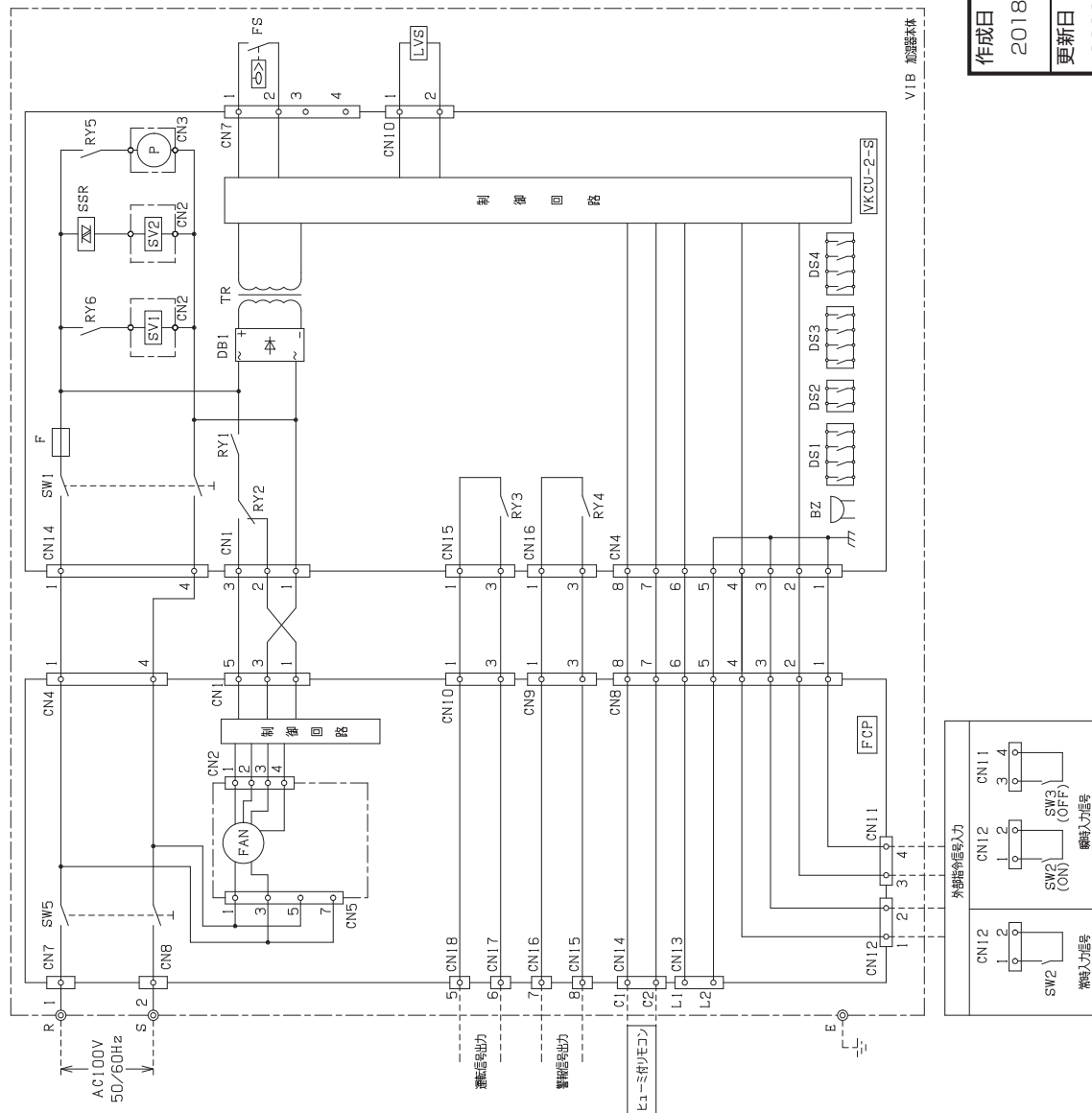
※外部指令信号入力の接点容量は、50グループまでの接続の場合1A以上、100グループまで接続の場合1.5A以上、200グループまで接続の場合3A以上としてください。

外部指令信号線	総配線長	1000m	1500m	2000m
	配線径	0.75mm <sup>2</sup>	1.40mm <sup>2</sup>	1.25mm <sup>2</sup>
		200グループ	160グループ	115グループ

作成日	2018/01/16	図面名称	ウエットマスター VIB
更新日	2020/08/27	部品コード	WM-VIB2400-T/4800-T 結線参考図
図番	AIBQSJ00002	ウエットマスター株式会社 WETMASTER CO., LTD	1 / 1

- ※ 加温器本体端子台は、差込式です。以下の線材を使用してください。
- (R, S) 銅線 φ1.6~φ2.0 をご使用ください。
- 電線の股むき寸法を15mmとしてください。
- (C1, C2, L1, L2, L1~4) 銅線 0.5~0.75mm<sup>2</sup> をご使用ください。
- 電線の股むき寸法を8mmとしてください。
- (5~8) 銅線 0.75~1.25mm<sup>2</sup> をご使用ください。
- 電線の股むき寸法を8mmとしてください。
- ※ 必ず漏電ブレーカを設置してください。
- ※ アース(E)は、D種接地工事にて施工してください。
- ※ 加温器の運転を長期停止する場合は、点検などを必ず必ず電源をOFFとする場合には、給水クーヒス弁を開ける必要がある場合にも水が流れて漏れ事故にならないようにしてください。
- ※ ヒューミリモコンの出荷設定強度は40%RHです。リモコンスイッチの操作により変更可能です。

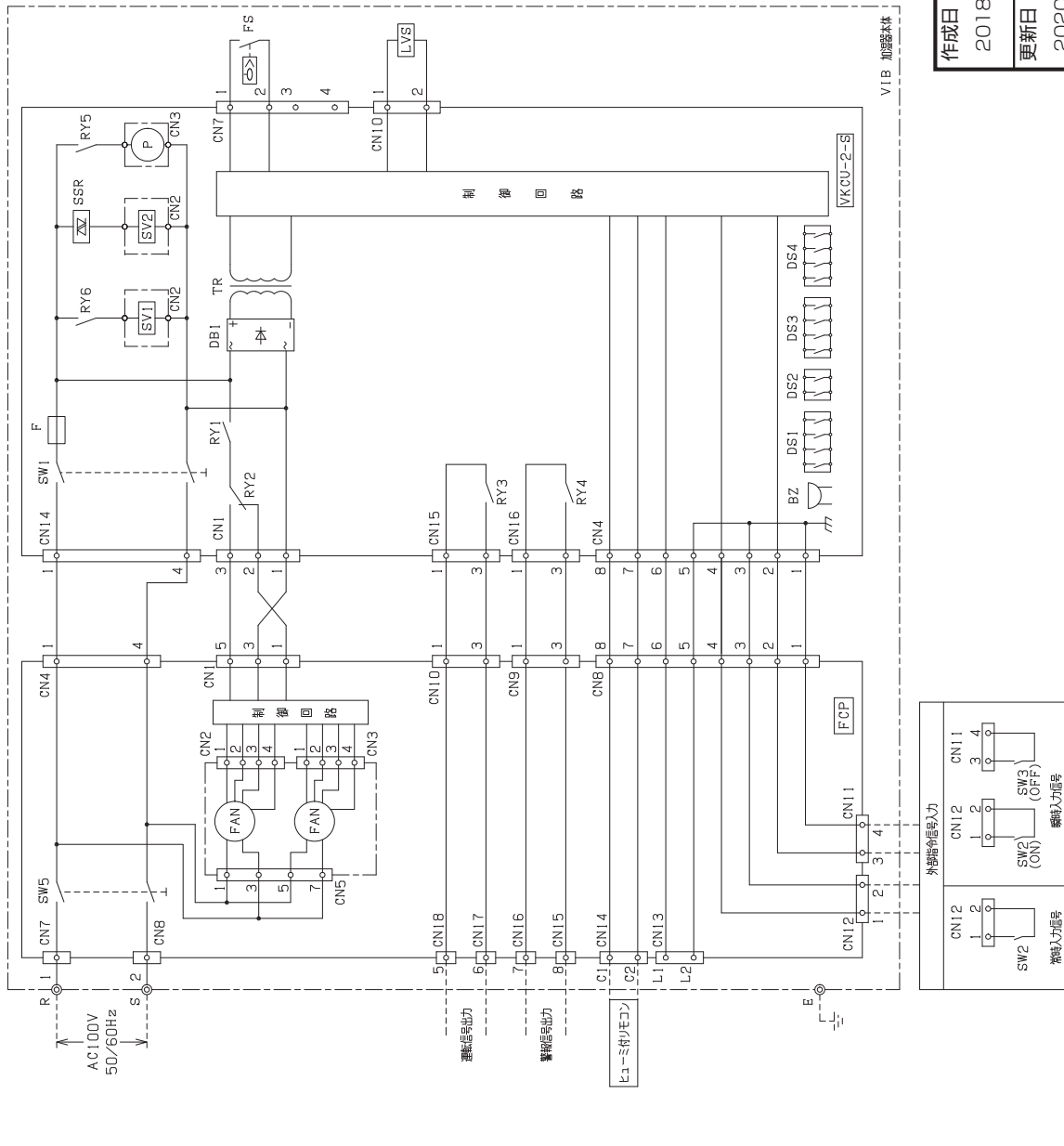
番号	記号	部品名称	仕様
27	SW5	電源スイッチ	変型(基板搭載)
26	FCP	ファンコントロールユニット	AC100V
25	E	アース	D種接地工事
24	BZ	圧電ブザー	(警報発生器確認用)
23	DS4	ディップスイッチ	4P
22	DS3	ディップスイッチ	4P (入/出力信号設定用)
21	DS2	ディップスイッチ	2P
20	DS1	ディップスイッチ	4P (簡欠給水時間設定用)
19	LVS	レベルセンサ	電極棒式
18	FS	高水位検知フロートスイッチ	ON
17	RY6	給水硬断弁運転用リレー	DCリレー 1a
16	RY5	ドレン排水用ポンプ運転用リレー	DCリレー 1a
15	RY4	警報信号リレー	DCリレー 1a
14	RY3	運転信号リレー	DCリレー 1a
13	RY2	ファン強弱切替用リレー	DCリレー 1c
12	RY1	ファン運転用リレー	DCリレー 1a
11	SSR	給水電磁弁運転用リレー	ソリッドステートリレー
10	SW3	外部指令入力接点	瞬時停止(客先用蓋)
9	SW2	外部指令入力接点	瞬時停止(客先用蓋)
8	P	ドレン排水用ポンプ	AC100V
7	FAN	ファン	AC100V
6	SV2	給水電磁弁	AC100V
5	SV1	給水硬断弁	AC100V
4	TR	SWトランス	基板搭載タイプ、絶縁型
3	F	ヒューズ	ガラス管 0.5A
2	SW1	電源スイッチ	変型(基板搭載)
1	VKCU-2-S	コントロールユニット	マイコン制御



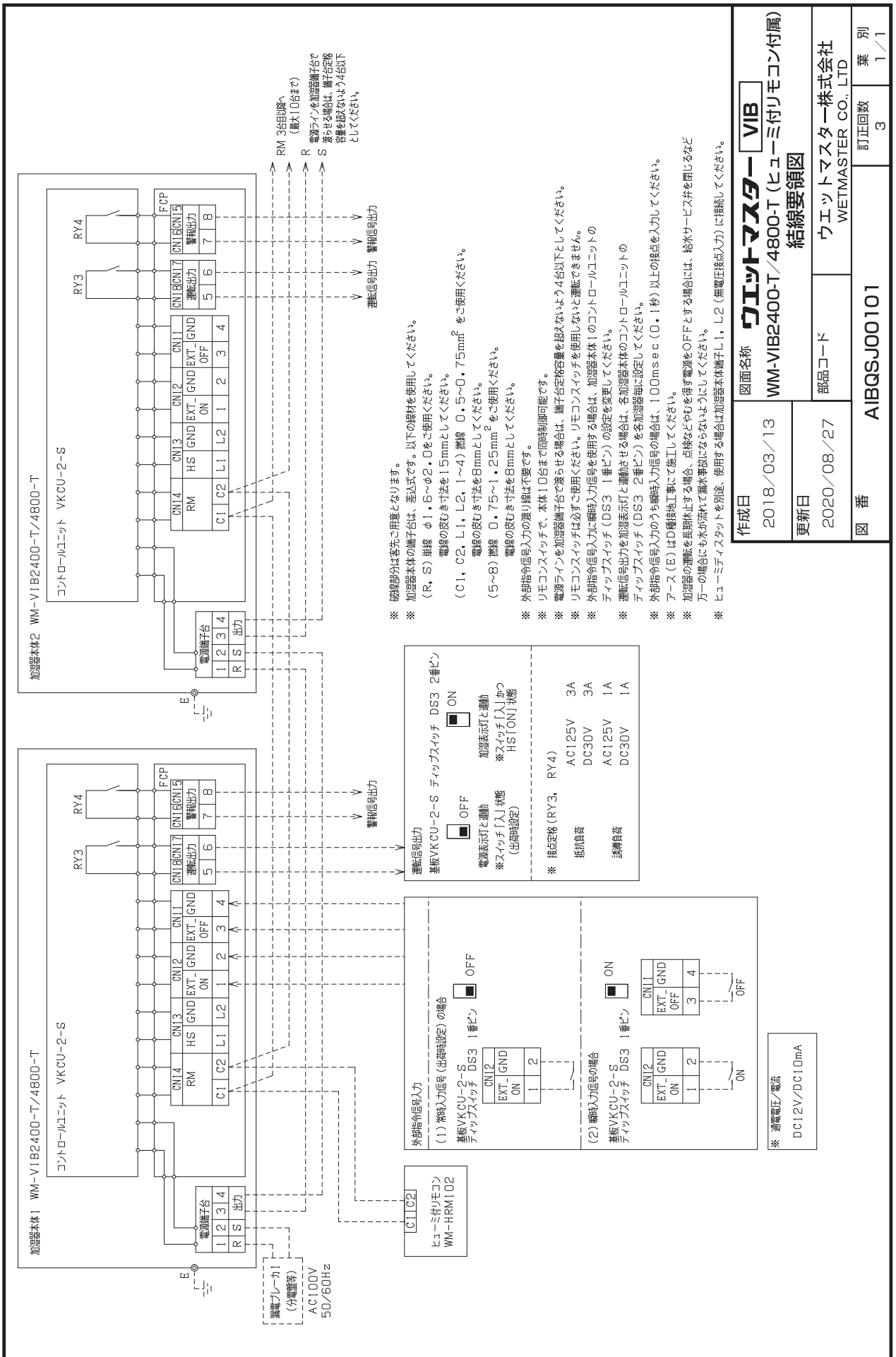
作成日	2018/03/13	図面名称	WETMASTER VIB WM-VIB2400-T (ヒューミリモコン付属) 電気回路図
更新日	2020/08/27	部品コード	ウエットマスター株式会社 WETMASTER CO., LTD
図番	AIBQS800101	訂正回数	2
		葉別	1/1

- ※ 加温器本体の端子台は、差込式です。以下の線材を使用してください。  
(R, S) 導線 φ1.6×φ2.0をご使用ください。  
電線の芯むき寸法を15mmとしてください。
- (C1, C2, L1, L2, L1~4) 燃線 0.5~0.75mm<sup>2</sup>をご使用ください。
- (5~8) 燃線 0.75~1.25mm<sup>2</sup>をご使用ください。
- ※ 必ず漏電ブレーカを設置してください。
- ※ アース(E)は、D種接地工事にて施工してください。
- ※ 加温器の運転を長期休止する場合は、点検などやむを得ず電源をOFFとする場合には、給水タンクを閉じるなど万が一の場合にも水が流れて漏水事故にならないようご注意ください。
- ※ ヒューミ付リモコンの出荷時設定速度は40%RHです。リモコンスイッチの操作により変更可能です。

番号	記号	部品名称	仕様
27	SW5	電源スイッチ	変型(基板搭載)
26	FCP	ファンコントロールユニット	AC100V
25	E	アース	D種接地工事
24	BZ	圧電ブザー	(警報発生警報専用)
23	DS4	デュップスイッチ	4P
22	DS3	デュップスイッチ	4P (入/出力信号設定用)
21	DS2	デュップスイッチ	2P
20	DS1	デュップスイッチ	4P (高次給水時間設定用)
19	LVS	レベルセンサ	電極棒式
18	FS	高水位検出フロートスイッチ	上ON
17	RY6	給水遮断弁運転用リレー	DCリレー 1a
16	RY5	ドレン排水用ポンプ運転用リレー	DCリレー 1a
15	RY4	警報信号リレー	DCリレー 1a
14	RY3	運転信号リレー	DCリレー 1a
13	RY2	ファン強弱切替用リレー	DCリレー 1c
12	RY1	ファン運転用リレー	DCリレー 1a
11	SSR	給水電磁弁運転用リレー	ソリッドステートリレー
10	SW3	外部指令入力接点	瞬時停止(常先用意)
9	SW2	外部指令入力接点	瞬時or常時入力(常先用意)
8	P	ドレン排水用ポンプ	AC100V
7	FAN	ファン	AC100V
6	SV2	給水電磁弁	AC100V
5	SV1	給水遮断弁	AC100V
4	TR	SWトランス	基板搭載タイプ、絶縁型
3	F	ヒューズ	ガラス管 0.5A
2	SW1	電源スイッチ	変型(基板搭載)
1	VKCU-2-S	コントロールユニット	マイコン制御



作成日	2018/03/13	図面名称	<b>ウエットマスター</b> <b>VIB</b>
更新日	2020/08/27	部品コード	WM-VIB4800-T (ヒューミ付リモコン付属)
図番	AIBQSB00102	電気回路図	
		ウエットマスター株式会社	
		WEITMASTER CO., LTD	
		訂正回数	2
		葉別	1/1



- ※ 破線部分は各々ご用意となります。
- ※ 加湿器本体の端子台は、差込式です。以下の線材を使用してください。  
 (R, S) 亜鉛 φ1.6〜φ2.0をご使用ください。  
 電線の芯むき寸法を1.5mmとしてください。  
 (C1, C2, L1, L2, L1, L2, L1, L2) 熱線 0.5〜0.75mm<sup>φ</sup> をご使用ください。  
 (5〜8) 熱線 0.75〜1.25mm<sup>φ</sup> をご使用ください。  
 電線の芯むき寸法を8mmとしてください。  
 ※ 外部指令信号入力の渡り線は不要です。
- ※ リモコンスイッチで、本体10台まで同時制御可能です。  
 ※ 電源ラインを加湿器端子台で渡らせる場合は、端子台定格容量を超えないよう4台以下とさせていただきます。
- ※ リモコンスイッチは必ずご使用ください。リモコンスイッチを使用しないと運転できません。  
 ※ 外部指令信号入時に瞬時入力信号を使用する場合は、加湿器本体1のコントロールユニットのティップスイッチ (DS3 1番ピン) の設定を変更してください。  
 ※ 運転信号出力を加湿表示灯と連動させる場合は、各加湿器本体のコントロールユニットのティップスイッチ (DS3 2番ピン) を各加湿器毎に設定してください。  
 ※ 外部指令信号入力のうち瞬時入力信号の場合は、100msec (0.1秒) 以上の接点を入力してください。  
 ※ アース (E) はD種接地工事にて施工してください。  
 ※ 加湿器の運転を長期休止する場合は、点検などやむを得ず電源をOFFとする場合には、給水サービス弁を閉じるなど方への場合にも水が溜れやすくなる恐れがあります。事前に水抜き作業を行ってください。

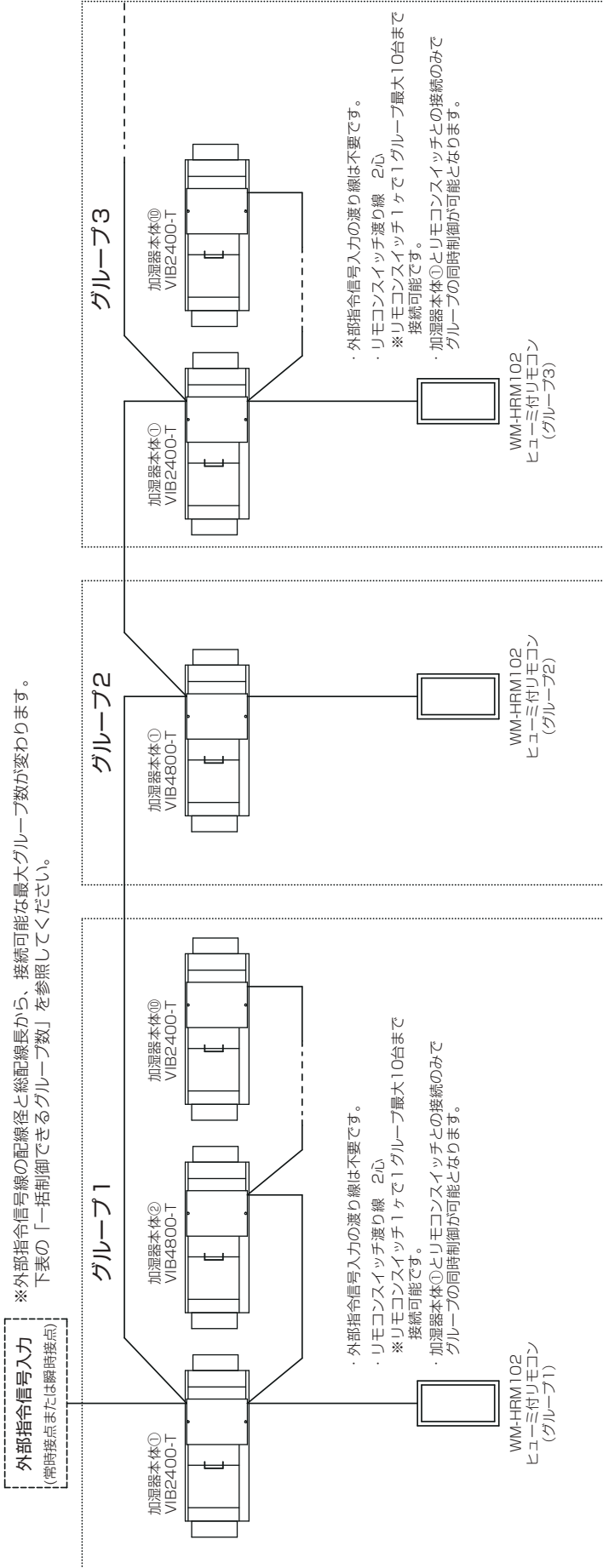
作成日	2018/03/13	図面名称	ウェットマスター VIB
更新日	2020/08/27	製品コード	WM-VIB2400-T/4800-T (ヒューミ付リモコン付属)
図番	AIBQSJ00101	部品コード	ウエットマスター株式会社 WETMASTER CO., LTD
		訂正回数	3
		葉別	1 / 1

外部指令信号入力	
運転信号出力	基版VKCU-2-S ティップスイッチ DS3 2番ピン
電圧表示灯と連動	<input type="checkbox"/> OFF
電源表示灯と連動	<input type="checkbox"/> ON
※ スイッチ「入」状態 (出庫時設定)	
接点定格 (RY3, RY4)	AC125V 3A DC30V 3A
抵抗負荷	AC125V 1A DC30V 1A
誘導負荷	

外部指令信号入力	
(1) 常時入力信号 (出庫時設定) の場合	
EXT. GND	ON
CNI 2	OFF
ON	
1 2	
(2) 瞬時入力信号の場合	
EXT. GND	ON
CNI 2	OFF
ON	
1 2	

※ 通電電圧/電流  
 DC12V/DC10mA

●WM-VIB2400-T/4800-T 複数グループを外部指令信号入力（遠方発停）で一括制御する場合の結線例



必ず1グループに1つリモコンスイッチが必要です。リモコンスイッチ無しでの運転はできません。  
外部指令信号入力は常時入力（2心×1本）または瞬時入力（2心×2本）、無電圧接点入力となり、各グループにおける加湿器本体①のみの結線となります。  
※加湿器本体コントロールユニットのディスプレイのディップスイッチで常時入力または瞬時入力または常時入力または瞬時入力を選択してください。なお、出荷時は常時入力の設定となっています。

一括制御できるグループ数

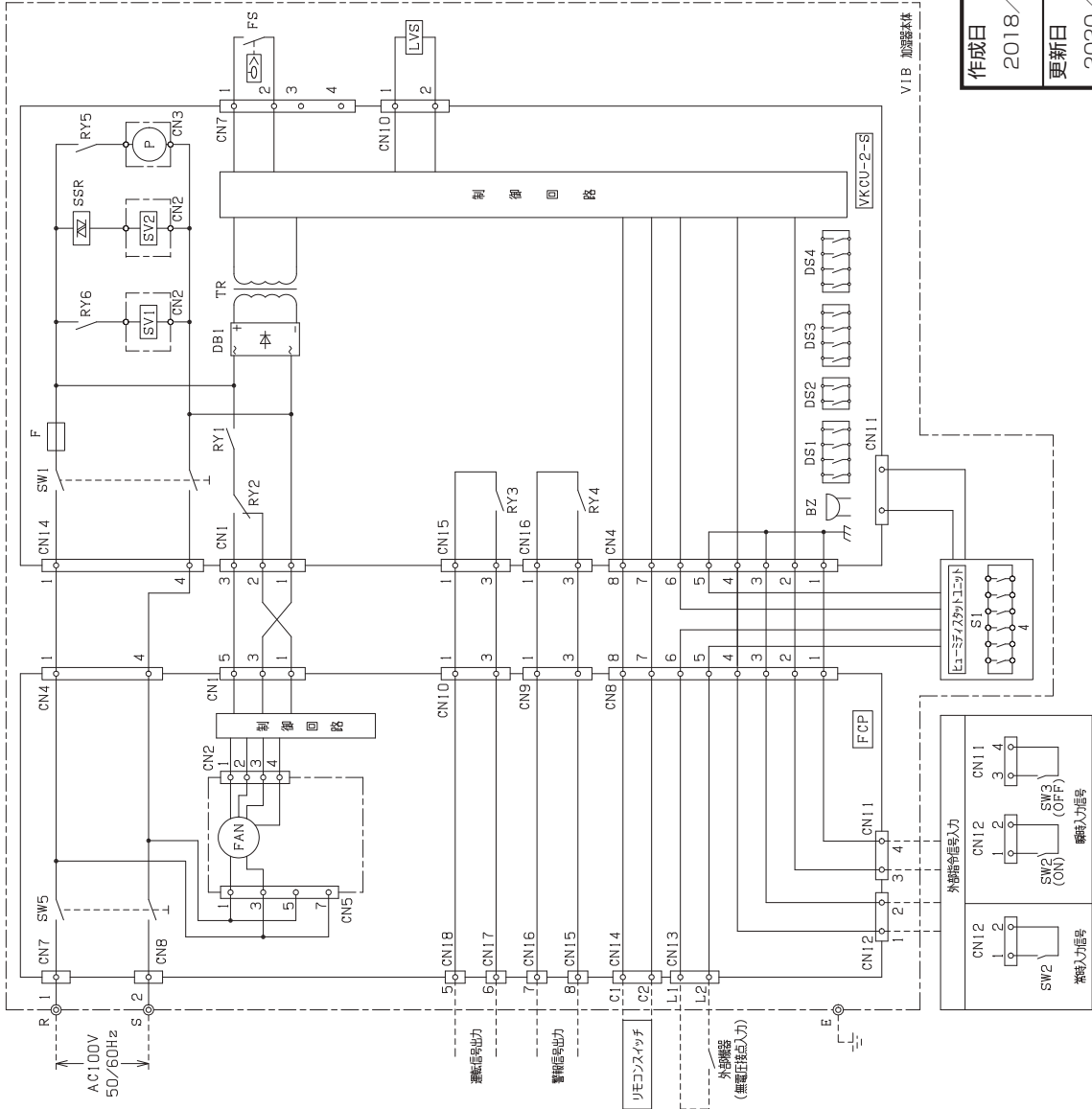
※外部指令信号入力の接点容量は、50グループまでの接続の場合1A以上、100グループまで接続の場合1.5A以上、200グループまで接続の場合3A以上としてください。

外部指令信号線	総配線長	1000m	1500m	2000m
	配線径	0.75mm <sup>2</sup>	140グループ	90グループ
	1.25mm <sup>2</sup>	200グループ	160グループ	115グループ

作成日	2018/03/19	図面名称	ウエットマスター VIB
更新日	2020/08/27	部品コード	WM-VIB2400-T/4800-T (ヒューミ付リモコン付属)
図番	AIBQSJ00102	結線参考図	ウエットマスター株式会社 WETMASTER CO., LTD
		訂正回数	1
		葉別	1/1

- ※ 加温器本体の端子名は、差込式です。以下の線材を使用してください。  
(R, S) 線径 φ1.6~φ2.0を2.0まで使用してください。  
電線の径ひき寸法を1.5mmとしてください。  
(C1, C2, L1, L2, 1~4) 線径 φ0.5~φ0.75mmφ をご使用ください。  
(5~8) 線径 φ0.75~φ1.25mmφ をご使用ください。  
電線の径ひき寸法を8mmとしてください。  
※ 必ず電線ブレーカを設置してください。  
※ アース(E)は、D種接地工事にて施工してください。  
※ 加温器の運転を制御する際、点検などでお持ち帰り電源をOFFとする場合には、検水リレーを閉じるなどの方角への場合にのみ運転を停止するようご注意ください。  
※ 外部機器との接続を行う場合は加温器本体端子1, 1L2 (高電圧抵抗入力)に接続し、ヒューズユニットの端子1, 1L2 (高電圧抵抗入力)をONにしてください。  
※ 加温器本体はヒューズユニットの端子1, 1L2 (高電圧抵抗入力)の端子により設置可能です。  
※ 出線時定電流は40%RHです。

番号	記号	部品名称	仕様
28	S1	ディップスイッチ	6P (4番ピン: 通断 ON/OFF)
27	SW5	電源スイッチ	差型 (基板搭載)
26	FCP	ファンコントロールユニット	AC100V
25	E	アース	D種接地工事
24	BZ	圧電ブザー	(警報発生器確認用)
23	DS4	ディップスイッチ	4P
22	DS3	ディップスイッチ	4P (入出力信号設定用)
21	DS2	ディップスイッチ	2P
20	DS1	ディップスイッチ	4P (高圧検出時設定用)
19	LVS	レベルセンサ	電線差込式
18	FS	高水位検出用フロースイッチ	1ON
17	RY6	給水遮断弁駆動用リレー	DCリレー 1a
16	RY5	ドレン排水用ポンプ駆動用リレー	DCリレー 1a
15	RY4	警報信号リレー	DCリレー 1a
14	RY3	運転信号リレー	DCリレー 1a
13	RY2	ファン強運転用リレー	DCリレー 1c
12	RY1	ファン運転用リレー	DCリレー 1a
11	SSR	給水電磁弁駆動用リレー	ソリッドステートリレー
10	SW3	外部指令入力接点	瞬時停止 (省先用途)
9	SW2	外部指令入力接点	瞬時or 常時入力 (省先用途)
8	P	ドレン排水用ポンプ	AC100V
7	FAN	ファン	AC100V
6	SV2	給水電磁弁	AC100V
5	SV1	給水遮断弁	AC100V
4	TR	SWトランス	基板搭載タイプ、絶縁型
3	F	ヒューズ	ガラス管 0.5A
2	SW1	電源スイッチ	差型 (基板搭載)
1	VKCU-2-S	コントロールユニット	マイコン制御



作成日 2018/03/27  
更新日 2020/08/27

図面名称 **ウエットマスター VIB**  
**WM-VIB2400A-T 電気回路図**

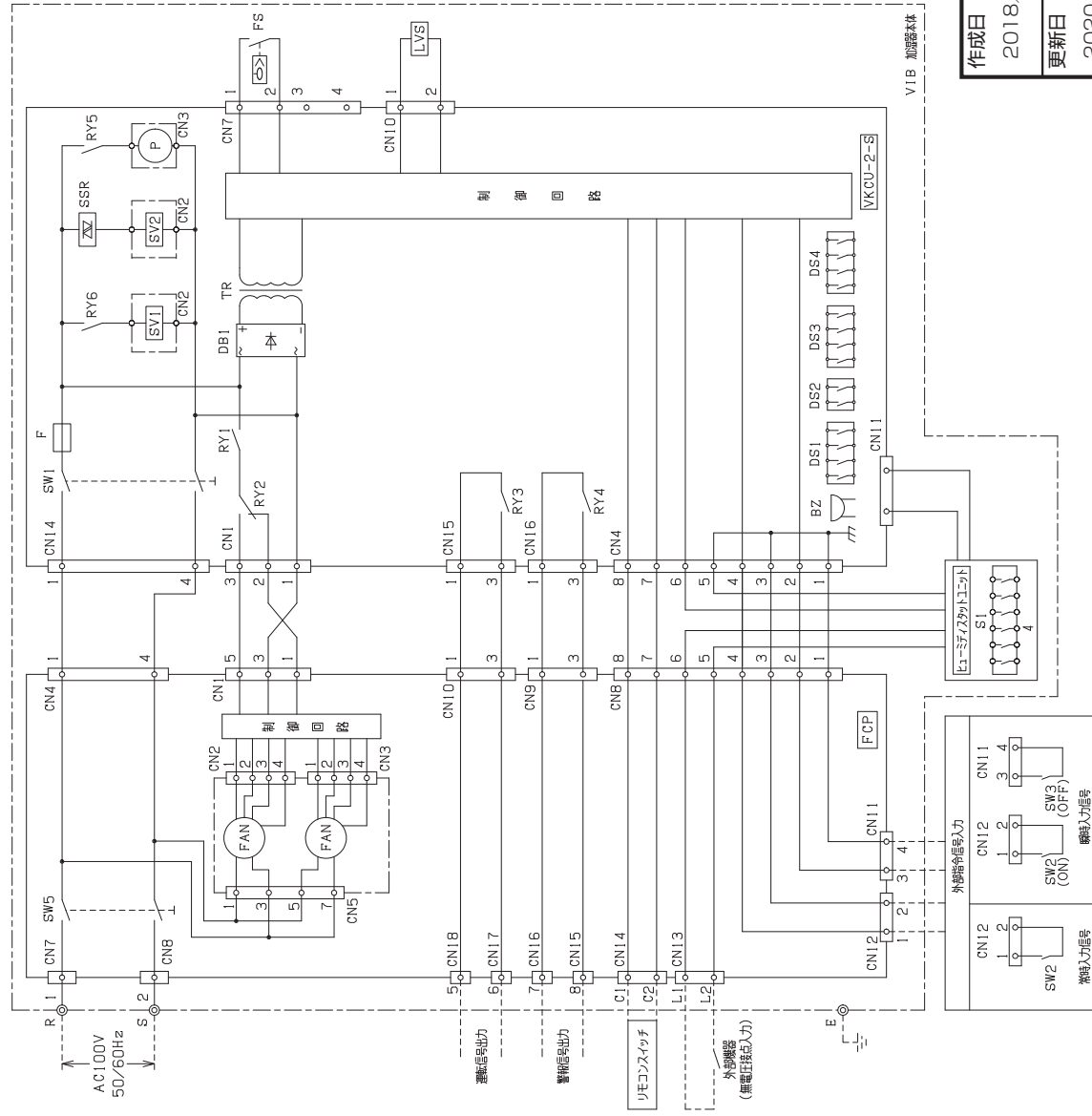
部品コード ウエットマスター株式会社  
WEITMASTER CO., LTD

図番 **AIBQSB00201** 訂正回数 3 葉別 1/1



- \* 加温器本体の端子台は、差込式です。以下の材料を使用してください。  
(R, S) 規格 φ1.6~φ2.0 をご使用ください。  
電線の芯むすび径を1.5mmとしてください。  
(C1, C2, L1, L2, 1~4) 線径 0.5~0.75mm<sup>2</sup> をご使用ください。  
(5~8) 線径 0.75~1.25mm<sup>2</sup> をご使用ください。  
電線の芯むすび径を8mmとしてください。  
電線の芯むすび径を5mmとしてください。
- \* 必ず電圧ブレーカを設置してください。
- \* アース(E)は、D種接地工事にて施工してください。
- \* 加温器の電源を長期使用する場合は、点検などやむを得ず電源をOFFとする場合は、給水ユニットを使用するなどの方法が一時的に水の供給で漏水事故に陥らないようにしてください。
- \* 外部機器との電源線を行き来は加温器本体端子L1, L2(無電圧接入力)に接続し、ホームスイッチユニットのディップスイッチ(S1, 4番ピン)をONにしてください。
- \* 加温器本体はホームスイッチユニットの設置距離はホームスイッチユニットのディップスイッチS1の規格により変更可能です。  
此間時定数は40分です。

番号	記号	部品名称	仕様
28	S1	ディップスイッチ	6P (4番ピン): 過電圧 ON/OFF
27	SW5	電源スイッチ	波型 (基準搭載)
26	FCP	ファンコントロールユニット	AC100V
25	E	アース	D種接地工事
24	BZ	圧電プガ-	(警報発生器補助用)
23	DS4	ディップスイッチ	4P
22	DS3	ディップスイッチ	4P (入出力信号設定用)
21	DS2	ディップスイッチ	2P
20	DS1	ディップスイッチ	4P (間欠給水時間設定用)
19	LVS	レベルセンサ	電極棒式
18	FS	高水位検知用フロースイッチ	ON
17	RY6	給水選断弁運転用リレー	DCリレー Ia
16	RY5	ドレン排水用ポンプ運転用リレー	DCリレー Ia
15	RY4	警報信号リレー	DCリレー Ia
14	RY3	運転信号リレー	DCリレー Ia
13	RY2	ファン運転用リレー	DCリレー Ic
12	RY1	ファン運転用リレー	DCリレー Ia
11	SSR	給水電磁弁運転用リレー	ソリッドステートリレー
10	SW3	外部指令入力接点	瞬時停止 (客先用)
9	SW2	外部指令入力接点	瞬時or常時入力 (客先用)
8	P	ドレン排水用ポンプ	AC100V
7	FAN	ファン	AC100V
6	SV2	給水電磁弁	AC100V
5	SV1	給水選断弁	AC100V
4	TR	SWトランス	基板搭載タイプ、絶縁型
3	F	ヒューズ	ガラス管 0.5A
2	SW1	電源スイッチ	波型 (基準搭載)
1	VKCU-2-S	コントロールユニット	マイコン制御

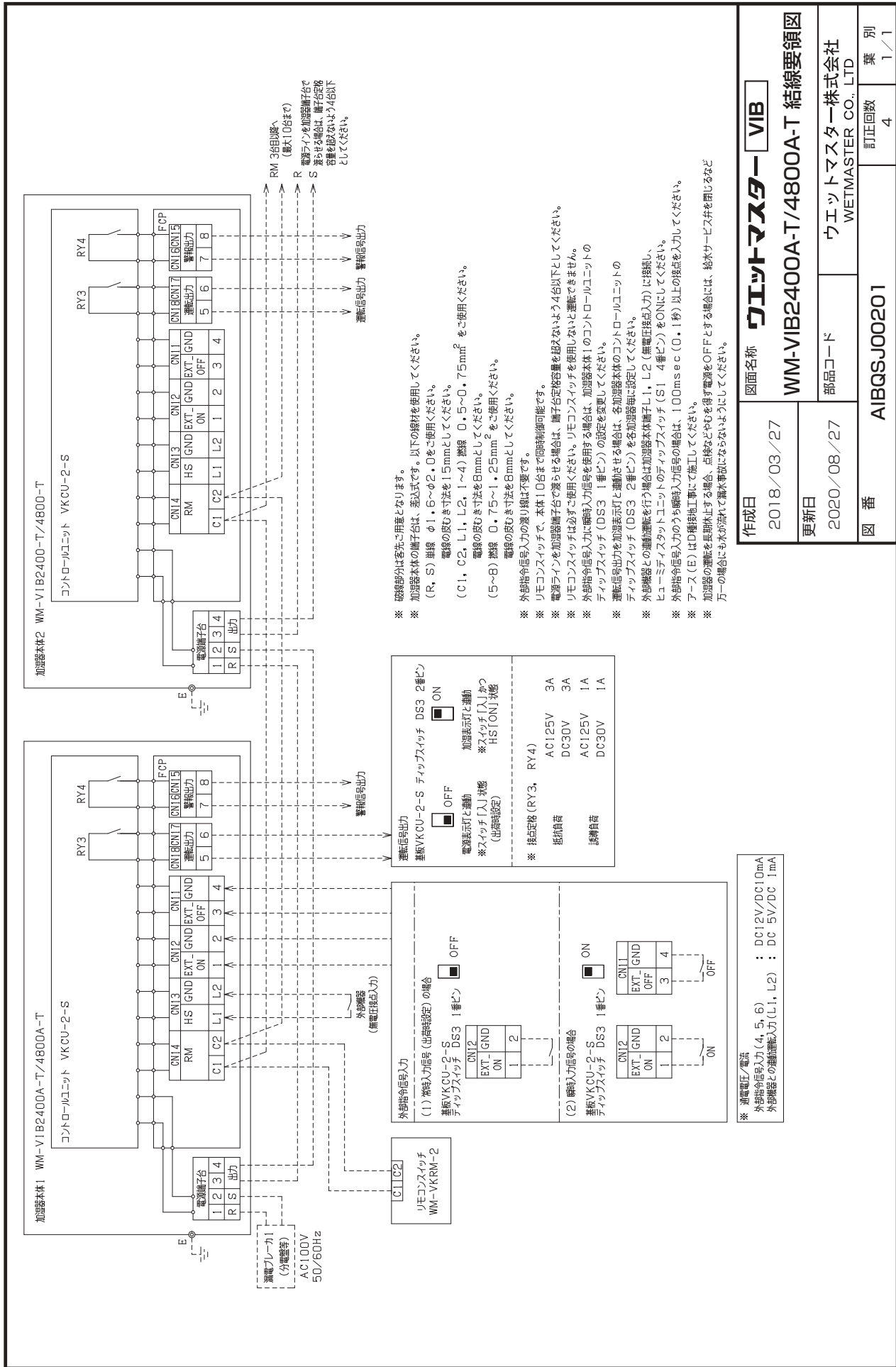


作成日 2018/03/27  
更新日 2020/08/27

図面名称 **ウェットマスター VIB**  
**WM-VIB4800A-T 電気回路図**

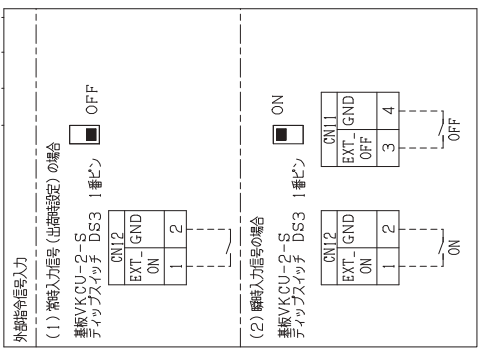
部品コード ウェットマスター株式会社  
WEITMASTER CO., LTD

図番 **AIBQSB00202** 訂正回数 3 葉別 1/1



- ※ 破線部分は省略となります。
- ※ 加温器本体の端子台は、差込式です。以下の線材を使用してください。  
 (R, S) 亜鉛 φ1.6~φ2.0 をご使用ください。  
 電線の芯むき寸法を15mmとしてください。  
 (C1, C2, L1, L2, 1~4) 熱線 0.5~0.75mm<sup>2</sup> をご使用ください。  
 (5~8) 熱線 0.75~1.25mm<sup>2</sup> をご使用ください。  
 電線の芯むき寸法を8mmとしてください。
- ※ 外部指令信号の入力の線は不要です。
- ※ リモコンスイッチで、本体10台まで同時制御可能です。
- ※ 電源ラインを加温器端子台で渡らせる場合は、端子台定格容量を超えないよう4台以下としてください。
- ※ リモコンスイッチは必ずご使用ください。リモコンスイッチを使用しないとは運転できません。
- ※ 外部指令信号入力に同時入力信号を使用する場合は、加温器本体1のコントロールユニットの  
 ティップスイッチ (DS3 1番ピン) の設定を変更してください。
- ※ 運転信号出力を加温表示灯と連動させる場合は、各加温器本体のコントロールユニットの  
 ティップスイッチ (DS3 2番ピン) を各加温器毎に設定してください。
- ※ 外部機器との連動運転を行う場合は加温器本体端子L1, L2 (無電圧接点入力) に接続し、  
 ヒューミティスタットユニットのディファイブスイッチ (S1 4番ピン) をONにしてください。
- ※ 外部指令信号入力のうち瞬時入力信号の場合は、100msec (0.1秒) 以上の接点を入力してください。
- ※ アース(E)はD種接地工事にて施工してください。
- ※ 加温器の運転を長期休止する場合は、点検などやむを得ず電源をOFFとする場合は、給水サービス井を用いるなど  
 万一の場合にも水が溢れて漏水事故にならないようしてください。

運転信号出力 基板VKCU-2-S ティップスイッチ DS3 2番ピン	<input type="checkbox"/> OFF	加温表示灯と連動 ※スイッチ「入」状態 (出荷時設定)	抵抗負荷 AC125V 3A DC30V 3A
電源表示灯と連動 ※スイッチ「入」状態 (出荷時設定)	<input type="checkbox"/> ON	HISTON 状態	誘導負荷 AC125V 1A DC30V 1A

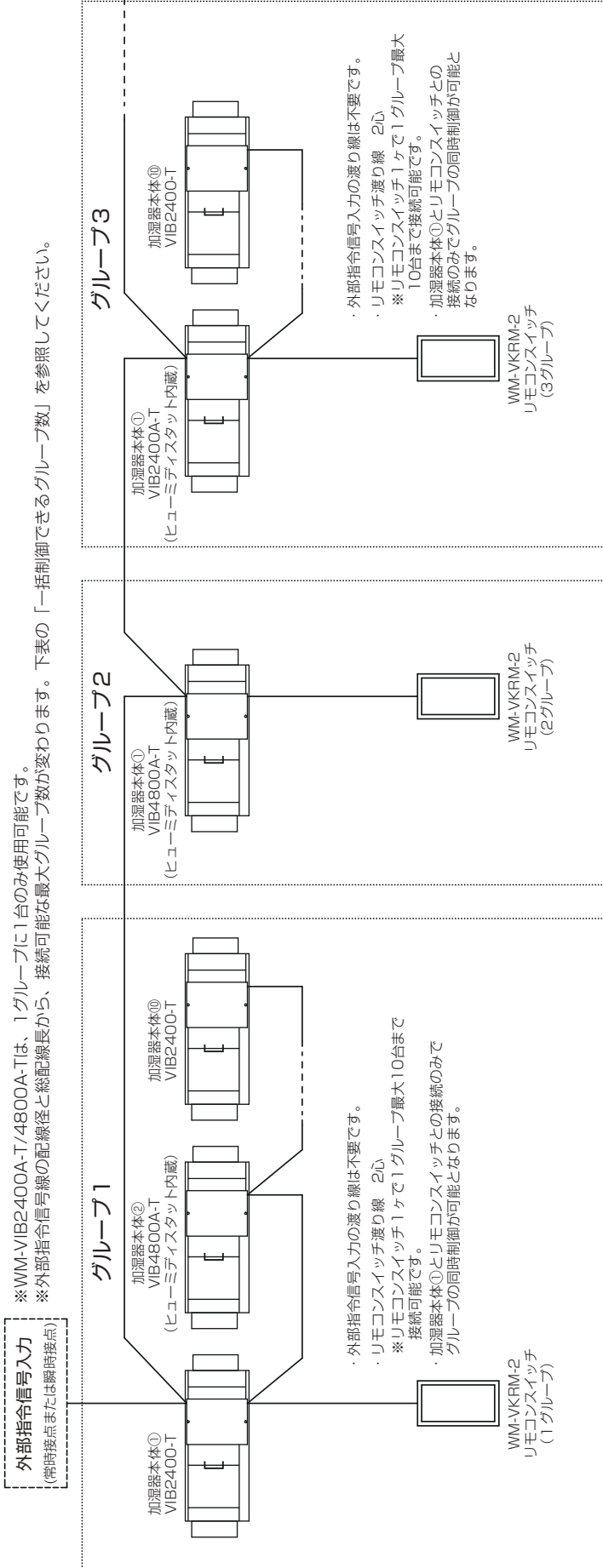


※ 運転電源/電流  
 外部指令信号入力 (4, 5, 6) : DC12V/DC10mA  
 外部機器との連動入力 (L1, L2) : DC 5V/DC 1mA

作成日	2018/03/27	図面名称	ウエットマスター VIB
更新日	2020/08/27	部品コード	WM-VIB2400A-T/4800A-T 結線要領図
図番	AIBQSJ00201	ウエットマスター株式会社	WEITMASTER CO., LTD
		訂正回数	4
		葉別	1 / 1

●WM-VIB2400A-T/4800A-T 複数グループを外部指令信号入力（遠方発停）で一括制御する場合の結線例

※WM-VIB2400A-T/4800A-Tは、1グループに1台のみ使用可能です。  
 ※外部指令信号線の配線径と総配線長から、接続可能な最大グループ数が変わります。下表の「一括制御できるグループ数」を参照してください。



必ず1グループに1つリモコンスイッチが必要です。リモコンスイッチ無しでの運転はできません。  
 外部指令信号入力は常時入力（2心×1本）または瞬時入力（2心×2本）、無電圧接点入力となり、各グループにおける加湿器本体①のみの結線となります。  
 ※加湿器本体コントロールユニットのディップスイッチで常時入力または瞬時入力または常時入力または瞬時入力を選択してください。なお、出荷時は常時入力の設定となっています。

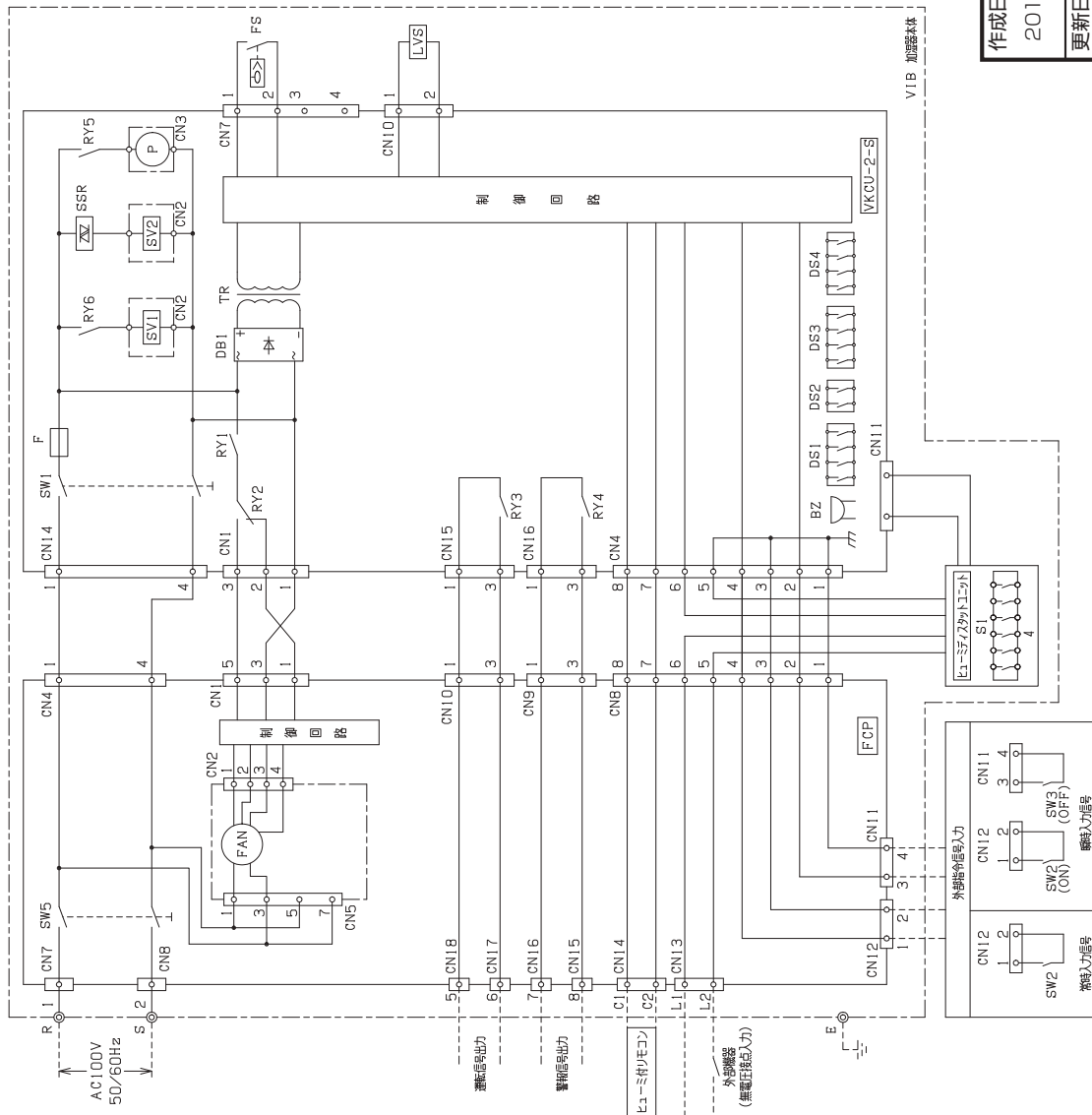
一括制御できるグループ数

※外部指令信号入力の接点容量は、50グループまでの接続の場合1A以上、100グループまで接続の場合1.5A以上、200グループまで接続の場合3A以上としてください。

外部指令信号線	総配線長	1000m	1500m	2000m
	配線径	0.75mm <sup>2</sup>	140グループ	90グループ
		200グループ	160グループ	115グループ

作成日	2018/03/24	図面名称	ウェットマスター VIB
更新日	2020/08/27	部品コード	WM-VIB2400A-T/4800A-T
図番	AIBQSJ00202	結線参考図	ウェットマスター株式会社 WETMASTER CO., LTD
		訂正回数	1
		葉別	1/1

- ※ 加振器本体の端子台は、図式です。以下の図材を使用してください。  
(R, S) 黒線 φ1.6~φ2.0を15mmと寸取ください。 (5~6) 黒線 0.75~1.25mmφ をご使用ください。電線の径は必ず寸法を5mmと寸取ください。
- (C1, C2, L1, L2, L1~4) 黒線 0.5~0.75mmφ をご使用ください。電線の径は必ず寸法を3mmとしてください。
- ※ 必ず電線ブレーキを設けてください。
- ※ アース(E)は、D種接地工法にて施工してください。
- ※ 加振器の運転を長期停止する場合は、点検のため必ず電源スイッチをOFFとする場合は、絶縁テープを巻くなど十分な注意を払って電線が断線しないようにしてください。
- ※ 冷却水の循環は、ヒューミテックに付属したヒューミテックポンプで行います。
- ※ 冷却水の循環は、ヒューミテックに付属したヒューミテックポンプで行います。
- ※ 加振器本体の設置は、ヒューミテックに付属したヒューミテックポンプで行います。
- ※ 加振器本体の設置は、ヒューミテックに付属したヒューミテックポンプで行います。
- ※ 加振器本体の設置は、ヒューミテックに付属したヒューミテックポンプで行います。
- ※ 加振器本体の設置は、ヒューミテックに付属したヒューミテックポンプで行います。

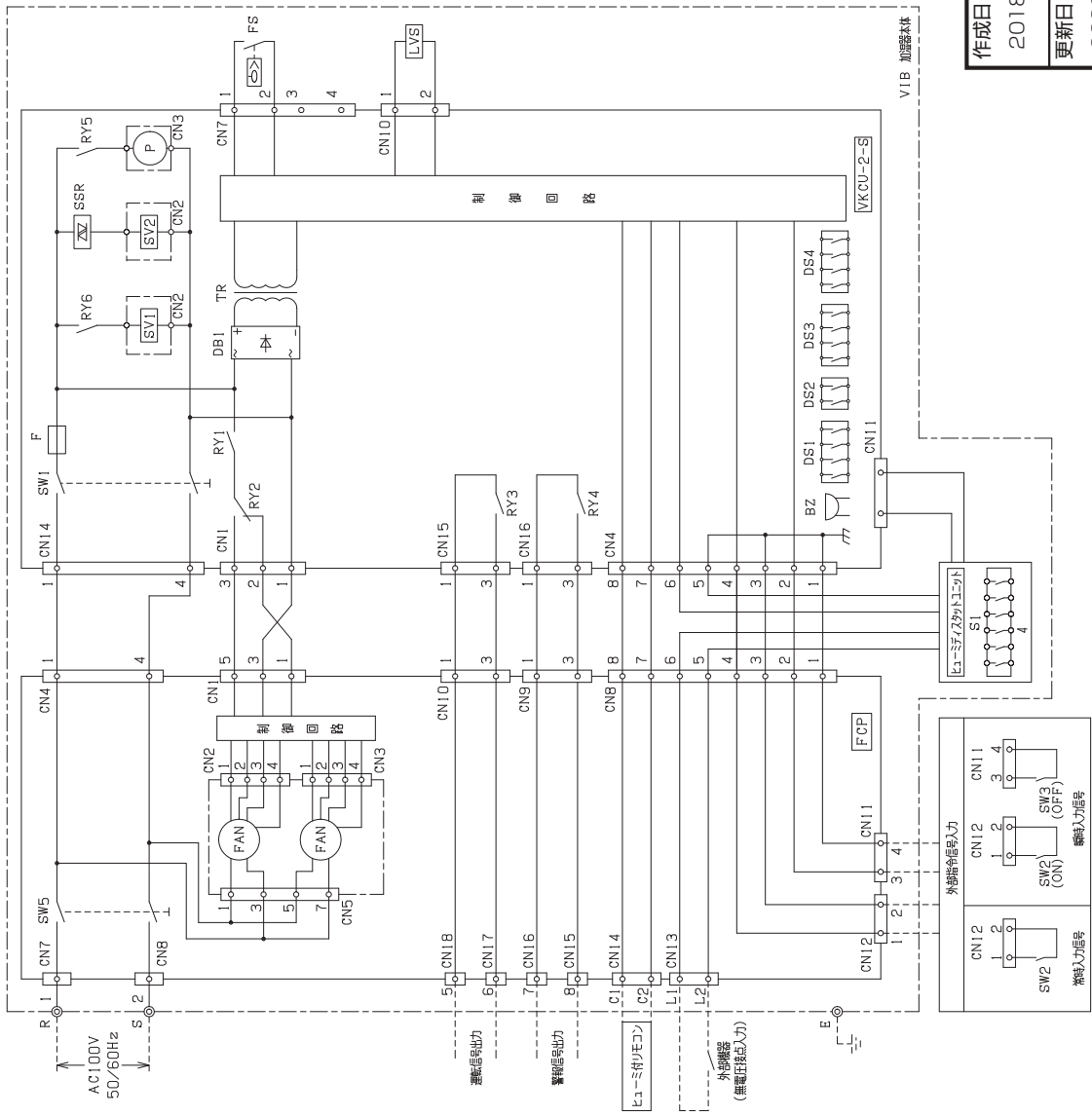


番号	記号	部品名称	仕様
28	S1	ディップスイッチ	6P (4番ピン: 通電線 ON/OFF)
27	SW5	電源スイッチ	波型 (基板搭載)
26	FCP	ファンコントロールユニット	AC100V
25	E	アース	D種接地工事
24	BZ	圧電ブザー	(警報発生器確認用)
23	DS4	ディップスイッチ	4P
22	DS3	ディップスイッチ	4P (入出力信号設定用)
21	DS2	ディップスイッチ	2P
20	DS1	ディップスイッチ	4P (電気始動機設定用)
19	LVS	レベルセンサ	電線導式
18	FS	高水位検知用フロートスイッチ	上ON
17	RY6	給水運転停止用リレー	DCリレー 1a
16	RY5	ドレン排水用ポンプ運転用リレー	DCリレー 1a
15	RY4	警報信号リレー	DCリレー 1a
14	RY3	運転信号リレー	DCリレー 1a
13	RY2	ファン強制動作用リレー	DCリレー 1c
12	RY1	ファン運転用リレー	DCリレー 1a
11	SSR	給水電磁弁運転用リレー	ソリッドステートリレー
10	SW3	外部信号入力接点	瞬時停止 (常時閉)
9	SW2	外部信号入力接点	瞬時or常時閉入力 (常時閉)
8	P	ドレン排水用ポンプ	AC100V
7	FAN	ファン	AC100V
6	SV2	給水電磁弁	AC100V
5	SV1	給水電磁弁	AC100V
4	TR	SWトランス	基板搭載タイプ、絶縁型
3	F	ヒューズ	ガラス管 0.5A
2	SW1	電源スイッチ	波型 (基板搭載)
1	VKCU-2-S	コントロールユニット	マイコン制御

作成日	2018/03/27		
更新日	2020/08/27		
図番	AIBQSB00301	訂正回数	2
図面名称	<b>ウェットマスター VIB</b> WM-VIB2400A-T (ヒューミテック付リモコン付属) 電気回路図		
部品コード	ウェットマスター株式会社 WETMASTER CO., LTD		
葉別	1 / 1		

- \* 追加器本体の端子台は、差込式です。以下の材料を使用してください。(R, S) 線径 φ1.6~φ2.0をご利用ください。(5~8) 線径 0.75~1.25mm<sup>2</sup>をご利用ください。電線の皮むき寸法を15mmとしてください。電線の皮むき寸法を8mmとしてください。
- (C1, C2, L1, L2, I1~I4) 線径 0.5~0.75mmφ をご利用ください。電線の皮むき寸法を8mmとしてください。
- \* 必ず電線ブリーダーを設置してください。
- \* アース(E)は、D種接地工事に準じて施工してください。
- \* 追加器の運転を長期化する場合は、点検が必要であり、運転をOFFとする場合は、給水パイプを閉じるなどの場合に給水パイプが閉鎖され給水が止まる恐れがあります。給水パイプを閉鎖した場合は、ヒューミ付リモコンで設定されているようにしてください。
- \* 追加器の追加接続は、ヒューミ付リモコンで実施したヒューミ付リモコンで行ってください。
- \* 追加器の設置は、ヒューミ付リモコンで実施したヒューミ付リモコンで行ってください。
- \* 追加器本体に付属したヒューミ付リモコンで追加器の動作確認はヒューミ付リモコンで行います。
- \* 追加器の動作確認は40℃です。
- \* 追加器本体に付属したヒューミ付リモコンで追加器の動作確認はヒューミ付リモコンで行います。
- \* 追加器の動作確認は、追加器の端子台(無電圧端子)をL1, L2に接続し、ヒューミ付リモコンのディスプレイ(S1: 4番ピン)をONにしてください。

番号	記号	部品名称	仕様
28	S1	ディスプレイスイッチ	6P (4番ピン: 通電線 ON/OFF)
27	SW5	電源スイッチ	型式 (基準搭載)
26	F・CP	ファンコントロールユニット	AC100V
25	E	アース	D種接地工事
24	BZ	圧電ブザー	(警報発生器確認用)
23	DS4	ディスプレイスイッチ	4P
22	DS3	ディスプレイスイッチ	4P (入出力高圧設定用)
21	DS2	ディスプレイスイッチ	2P
20	DS1	ディスプレイスイッチ	4P (高圧給水時高圧設定用)
19	LVS	レベラセンサ	電圧検出
18	F・S	高水位検出用フロースイッチ	上ON
17	RY6	給水感応弁駆動用リレー	DCリレー 1a
16	RY5	ドレン排水感応弁駆動用リレー	DCリレー 1a
15	RY4	警報信号リレー	DCリレー 1a
14	RY3	運転信号リレー	DCリレー 1a
13	RY2	ファン駆動用リレー	DCリレー 1c
12	RY1	ファン駆動用リレー	DCリレー 1a
11	SSR	給水電磁弁駆動用リレー	ソリッドステートリレー
10	SW3	外部指令入力接点	瞬時停止 (客先用)
9	SW2	外部指令入力接点	瞬時停止 (客先用)
8	P	ドレン排水ポンプ	AC100V
7	FAN	ファン	AC100V
6	SV2	給水電磁弁	AC100V
5	SV1	給水感応弁	AC100V
4	TR	SWトランス	基準搭載タイプ、絶縁型
3	F	ヒューズ	ガラス管 0.5A
2	SW1	電源スイッチ	型式 (基準搭載)
1	VKCU-2-S	コントロールユニット	マイコン制御

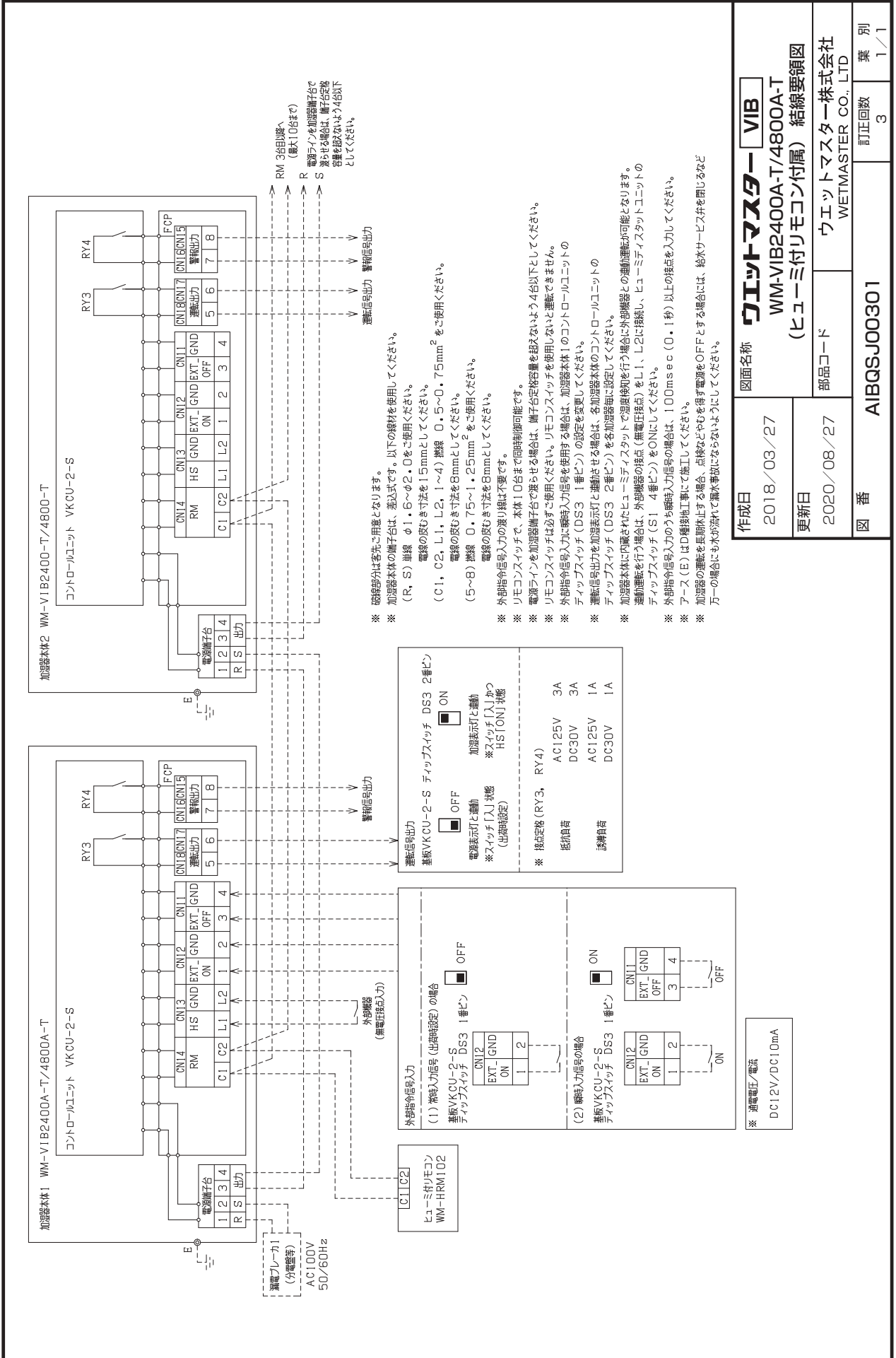


作成日 2018/03/27  
更新日 2020/08/27

図面名称 **WETMASTER-VIB**  
WM-VIB4800A-T (ヒューミ付リモコン付属)  
電気回路図

部品コード ウエットマスター株式会社  
WEITMASTER CO., LTD

図番 **AIBQSB00302** 訂正回数 2 葉別 1/1



作成日 2018/03/27	図面名称 <b>ウエットマスター VIB</b> WM-VIB2400A-T/4800A-T
更新日 2020/08/27	(ヒューミ付リモコン付属) 結線要領図
図番 AIBQSJ00301	部品コード ウエットマスター株式会社 WETMASTER CO., LTD
訂正回数 3	葉別 1/1

- ※ 破線部分は各先ご用意となります。
- ※ 加温器本体の端子台は、基込式です。以下の線材を使用してください。  
(R, S) 単線 φ1.6~φ2.0をご使用ください。  
電線の径むき寸法を1.5mmとしてください。  
(C1, C2, L1, L2, 1~4) 線径 0.5~0.75mm<sup>2</sup> をご使用ください。  
(5~8) 線径 0.75~1.25mm<sup>2</sup> をご使用ください。  
電線の径むき寸法を8mmとしてください。
- ※ 外部指令信号入力の変り線は不要です。
- ※ リモコンスイッチで、本体10台まで同時制御可能です。
- ※ 電源ラインを加温器端子台で渡らせる場合は、端子台定格容量を越さないよう4台以下としてください。
- ※ リモコンスイッチは必ずご使用ください。リモコンスイッチを使用しないと運転できません。
- ※ 外部指令信号入力に瞬時入力信号を使用する場合は、加温器本体1のコントロールユニットのディップスイッチ (DS3 1番ピン) の設定を変更してください。
- ※ 運転信号出力を加温器本体1のコントロールユニットのディップスイッチ (DS3 2番ピン) を各加温器毎に設定してください。
- ※ 加温器本体に内蔵されたヒューミテスタットで過渡検知を行う場合は、各加温器毎に過渡検知が可能なようになります。
- ※ 動作確認を行う場合は、外部機器の接点 (無電圧接点) をL1, L2に接続し、ヒューミテスタットユニットのディップスイッチ (S1 4番ピン) をONにしてください。
- ※ 外部指令信号入力のうち瞬時入力信号の場合は、100msec (0.1秒) 以上の接点を入力してください。
- ※ アース (E) はD種接地工事にて施工してください。
- ※ 加温器の運転を長期休止する場合は、点検などやむを得ず電源をOFFとする場合には、給水サービスをお断りするなど万が一の場合にも水が流れて漏水事故にならないようにしてください。

運転信号出力  
基板VKCU-2-S ディップスイッチ DS3 2番ピン

OFF	ON
-----	----

電圧表示と運転  
\*スイッチ「入」かつHS「ON」状態 (出線時設定)

※ 格点定格 (RY3, RY4)	AC125V 3A
抵抗負荷	DC30V 3A
誘導負荷	AC125V 1A
	DC30V 1A

外部指令信号入力  
(1) 常時入力信号 (出線時設定) の場合  
基板VKCU-2-S ディップスイッチ DS3 1番ピン

EXT. GND ON	OFF
CNI2 1 2	

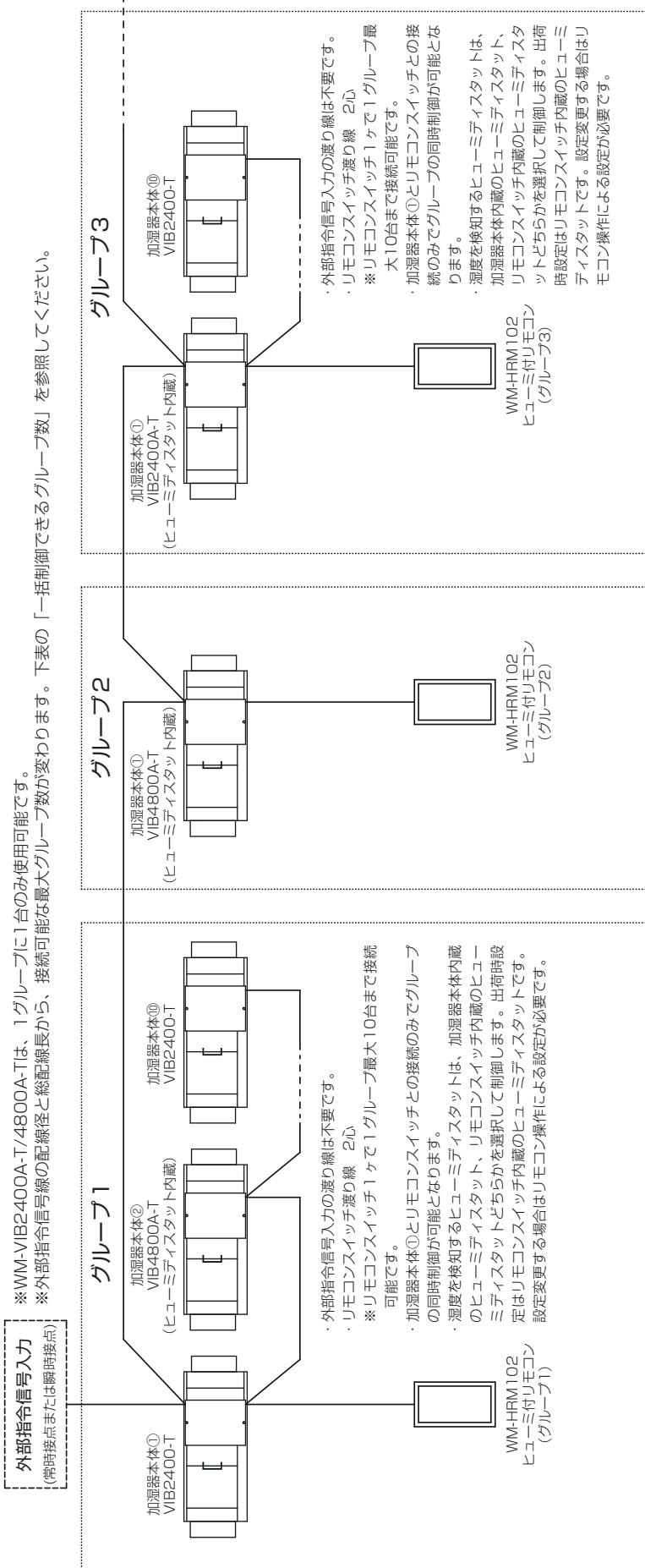
(2) 瞬時入力信号の場合  
基板VKCU-2-S ディップスイッチ DS3 1番ピン

EXT. GND ON	OFF
CNI2 1 2	

※ 通電電圧/電流  
DC12V/DC10mA

●WM-VIB2400A-T/4800A-T 複数グループを外部指令信号入力（遠方発停）で一括制御する場合の結線例

※WM-VIB2400A-T/4800A-Tは、1グループに1台のみ使用可能です。  
 ※外部指令信号線の配線径と総配線長から、接続可能な最大グループ数が変わります。下表の「一括制御できるグループ数」を参照してください。



必ず1グループに1つリモコンスイッチが必要です。リモコンスイッチ無しでの運転はできません。  
 外部指令信号入力は常時入力（2心×1本）または瞬時入力（2心×2本）、無電圧接点入力となり、各グループにおける加濕器本体①のみの結線となります。  
 ※加濕器本体コントロールユニットのディスプレイスイッチで常時入力または瞬時入力または常時入力または瞬時入力を選択してください。なお、出荷時は常時入力の設定となっています。

一括制御できるグループ数

※外部指令信号入力の接点容量は、50グループまでの接続の場合1A以上、100グループまで接続の場合1.5A以上、200グループまで接続の場合3A以上としてください。

外部指令信号線	総配線長	1000m	1500m	2000m
	配線径	0.75mm <sup>2</sup>	140グループ	90グループ
	1.25mm <sup>2</sup>	200グループ	160グループ	115グループ

作成日	2018/03/24	図面名称	ウエットマスター VIB
更新日	2020/08/27	部品コード	WM-VIB2400A-T/4800A-T
図番	AIBQSJ00302		(ヒューミ付リモコン付属) 結線参考図
			ウエットマスター株式会社
			WETMASTER CO., LTD
		訂正回数	1
		葉別	1/1

# 4 各種設定

## 4-1 アドレス設定 (リモコンスイッチ初期設定操作)、接続台数確認

●リモコンスイッチと加湿器本体を結線した後、加湿器の運転前にはアドレス設定が必要です。アドレス設定を行わないと加湿器を運転することができません。以下の点を確認してアドレス設定を行ってください。

- リモコンスイッチと加湿器本体間の配線接続 (C1、C2) が終了している。
- 1つのリモコンスイッチで複数の加湿器本体を制御する場合、各加湿器本体間の渡りの配線接続 (C1、C2) が終了している。
- 1つのリモコンスイッチで複数の加湿器本体を制御する場合、加湿器本体は 10 台以下であること。

### 4-1-1 アドレス設定方法

- ① 1 つのリモコンスイッチに接続しているすべての加湿器電源を供給する (加湿器元電源の漏電ブレーカをON) (図-10 ①)。  
 ・電源供給の際、全ての表示灯が点滅 (約 5 秒間) します。その後、警報表示灯が点滅し続けますが、アドレス設定を行うと消灯します。
- ② リモコンスイッチ上の強 / 弱切替ボタンと設定ボタンを同時に 3 秒以上長押しする (図-10 ②)。  
 ・以上の操作を行うとアドレス設定が自動で開始され、リモコンスイッチ上の強表示灯・弱表示灯が 0.5 秒間隔で同時に点滅し、約 1 分後に消灯します。その後、加湿表示灯が加湿器本体接続台数分の回数を 0.5 秒間隔で点滅し、3 回繰り返した後消灯し、アドレス設定は終了となります (所要時間最大 2 分)。

図-10 アドレス設定方法

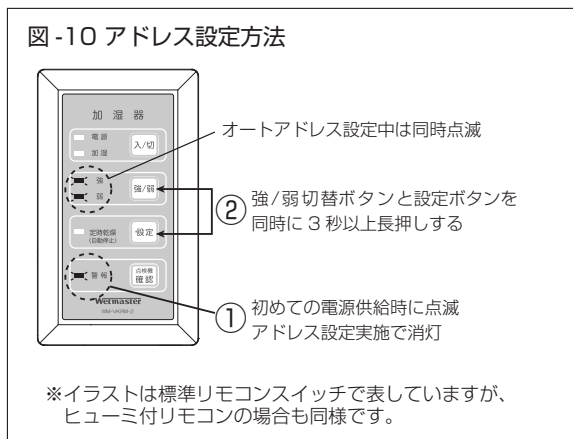


表 3 アドレス設定時のリモコンスイッチ表示

表示灯	電源 ON 時 (約 5 秒間)	アドレス設定			
		設定前	設定中	設定終了時	終了後
電源	⊗	—	—	—	—
加湿	⊗	—	—	⊗※	—
強	⊗	—	⊗	—	—
弱	⊗	—	⊗	—	—
定時乾燥	⊗	—	—	—	—
警報	⊗	⊗	—	—	—

⊗ は点滅を示します

※アドレス設定終了時は接続台数分の点滅を 3 回繰り返します。

(例) 加湿器 4 台接続の場合  
加湿表示灯点滅 4 回を 3 回繰り返す

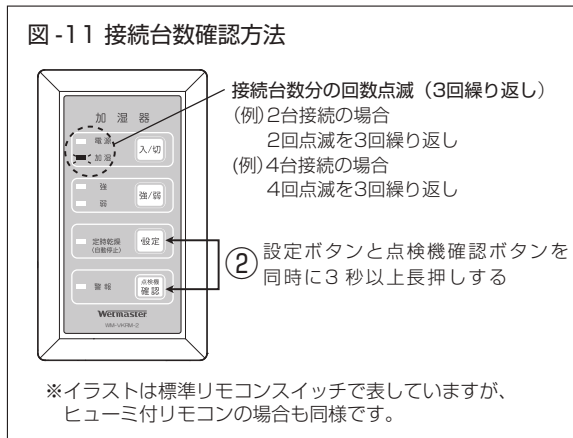
加湿表示灯    ON    OFF

- オートアドレス設定中は、リモコンスイッチ上の何れのボタンを押しても反応しません。
- 1台もアドレス設定ができなかった場合は、警報表示灯が点滅します。
- 加湿表示灯が接続台数分の回数を点滅しなかった場合や警報表示灯が点滅した場合、正しくアドレス設定できていません。P.33 図-14 を参照し、コントロールユニットの LED1 (緑) が「点滅していない」、または「早い点滅 (0.1 秒サイクル)」となっていないかを確認してください。「点滅していない」場合には電源を確認してください。「早い点滅 (0.1 秒サイクル)」の場合にはリモコンスイッチ配線および本体間の渡りの信号配線 (C1、C2) を確認し、再度アドレス設定を行ってください (再設定を行う場合、上記 ②からの操作となります)。

### 4-1-2 加湿器本体接続台数の確認方法

- 下記方法でアドレス設定終了時にリモコンスイッチ 1 台に加湿器本体が何台接続されているかを確認できます。
- ① リモコンスイッチの表示灯が全て消灯していることを確認する。
- ② リモコンスイッチ上の設定ボタンと点検機確認ボタンを同時に 3 秒以上長押しする (図-11 ②)。  
 以上で接続台数確認を開始し、確認終了後自動的に終了します。
- 接続台数の表示は表 3 のアドレス設定終了時と同じです。加湿表示灯が加湿器本体の接続台数分の回数を 0.5 秒間隔で点滅し、3 回繰り返した後消灯します。

図-11 接続台数確認方法

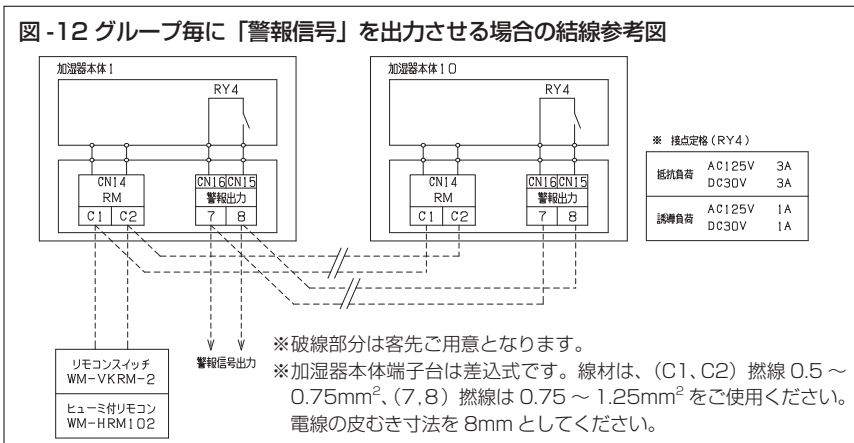




## 4-2 警報信号出力（外部信号出力）を使用する場合

- 1つのリモコンスイッチで複数台制御する場合、警報信号は各加湿器の端子7、8から個別に出力されます。
- 警報信号は安全保護機能が作動した時に出力されます。

安全保護機能
1) ドレンパン高水位検知 (運転停止 / 警報表示灯点灯)
2) 給水電磁弁リーク検知 (運転停止 / 警報表示灯点灯)
3) ドレン排水用ポンプ排水異常検知 (運転停止 / 警報表示灯点灯)



## 4-3 運転信号出力（外部信号出力）を使用する場合のディップスイッチ設定



**警告**

- ディップスイッチ切替作業は、必ず加湿器元電源の漏電ブレーカを OFF にし、電源供給を停止してから行ってください。通電したままの作業は感電の原因になります。

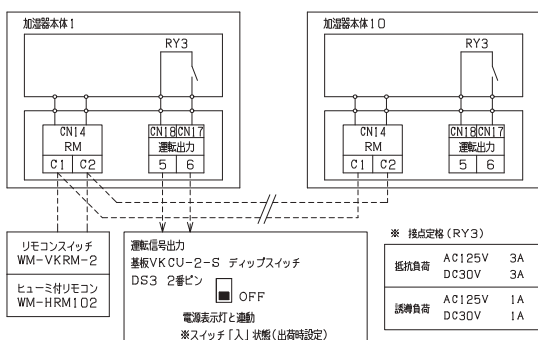
- 1つのリモコンスイッチで複数台制御する場合、運転信号は各加湿器の端子5、6から個別に出力されます。
- 運転信号はリモコンスイッチの電源表示灯（運転ボタン「入」の状態）と連動して出力されます（初期設定）。
- 運転信号はリモコンスイッチの加湿表示灯（運転ボタン「入」かつヒューミディスタット ON の状態）と連動させることもできます。必要に応じて表4を参照し、コントロールユニット(P.33 図-14 参照)のディップスイッチ (DS3 2番ピン) を切り替えてご使用ください。
- ディップスイッチ切替作業は、必ず加湿器元電源の漏電ブレーカを OFF にし、電源供給を停止してから行ってください。通電したままディップスイッチ切替作業を行うと、設定変更が正しく反映されません。

表4 運転信号出力（外部信号出力）を使用する場合のディップスイッチ設定

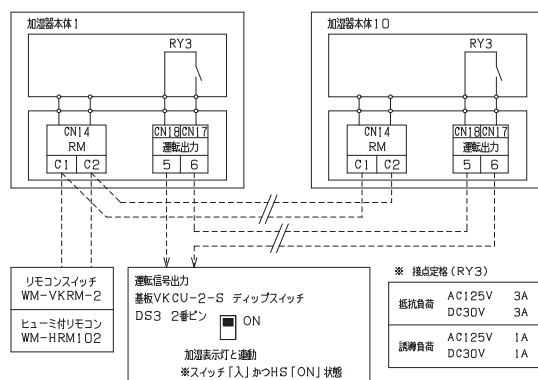
運転信号出力状態		ディップスイッチ設定	
		VIB2400-T、VIB4800-T の場合	VIB2400A-T、VIB4800A-T の場合
電源表示灯と連動（初期設定） スイッチ切り忘れ防止の遠方監視に便利です。	運転ボタン「入」、または外部指令信号入力「ON」で出力		
加湿表示灯と連動 実際に加湿運転しているかどうかの状態監視に便利です。	運転ボタン「入」、または外部指令信号入力「ON」かつヒューミディスタット入力「ON」で出力		

図-13 グループ毎に「運転信号」を出力させる場合の結線参考図

リモコンの「電源表示灯」と連動させる場合



リモコンの「加湿表示灯」と連動させる場合



※破線部分は客先ご用意となります。

※加湿器本体端子台は、差込式です。線材は、(C1、C2) 燃線 0.5～0.75mm<sup>2</sup>、(5、6) 燃線は 0.75～1.25mm<sup>2</sup> をご使用ください。電線の皮むき寸法を 8mm としてください。

## 4 各種設定

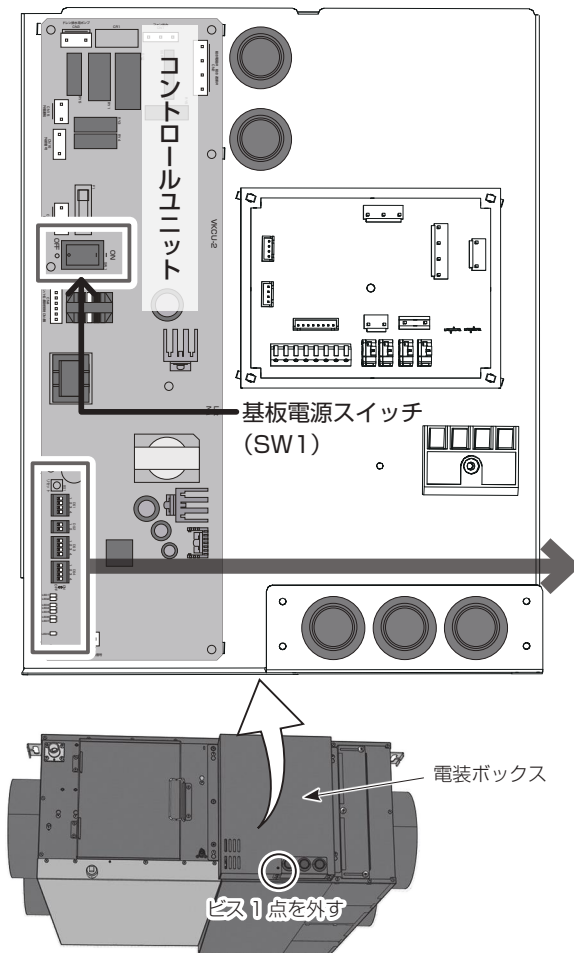
図 -14 コントロールユニット外観略図と LED 表示内容



**警告**

●ディップスイッチ切替作業は、必ず加湿器元電源の漏電ブレーカを OFF にし、電源供給を停止してから行ってください。通電したままの作業は感電の原因になります。

### 電装ボックス内ユニット

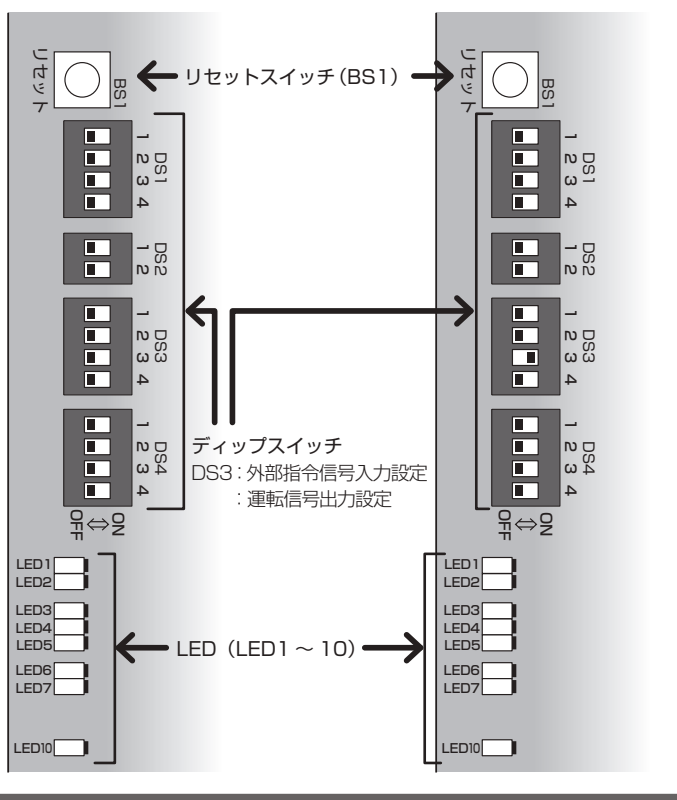


### コントロールユニット 部分拡大図

※下記イラストは初期設定の状態を示します

VIB2400-T または  
VIB4800-T の場合

VIB2400A-T または  
VIB4800A-T の場合



### コントロールユニット LED 表示内容

LED番号(色)	LED点灯表示内容
LED1(緑)	リモコンスイッチ通信時にゆっくり点滅(0.5秒サイクル)、通信不通時は早い点滅(0.1秒サイクル)
LED2(黄)	給水ユニット作動回数に応じて点滅/点灯 (50万回以上作動時=0.5秒サイクルの点滅、95万回以上作動時=0.1秒サイクルの点滅、100万回作動時=点灯)
LED3(赤)	ドレンパン高水位検知時に点灯 〔点灯解除の方法はリセットスイッチ(BS1)を押す〕
LED4(緑)	予備
LED5(黄)	給水電磁弁リーク検知時またはドレン排水用ポンプ排水異常検知時に点灯 〔点灯解除の方法はリセットスイッチ(BS1)を押す〕
LED6(赤)	予備
LED7(緑)	ドレン排水用ポンプ排水異常検知時に点灯 〔点灯解除の方法はリセットスイッチ(BS1)を押す〕
LED10(緑)	ドレン排水用ポンプの運転時に点灯

## 4-4 外部機器と連動運転を行う場合の設定

当項目は、VIB2400-T または VIB4800-T と標準リモコンスイッチの組み合わせには該当しません。

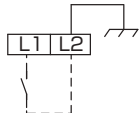
### 4-4-1 ヒューミ付リモコンで連動運転を行う場合

当設定の対象 組み合わせ	・ VIB2400-T または VIB4800-T とヒューミ付リモコン
-----------------	--------------------------------------

●以下の①ヒューミ付リモコン設定と、②配線接続を行ってください。

- ① P.39 「**b** ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の外部機器と連動運転を行うための設定」を参照し、「外部機器と連動運転する場合」に設定して下さい。
- ②外部機器の運転出力は加湿器本体の端子台 L1、L2（無電圧接点入力）に接続してください。
- ※無電圧接点には、最小適用負荷 10mA 以下の接点をご使用ください。また、接点検出用電圧を印加していますので別電源から電圧を印加しないで下さい。
- ※外部機器が OFF の時にリモコンスイッチの操作と外部指令入力による運転が無効となり、加湿器単独の運転を制限することができません。

表 5 ヒューミ付リモコンにより連動運転を行う場合

①ヒューミ付リモコンの設定	②信号の種類と配線接続	備考
「外部機器と連動運転する場合」に設定 (P.39 「 <b>b</b> ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の外部機器と連動運転を行うための設定」参照)	 <p>通電電圧・電流 DC12V・10mA (無電圧接点入力)</p>	運転時に ON、停止時に OFF となる接点信号を入力してください。

### 4-4-2 加湿器本体に内蔵されたヒューミディスタットで連動運転を行う場合

当設定の対象 組み合わせ	・ VIB2400A-T または VIB4800A-T と標準リモコンスイッチ ・ VIB2400A-T または VIB4800A-T とヒューミ付リモコン
-----------------	---

- 以下①配線接続と、②ディップスイッチ設定を行ってください。なお、「VIB2400A-T または VIB4800A-T とヒューミ付リモコン」の組み合わせでご使用の場合は先に P.38 「**a** 使用するヒューミディスタットの選択」を参照し、「加湿器本体に内蔵されたヒューミディスタットで湿度検知する場合」へ設定してから、下記①～②の作業を行ってください。
- ①外部機器の運転出力は加湿器本体の端子台 L1、L2（無電圧接点入力）に接続してください。
- ※無電圧接点には、最少適用負荷 1mA 以下の接点をご使用ください。また、接点検出用電圧を印加していますので別電源から電圧を印加しないで下さい。
- ②ヒューミディスタットユニットのディップスイッチ(S1 4番ピン)を ON にしてください(ディップスイッチ位置は P.35 図-15 参照)。


 <b>警告</b>	●ディップスイッチ切替作業は、必ず加湿器元電源の漏電ブレーカを OFF にし、電源供給を停止してから行ってください。通電したままの作業は感電の原因になります。
---	---

表 6 加湿器本体に内蔵されたヒューミディスタットにより連動運転を行う場合

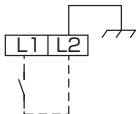
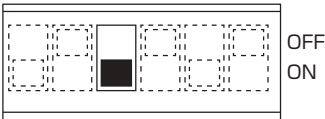

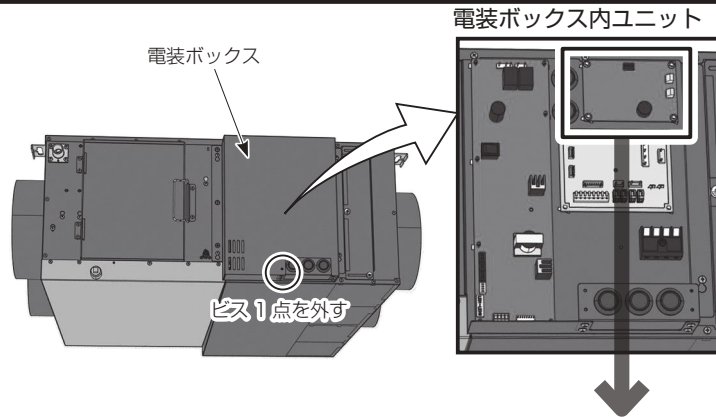
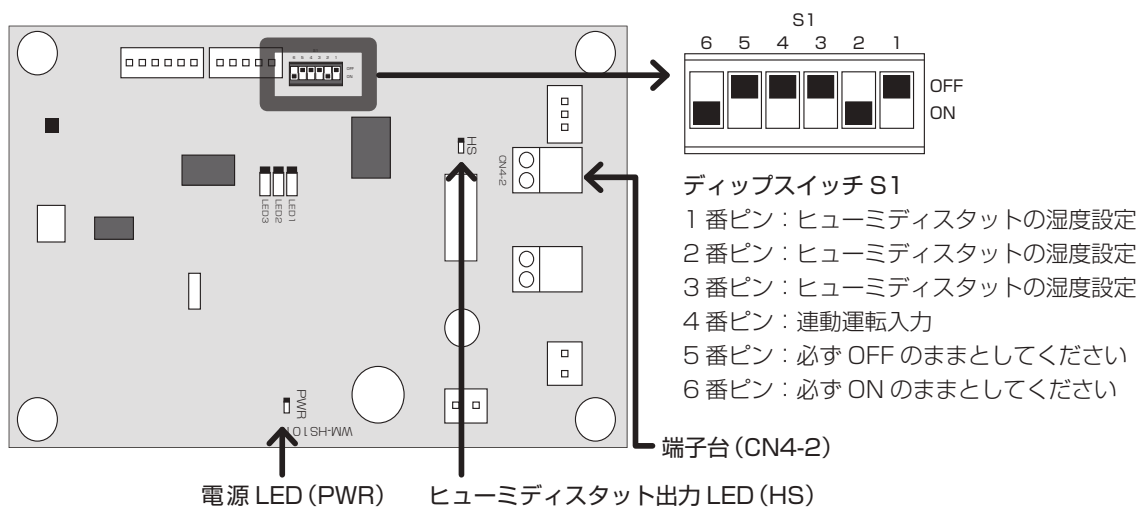
①信号の種類と配線接続	②ディップスイッチ設定	備考
 <p>通電電圧・電流 DC5V・1mA (無電圧接点入力)</p>	<p style="text-align: center;">S1</p> <p style="text-align: center;">6 5 4 3 2 1</p>  <p style="text-align: right;">OFF ON</p> <p>※初期設定は OFF になっています。</p>	運転時に ON、停止時に OFF となる接点信号を入力してください。

図 -15 ヒューミディスタットユニット 外観略図と LED 表示内容

 <b>警告</b>	<p>●ディップスイッチ切替作業は、必ず加湿器元電源の漏電ブレーカを OFF にし、電源供給を停止してから行ってください。通電したままの作業は感電の原因になります。</p>
---	--



ヒューミディスタットユニット 拡大図 ※下記イラストは初期設定の状態を示します



ヒューミディスタットユニット LED 表示内容

LED 番号 (色)	LED 点灯表示内容
PWR (緑)	加湿器本体に内蔵されたヒューミディスタットに電源が供給されている時に点灯
HS (赤)	ヒューミディスタットが ON の時に点灯
LED1 (赤)	ヒューミディスタット制御センサで異常が発生し、ヒューミディスタット出力が停止している時に点滅 (0.25 秒サイクル)、または点灯
LED2 (緑)	ヒューミディスタット 制御センサ以外で異常が発生している時に点滅 (0.25 秒サイクル)
LED3 (緑)	起動処理中に点灯 (電源 ON から初回の測定開始までの 1 秒間)、起動完了後に点滅 (1 秒間サイクル)

## 4-5 外部指令信号入力による遠方発停（外部指令制御）を使用する場合のディップスイッチ設定



### 警告

- ディップスイッチ切替作業は、必ず加湿器元電源の漏電ブレーカを OFF にし、電源供給を停止してから行ってください。通電したままの作業は感電の原因になります。

- 外部指令信号入力による遠方発停（外部指令制御）が可能です（この場合においてもリモコンスイッチの取付が必要となります）。
- 1つのリモコンスイッチで複数台制御する場合でも、端子 1、2（1、2、3、4）への接続は「加湿器本体 1」のみで全数の運転制御ができます。グループを一括制御する場合は表 7 に該当する「結線参考図」を参照し、結線してください。

表 7 加湿器本体とリモコンスイッチの各組み合わせにおける結線参考図の参照ページ

加湿器本体	標準仕様		加湿器本体ヒューミ内蔵仕様	
	VIB2400-T/VIB4800-T		VIB2400A-T/VIB4800A-T	
リモコンスイッチ	標準リモコン	ヒューミ付リモコン	標準リモコン	ヒューミ付リモコン
結線参考図	P.18	P.22	P.26	P.30

- 外部指令信号入力は「常時入力信号」と「瞬時入力信号」に対応しています。初期設定は常時入力信号の状態に設定されていますので、必要に応じてコントロールユニット（P.33 図-14 参照）のディップスイッチ（DS3 1 番ピン）を切り替えてご使用ください。
- ディップスイッチ切替作業は、必ず加湿器元電源の漏電ブレーカを OFF にし、電源供給を停止してから行ってください。通電したままディップスイッチ切替作業を行うと、設定変更が正しく反映されません。
- 外部指令制御を使用する場合、任意の発停は「リモコンスイッチ操作による発停」と「外部指令信号入力による発停」により行われ、「後押し優先」となります。
- 瞬時入力信号を使用する場合、表 8 の配線接続を参照して現場配線数に合わせて接続してください。

表 8 外部指令信号入力による遠方発停（外部指令制御）を使用する場合のディップスイッチ設定

信号の種類と配線接続	ディップスイッチ設定		備考
	VIB2400-T、VIB4800-T の場合	VIB2400A-T、VIB4800A-T の場合	
<p>常時入力信号 （初期設定）</p> <p>通電電圧・電流 DC12V・10mA</p>			<p>運転時に ON、停止時に OFF となる接点信号を入力してください。</p>
<p>瞬時入力信号</p> <p>通電電圧・電流 DC12V・10mA</p>			<p>瞬時入力信号は、100msec (0.1 秒) 以上の a 接点の信号を入力してください。</p>

## 4-6 ヒューミ付リモコンによる各種設定

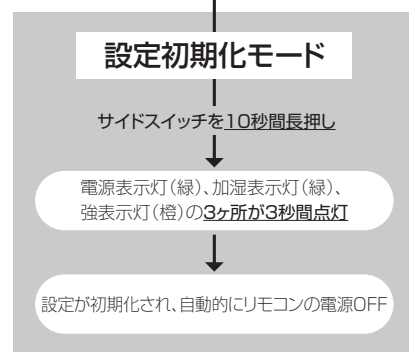
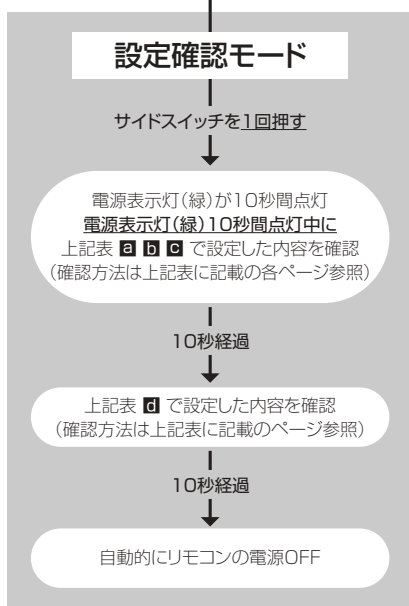
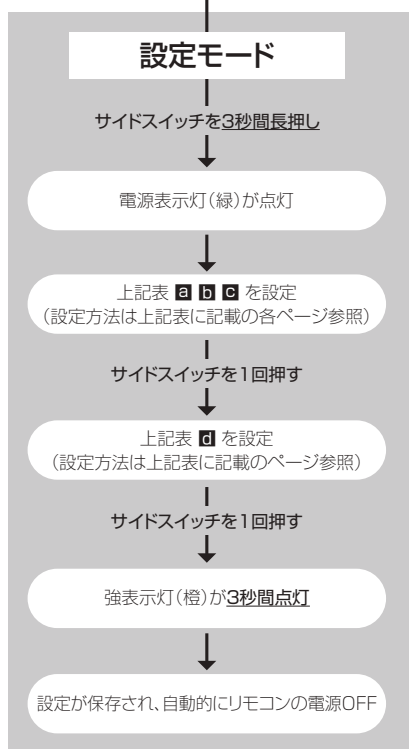
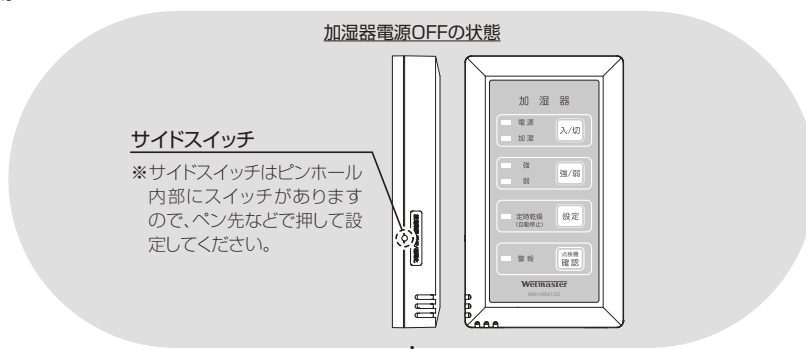
### 4-6-1 各モードについて

●ヒューミ付リモコンでは表9のように3つのモードがあり、各モードによって操作方法が異なります。  
下記表から各項目のページを参照し、設定・確認を行ってください。

表9 各モードの概要

モード	概要	設定方法詳細
設定モード	<b>a</b> 使用するヒューミディスタットの選択	P.38
	<b>b</b> ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の外部機器と連動運転を行うための設定	P.39
	<b>c</b> 湿度検知の感度変更	P.40
	<b>d</b> ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の設定湿度の変更	P.41 ~ 42
設定確認モード	設定モード <b>a</b> で設定した内容を確認	P.43 ~ 44
	設定モード <b>b</b> で設定した内容を確認	
	設定モード <b>c</b> で設定した内容を確認	
	設定モード <b>d</b> で設定した内容を確認	
設定初期化モード	一括で設定内容を初期化（初期設定の内容へ戻す）	P.45

#### 各モードにおける設定の流れ

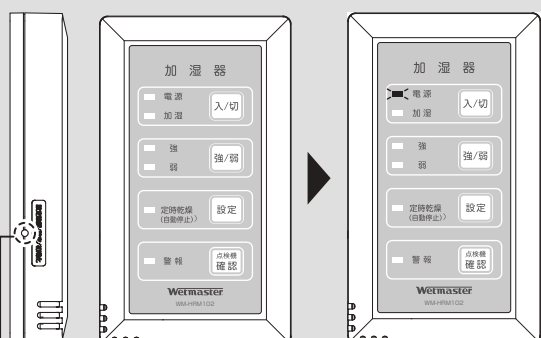


## 4-6-2 設定モード

## a 使用するヒューミディスタットの選択

- 初期設定は、ヒューミ付リモコンのヒューミディスタットを使用して湿度検知する設定になっています。加湿器本体（VIB2400A-T/VIB4800A-T）に内蔵されたヒューミディスタット、または客先ご用意のヒューミディスタットで湿度検知する場合に設定変更が必要となります。

①

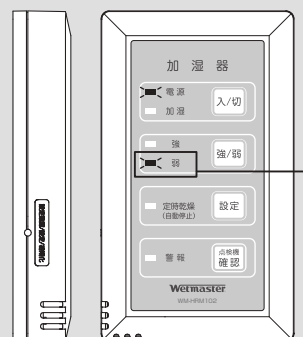


①-1 電源表示灯が消灯している状態（加湿器電源 OFF）で、サイドスイッチを3秒間長押しします。

①-2 電源表示灯（緑）が点灯します。

サイドスイッチ  
※サイドスイッチはピンホール内部にスイッチがありますので、ペン先などで押して設定してください。

②



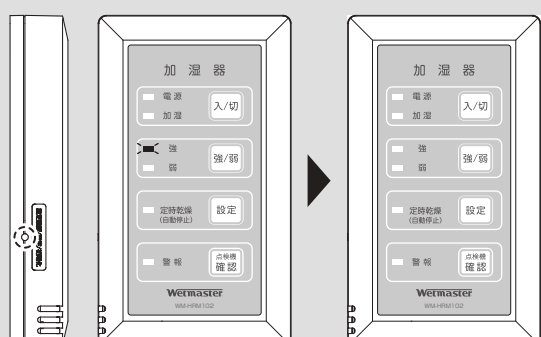
② 下記表を参照し、使用するヒューミディスタットに応じて弱表示灯を点灯または消灯させてください。弱表示灯の点灯/消灯は、強/弱切替ボタンを押すことで切り替えができます。

加湿器本体に内蔵されたヒューミディスタット または客先ご用意のヒューミディスタットで湿度検知する場合	弱表示灯を 点灯
リモコンスイッチに内蔵された ヒューミディスタットで湿度検知する場合（初期設定）	弱表示灯を 消灯

例) 加湿器本体側で湿度検知する

※弱表示灯に加え、定時乾燥表示灯や警報表示灯が点灯する場合は、初期設定から何らかの設定変更がされています。現状の各設定内容を確認する場合は、P.43「4-6-3 設定確認モード」を参照してください。

③



③-1 サイドスイッチを2回押しします。

③-2 強表示灯（橙）が3秒間点灯します。

③-3 電源がOFFとなり、設定保存が完了します。

※設定した内容を改めて確認する場合は、P.43「4-6-3 設定確認モード」で確認できます。

## 4 各種設定

### b ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の外部機器と連動運転を行うための設定

- VIB2400-T または VIB4800-T とヒューミ付リモコンの組み合わせで使用する場合に該当する設定です。
  - 上記組み合わせでリモコンスイッチに内蔵されたヒューミディスタットで湿度検知する場合、加湿器本体の端子（L1、L2）を空調機などの外部機器との連動運転端子として使用することができます。初期設定は「外部機器と連動運転しない」設定となっているため、外部機器と連動運転をする場合に設定変更が必要となります。
  - 配線接続については P.34 「4-4-1 ヒューミ付リモコンで連動運転を行う場合」をご参照ください。
- ※外部機器がオフの時にリモコンの操作と外部指令入力による運転が無効となり、加湿器単独の運転が制限されます。この状態で運転ボタンを押した場合、電源表示灯と加湿表示灯が3秒間交互に点灯します。ただし外部指令入力による運転指示の場合には表示灯は交互点灯しません。

1

**サイドスイッチ**

※サイドスイッチはピンホール内部にスイッチがありますので、ペン先などで押し設定してください。

①-1 外部機器の接点をオフにします。

①-2 電源表示灯が消灯している状態（加湿器電源 OFF）で、サイドスイッチを3秒間長押しします。

①-3 電源表示灯（緑）が点灯します。

2

例) 加湿器と外部機器を連動運転する

②加湿器と外部機器を連動する場合は下記表を参照し、**設定乾燥表示灯**を点灯させてください。設定乾燥表示灯の点灯/消灯は、設定ボタンを押すことで切り替えができます。

外部機器と連動運転する場合	設定乾燥表示灯を <b>点灯</b>
外部機器と連動運転しない場合（初期設定）	設定乾燥表示灯を <b>消灯</b>

※設定乾燥表示灯に加え、弱表示灯や警報表示灯が点灯する場合は、初期設定から何らかの設定変更がされています。現状の各設定内容を確認する場合は、P.43「4-6-3 設定確認モード」を参照してください。

3

③-1 サイドスイッチを2回押しします。

③-2 強表示灯（橙）が3秒間点灯します。

③-3 電源がOFFとなり、設定保存が完了します。

※設定した内容を改めて確認する場合は、P.43「4-6-3 設定確認モード」で確認できます。



**C 湿度検知の感度変更**

●ヒューミディスタットの湿度検知の感度を「高」・「低」の2種類から選択することができます。初期設定は「高」で、通常は設定変更なしで使用いただけます。

1

①-1 電源表示灯が消灯している状態(加湿器電源 OFF)で、サイドスイッチを3秒間長押しします。

①-2 電源表示灯(緑)が点灯します。

**サイドスイッチ**  
※サイドスイッチはピンホール内部にスイッチがありますので、ペン先などで押して設定してください。

2

②湿度検知の感度を変更する場合は下記表を参照し、**警報表示灯**を点灯または消灯させてください。警報表示灯の点灯/消灯は、点灯機確認ボタンを押すことで切り替えができます。

湿度検知の感度「低」	警報表示灯を <b>点灯</b>
湿度検知の感度「高」(初期設定)	警報表示灯を <b>消灯</b>

例) 感度を「低」へ、変更する

※警報表示灯に加え、定時乾燥表示灯や弱表示灯が点灯する場合は、初期設定から何らかの設定変更がされています。現状の各設定内容を確認する場合は、P.43「4-6-3 設定確認モード」を参照してください。

3

③-1 サイドスイッチを2回押しします。

③-2 強表示灯(橙)が3秒間点灯します。

③-3 電源がOFFとなり、設定保存が完了します。

※設定した内容を改めて確認する場合は、P.43「4-6-3 設定確認モード」で確認できます。

## 4 各種設定

### d ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の設定湿度の変更

●35%RH～70%RHの範囲で5%単位で設定が可能です。また、初期設定は40%RHです。設定湿度を変更する場合は、以下の手順で行ってください。

1

①-1 電源表示灯が消灯している状態（加湿器電源 OFF）で、サイドスイッチを3秒間長押しします。

①-2 電源表示灯（緑）が点灯します。

①-3 サイドスイッチを1回押します。

①-4 電源表示灯（緑）が消灯し、加湿表示灯（緑）が点灯する。

サイドスイッチ  
※サイドスイッチはピンホール内部にスイッチがありますので、ペン先などで押して設定してください。

2

②湿度設定は、**弱表示灯・定時乾燥表示灯・警報表示灯**の点灯/消灯の組み合わせによって設定します。

以下の組み合わせ一覧から希望設定湿度の点灯パターンを参照し、希望湿度を設定してください。各表示灯の点灯/消灯は、下記の各ボタンを押すことで切り替えができます。

- ・弱表示灯⇒強/弱切替ボタン
- ・定時乾燥表示灯⇒設定ボタン
- ・警報表示灯⇒点検機確認ボタン

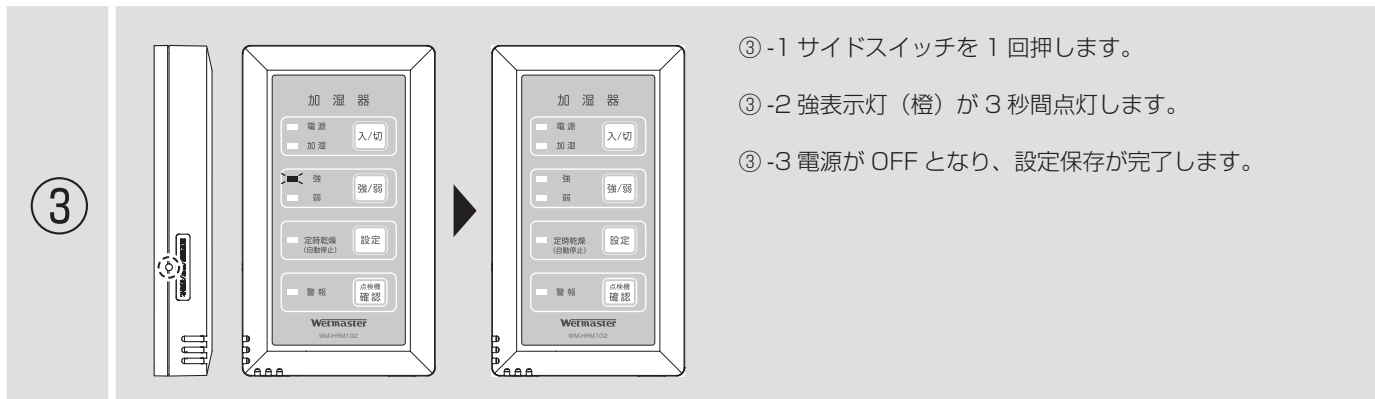
例) 設定湿度 50%RH

設定湿度の表示灯組み合わせ一覧 【◻: 点灯、□: 消灯を示します】

35% RH	40% RH (初期設定)	45% RH	50% RH

(次ページへ続く)

↓ (前ページからの続き)



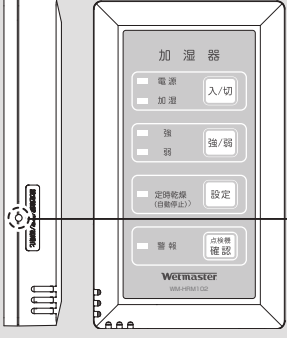
※設定した内容を改めて確認する場合は、P.43「4-6-3 設定確認モード」で確認できます。

## 4 各種設定

### 4-6-3 設定確認モード

● P.38～42 の設定モード **a**・**b**・**c**・**d** の現状の設定状態を確認できます。

1

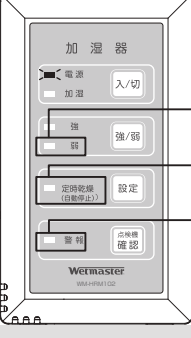


①電源表示灯が消灯している状態（加湿器電源 OFF）で、サイドスイッチを1回押します。

**サイドスイッチ**  
※サイドスイッチはピンホール内部にスイッチがありますので、ペン先などで押して設定してください。

↓

2



②電源表示灯（緑）が10秒間点灯します。この10秒間の間に、各表示灯の点灯または消灯から、

- a** 使用するヒューミディスタットの確認
- b** 外部機器と連動運転を行うかどうかの確認
- c** 湿度検知の感度

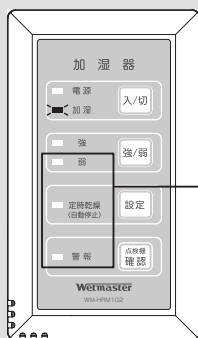
以上3つの現状の設定状態を確認します。  
下記表を参照し、各設定状態を確認してください。

<b>a</b> 湿度感知するヒューミディスタットの確認	
弱表示灯が点灯している場合	加湿器本体に内蔵されたヒューミディスタット または客先ご用意のヒューミディスタット
弱表示灯が消灯している場合	リモコンスイッチに内蔵されたヒューミディスタット
<b>b</b> 外部機器と連動運転をするかどうかの確認	
定時乾燥表示灯が点灯している場合	外部機器と連動運転する
定時乾燥表示灯が消灯している場合	外部機器と連動運転しない
<b>c</b> ヒューミディスタット感度の確認	
警報表示灯が点灯している場合	湿度検知の感度「低」
警報表示灯が消灯している場合	湿度検知の感度「高」

↓

10秒経過後（次ページへ続く）

↓ 10 秒経過後 (前ページからの続き)



③電源表示灯 (緑) が消灯し、加湿表示灯 (緑) が 10 秒間点灯します。この 10 秒間の間に、

**d** ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の設定湿度

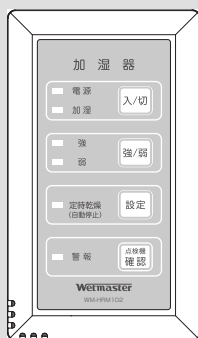
の現状の設定状態を確認します。設定湿度は、**弱表示灯、定時乾燥表示灯、警報表示灯** の点灯 / 消灯の組み合わせによって確認できます。以下の組み合わせ一覧から現状の点灯パターンを参照し、設定湿度を確認してください。

設定湿度の表示灯組み合わせ一覧

【 ◻ : 点灯、 □ : 消灯を示します】

35% RH	40% RH	45% RH	50% RH
55% RH	60% RH	65% RH	70% RH

↓ 10 秒経過後



④加湿表示灯が消灯し、電源が OFF の状態へ戻ります。

3

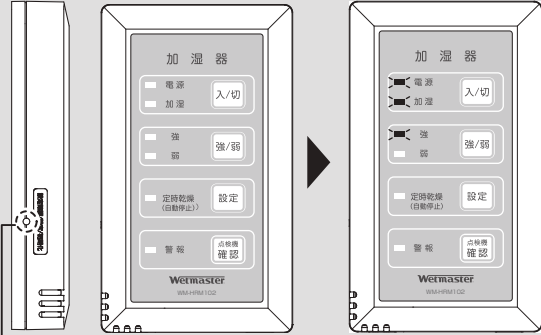
4

## 4 各種設定

### 4-6-4 設定初期化モード

●ヒューミ付リモコンで設定した内容を一括で初期化（初期設定の内容へ戻）します。

①




①-1 電源表示灯が消灯している状態（加湿器電源 OFF）で、サイドスイッチを 10 秒間長押しします。

①-2 電源表示灯（緑）、加湿表示灯（緑）、強表示灯（橙）が同時に 3 秒間点灯します。

**サイドスイッチ**  
 ※サイドスイッチはピンホール内部にスイッチがありますので、ペン先などで押ししてください。

②



②電源が OFF の状態へ戻ります。以上で初期化は完了です。  
 各項目の初期設定は以下表をご参照ください。

<b>a</b> 使用するヒューミディスタットの選択	リモコンスイッチに内蔵されたヒューミディスタット
<b>b</b> 外部機器と連動運転を行うための設定	連動運転しない
<b>c</b> 湿度検知の感度変更	高
<b>d</b> ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の設定湿度の変更	40% RH

## 4-7 加湿器本体に内蔵されたヒューミディスタットで湿度検知する場合の設定湿度の変更

当項目は、VIB2400A-T または VIB4800A-T に内蔵されたヒューミディスタットで湿度検知する場合のみ必要な設定です。



### 警告

●ディップスイッチ切替作業は、必ず加湿器元電源の漏電ブレーカを OFF にし、電源供給を停止してから行ってください。通電したままの作業は感電の原因になります。

●初期設定の湿度設定は 40%RH です。変更する場合は、以下の手順でディップスイッチの設定変更を行ってください。

- ①電装ボックスのビス 1 点を外し、電装ボックスカバーを取り外します (図-16)。
- ②図-16 からヒューミディスタットユニットとディップスイッチの位置を、表 10 から希望設定湿度のディップスイッチパターンを参照し、ディップスイッチ (S1 1 ~ 3 番ピン) の ON/OFF を変更してください。

図-16 ヒューミディスタットユニット ディップスイッチ位置

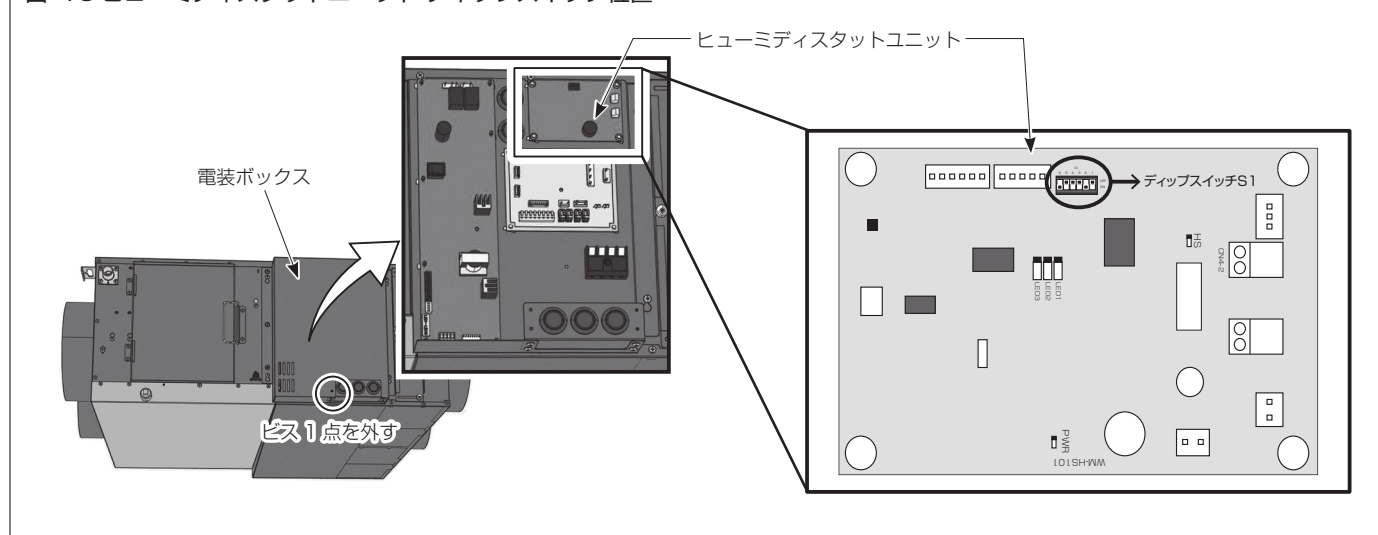


表 10 加湿器本体に内蔵されたヒューミディスタットの湿度設定におけるディップスイッチ (S1) の組み合わせ

35% RH	40% RH (初期設定)	45% RH	50% RH																																																																								
<table border="1"> <tr><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>OFF ON</td> </tr> </table>	6	5	4	3	2	1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>						OFF ON	<table border="1"> <tr><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>OFF ON</td> </tr> </table>	6	5	4	3	2	1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						OFF ON	<table border="1"> <tr><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>OFF ON</td> </tr> </table>	6	5	4	3	2	1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						OFF ON	<table border="1"> <tr><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>OFF ON</td> </tr> </table>	6	5	4	3	2	1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						OFF ON
6	5	4	3	2	1																																																																						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																																																																						
					OFF ON																																																																						
6	5	4	3	2	1																																																																						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																						
					OFF ON																																																																						
6	5	4	3	2	1																																																																						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																						
					OFF ON																																																																						
6	5	4	3	2	1																																																																						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																						
					OFF ON																																																																						
55% RH	60% RH	65% RH	70% RH																																																																								
<table border="1"> <tr><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>OFF ON</td> </tr> </table>	6	5	4	3	2	1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>						OFF ON	<table border="1"> <tr><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>OFF ON</td> </tr> </table>	6	5	4	3	2	1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						OFF ON	<table border="1"> <tr><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>OFF ON</td> </tr> </table>	6	5	4	3	2	1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>						OFF ON	<table border="1"> <tr><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>OFF ON</td> </tr> </table>	6	5	4	3	2	1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>						OFF ON
6	5	4	3	2	1																																																																						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																																																																						
					OFF ON																																																																						
6	5	4	3	2	1																																																																						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																						
					OFF ON																																																																						
6	5	4	3	2	1																																																																						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																																																																						
					OFF ON																																																																						
6	5	4	3	2	1																																																																						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																																																																						
					OFF ON																																																																						

# 5 試運転

施工後は以下表に該当する項目の手順で試運転を実施し、不都合な点があれば必ず修正してください。

湿度検知するヒューミディスタット	参照ページ
客先ご用意のヒューミディスタット	P.47 「5-1 客先ご用意のヒューミディスタットで湿度検知する場合」
リモコンスイッチに内蔵されたヒューミディスタット	P.48 「5-2 リモコンスイッチに内蔵されたヒューミディスタットで湿度検知する場合」
加湿器本体に内蔵されたヒューミディスタット	P.50 「5-3 加湿器本体に内蔵されたヒューミディスタットで湿度検知する場合」

## 5-1 客先ご用意のヒューミディスタットで湿度検知する場合

### (1) 試運転準備

●試運転前には下記の諸点を必ず確認し、不都合な点があれば必ず修正してください。

- 加湿器は水準器を使用し、水平に取り付けられていること。やむを得ず水平に取り付けられない場合は、排水（点検扉）側に 1°以内、風下側に 1°以内の傾きに収めてください。
- 天井面点検口の位置が適正であること（配管部などの保守作業に支障がないこと）
- ダクトが取り付けられていること
- 給水配管のリングジョイントが確実に接続され、軟銅管の折れやつぶれのないこと
- 排水ホースはホースバンドで接続され、排水配管は 1/100 以上の先下がり勾配が確保され、流れの障害がないこと
- 各電気配線が正しく接続・固定されていること
- コントロールユニットのディップスイッチが正しい位置に設定されていること（関連頁 P.32、P.36）
- 給水配管のフラッシングが十分に実施されていること（必要に応じてフラッシングを実施）

●試運転開始にあたっては、下記の準備作業を行ってください。

- 給水サービス弁を開ける
  - ヒューミディスタットの設定を最大にする
  - ヒューミディスタットが無い場合はリモコンスイッチを接続した加湿器本体の端子 L1,L2 が短絡されているかを確認する
  - 加湿器元電源の漏電ブレーカを ON にして電源を供給する
  - リモコンスイッチの警報表示灯が点滅していないことを確認する\*
- \*アドレス設定を行っていない場合、警報表示灯が点滅します。この場合、P.31 「4-1 アドレス設定（リモコンスイッチ初期設定操作）、接続台数確認」を参照し、アドレス設定を行ってください。アドレス設定を行わない場合、加湿器を運転することはできません。

### (2) 試運転手順

●準備ができれば下記の手順で試運転チェックを行い、加湿器が正常に動作することを確認してください。

- ①リモコンスイッチの運転ボタンを押し、電源表示灯・加湿表示灯・強表示灯が同時に点灯し、約 10 分後に加湿器本体内のファンが運転を開始することを確認する
- ②そのまま 30 分間運転を継続し、本体および配管各部からの漏水のないこと、リモコンスイッチの警報表示灯の点灯、警報信号出力がないことを確認する（本項目のチェックにより、ドレン排水用ポンプの正常動作が確認されます）
- ③強 / 弱切替ボタンを押し弱運転に切り替え、ファンの送風音が弱くなることを確認する
- ④ヒューミディスタットの設定目盛りを動かして接点を ON/OFF させ、加湿表示灯が点灯 / 消灯することを確認する（ファンは加湿器運転開始約 10 分後に運転を開始します）
- ⑤リモコンスイッチの運転ボタンを押し加湿運転を終了させ、リモコンスイッチの表示が消えることを確認する



### (3) 試運転後の作業

●試運転チェックが終了したら、下記の作業を行ってください。

- ①ヒューミディスタットを設定湿度に合わせる
- ②給水サービス弁を閉める
- ③給水ストレーナの掃除を行う

### (4) 最終点検

●安全のため、最終点検をお願いします。不都合な点があれば必ず修正してください。

- 加湿器は水平に取り付けられていますか？  
〔やむを得ず水平に取り付けられない場合は、排水（点検扉）側に 1° 以内、風下側に 1° 以内の傾き〕
- 給水配管からの漏水はありませんか？
- 給水サービス弁は閉まっていますか？
- 排水配管からの漏水はありませんか？
- 排水配管の先下がり勾配は確保されていますか？
- 各電気配線は正しく接続・固定されていますか？
- ヒューミディスタットは希望湿度に設定されていますか？
- 加湿器元電源の漏電ブレーカは ON になっていますか？  
※定時乾燥機能により試運転後の加湿モジュールを乾燥させるため、加湿器元電源の漏電ブレーカは ON のままとしてください。  
漏電ブレーカを OFF にする場合は、試運転終了後 25 時間が経過してから行ってください。

## 5-2 リモコンスイッチに内蔵されたヒューミディスタットで湿度検知する場合

### (1) 試運転準備

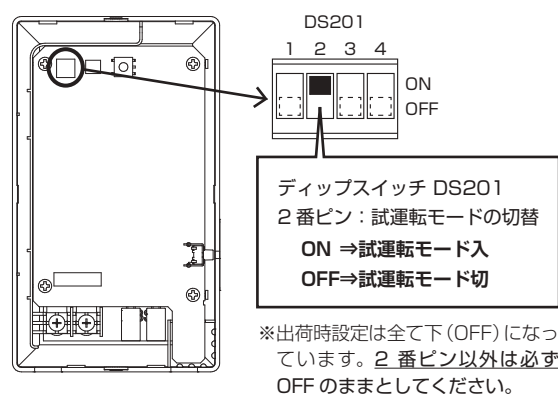
●試運転前には下記の諸点を必ず確認し、不都合な点があれば必ず修正してください。

- 加湿器は水準器を使用し、水平に取り付けられていること。やむを得ず水平に取り付けられない場合は、排水（点検扉）側に 1° 以内、風下側に 1° 以内の傾きに収めてください。
- 天井面点検口の位置が適正であること（配管部などの保守作業に支障がないこと）
- ダクトが取り付けられていること
- 給水配管のリングジョイントが確実に接続され、軟銅管の折れやつぶれの無いこと
- 排水ホースはホースバンドで接続され、排水配管は 1/100 以上の先下がり勾配が確保され、流れの障害がないこと
- 各電気配線が正しく接続・固定されていること
- コントロールユニットのディップスイッチが正しい位置に設定されていること（関連頁 P.24、P.26）
- 給水配管のフラッシングが充分に実施されていること（必要に応じてフラッシングを実施）

●試運転開始にあたっては、下記の準備作業を行ってください。

- 加湿器元電源の漏電ブレーカを ON にする
- 給水サービス弁を開ける
- リモコンスイッチケースを開け、上ケース内ユニットのディップスイッチ DS201（2 番ピン）を ON にし、試運転モード\*を「入」にする。  
**2 番ピン以外は必ず OFF のままとしてください。**（図-17）  
※試運転モードとは、リモコンスイッチに内蔵されたヒューミディスタットを無効にし、リモコンスイッチのボタン操作により加湿器の運転 / 停止を可能にするモードです。
- 試運転モードへの変更後はリモコンスイッチケースを元通りに閉める
- リモコンスイッチの警報表示灯が点滅していないことを確認する\*  
※アドレス設定を行っていない場合、警報表示灯が点滅します。この場合、P.23「4-1 アドレス設定（リモコンスイッチ初期設定操作）、接続台数確認」を参照し、アドレス設定を行ってください。アドレス設定を行わない場合、加湿器を運転することはできません。

図-17 ヒューミ付リモコン 上ケース内ユニット外観略図



## 5 試運転

### (2) 試運転手順

●準備ができれば下記の手順で試運転チェックを行い、加湿器が正常に動作することを確認してください。

- ①リモコンスイッチの運転ボタンを押し、電源表示灯・加湿表示灯・強表示灯が同時に点灯し、約 10 分後に加湿器本体内のファンが運転を開始することを確認する
- ②そのまま 30 分間運転を継続し、本体および配管各部からの漏水のないこと、リモコンスイッチの警報表示灯の点灯、警報信号出力がないことを確認する（本項目のチェックにより、ドレン排水用ポンプの正常動作が確認されます）
- ③強 / 弱切替ボタンを押し弱運転に切り替え、ファンの送風音が弱くなることを確認する
- ④リモコンスイッチの運転ボタンを押し加湿運転を終了させ、リモコンスイッチの表示が消えることを確認する

### (3) 試運転後の作業

●試運転チェックが終了したら、下記の作業を行ってください。

- ①リモコンスイッチケースを開け、上ケース内ユニットのディップスイッチ DS201 (2 番ピン) を OFF にし、試運転モードを「切」にする (P.48 図-17)
- ②リモコンスイッチケースを元通りに閉める
- ③給水サービス弁を閉める
- ④給水ストレーナの掃除を行う

### (4) 最終点検

●安全のため、最終点検をお願いします。不都合な点があれば必ず修正してください。

- 加湿器は水平に取り付けられていますか？  
〔やむを得ず水平に取り付けられない場合は、排水（点検扉）側に 1°以内、風下側に 1°以内の傾き〕
- 給水配管からの漏水はありませんか？
- 給水サービス弁は閉まっていますか？
- 排水配管からの漏水はありませんか？
- 排水配管の先下がり勾配は確保されていますか？
- 各電気配線は正しく接続・固定されていますか？
- リモコンスイッチの上ケース内ユニットのディップスイッチ (P.48 図-17) は全て OFF になっていますか？
- リモコンスイッチケースは閉まっていますか？
- ヒューミディスタットは希望湿度に設定されていますか？
- 加湿器元電源の漏電ブレーカは ON になっていますか？  
※定時乾燥機能により試運転後の加湿モジュールを乾燥させるため、加湿器元電源の漏電ブレーカは ON のままとしてください。  
漏電ブレーカを OFF にする場合は、試運転終了後 25 時間が経過してから行ってください。

## 5-3 加湿器本体に内蔵されたヒューミディスタットで湿度検知する場合

VIB2400A-T または VIB4800A-T とヒューミ付リモコンの組み合わせで加湿器本体に内蔵されたヒューミディスタットにより湿度検知する場合はあらかじめ P.38 「**a** 使用するヒューミディスタットの選択」を参照し、湿度検知するヒューミディスタットの切替作業を実施してください。

### (1) 試運転準備

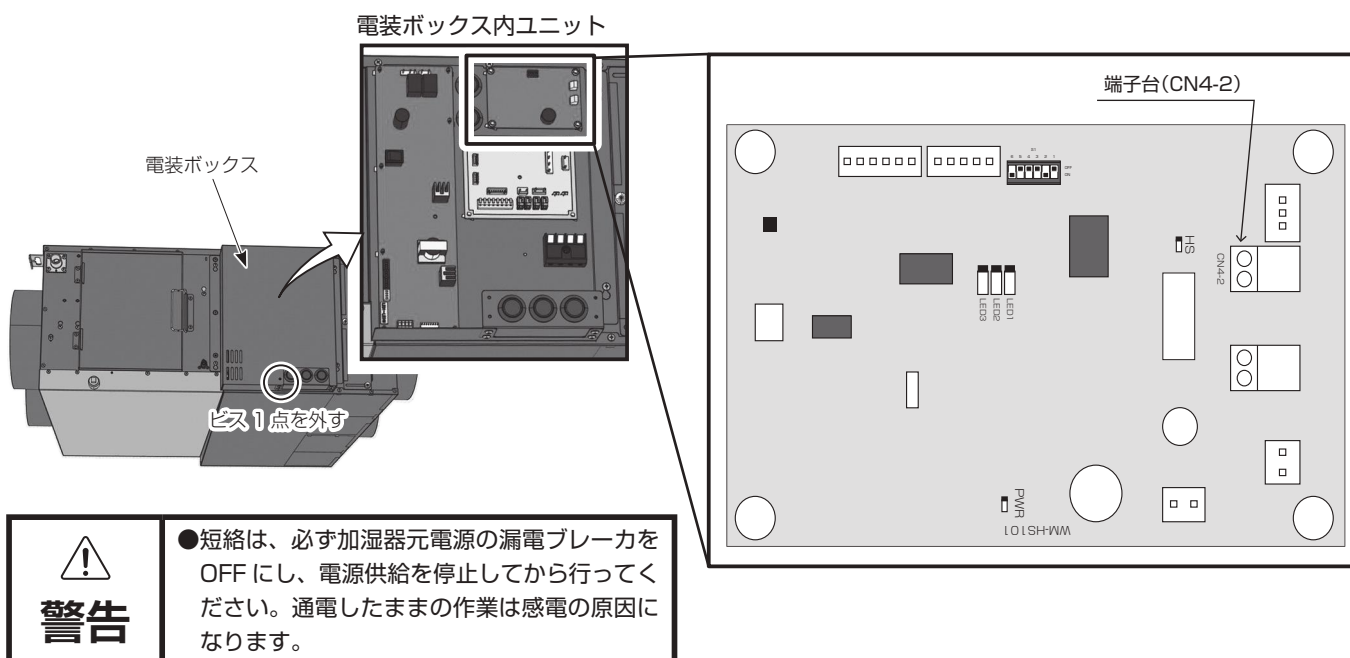
●試運転前には下記の諸点を必ず確認し、不都合な点があれば必ず修正してください。

- 加湿器は水準器を使用し、水平に取り付けられていること。やむを得ず水平に取り付けられない場合は、排水（点検扉）側に 1°以内、風下側に 1°以内の傾きに収めてください。
- 天井面点検口の位置が適正であること（配管部などの保守作業に支障がないこと）
- ダクトが取り付けられていること
- 給水配管のリングジョイントが確実に接続され、軟銅管の折れやつぶれのないこと
- 排水ホースはホースバンドで接続され、排水配管は 1/100 以上の先下がり勾配が確保され、流れの障害がないこと
- 各電気配線が正しく接続・固定されていること
- コントロールユニットのディップスイッチが正しい位置に設定されていること（関連頁 P.32、P.36）
- ヒューミディスタットユニットのディップスイッチが正しい位置に設定されていること（関連頁 P.34～35）。
- 給水配管のフラッシングが充分に実施されていること（必要に応じてフラッシングを実施）

●試運転開始にあたっては、下記の準備作業を行ってください。

- 給水サービス弁を開ける
- 電装ボックスカバーを取り外し、ヒューミディスタットユニットの CN4-2（図-18）を短絡する\*  
CN4-2 の短絡は棒端子または、より線にて接続してください  
※ CN4-2 を短絡することで、加湿器本体に内蔵されたヒューミディスタットの設定湿度に関係なく運転が可能になります
- 加湿器元電源の漏電ブレーカを ON にして電源を供給する
- リモコンスイッチの警報表示灯が点滅していないことを確認する\*  
※ アドレス設定を行っていない場合、警報表示灯が点滅します。この場合、P.31 「4-1 アドレス設定（リモコンスイッチ初期設定操作）、接続台数確認」を参照し、アドレス設定を行ってください。アドレス設定を行わない場合、加湿器を運転することはできません。

図-18 ヒューミディスタットユニット外観略図



## 5 試運転

### (2) 試運転手順

●準備ができれば下記の手順で試運転チェックを行い、加湿器が正常に動作することを確認してください。

- ①リモコンスイッチの運転ボタンを押し、電源表示灯・加湿表示灯・強表示灯が同時に点灯し、約 10 分後に加湿器本体内のファンが運転を開始することを確認する
- ②そのまま 30 分間運転を継続し、本体および配管各部からの漏水のないこと、リモコンスイッチの警報表示灯の点灯、警報信号出力がないことを確認する（本項目のチェックにより、ドレン排水用ポンプの正常動作が確認されます）
- ③強 / 弱切替ボタンを押し弱運転に切り替え、ファンの送風音が弱くなることを確認する
- ④リモコンスイッチの運転ボタンを押し加湿運転を終了させ、リモコンスイッチの表示が消えることを確認する

### (3) 試運転後の作業

●試運転チェックが終了したら、下記の作業を行ってください。

- ①ヒューミディスタットユニットの CN4-2 (P.50 図-18) の短絡を外す  
外し忘れた場合、ヒューミディスタットが機能せず、常時運転 ON の状態になりますので**必ず外してください**
- ②電装ボックスカバーを元通りに取り付ける
- ③給水サービス弁を閉める
- ④給水ストレーナの掃除を行う

### (4) 最終点検

●安全のため、最終点検をお願いします。不都合な点があれば必ず修正してください。

- 加湿器は水平に取り付けられていますか？  
〔やむを得ず水平に取り付けられない場合は、排水（点検扉）側に 1°以内、風下側に 1°以内の傾き〕
- 給水配管からの漏水はありませんか？
- 給水サービス弁は閉まっていますか？
- 排水配管からの漏水はありませんか？
- 排水配管の先下がり勾配は確保されていますか？
- 各電気配線は正しく接続・固定されていますか？
- ヒューミディスタットユニットの CN4-2 (P.50 図-18) の短絡は外されていますか？
- 電装ボックスカバーは取り付けられていますか？
- ヒューミディスタットは希望湿度に設定されていますか？
- 加湿器元電源の漏電ブレーカは ON になっていますか？  
※定時乾燥機能により試運転後の加湿モジュールを乾燥させるため、加湿器元電源の漏電ブレーカは ON のままとしてください。  
漏電ブレーカを OFF にする場合は、試運転終了後 25 時間が経過してから行ってください

# 6 運転動作

## 6-1 リモコンスイッチによる運転動作

表 11 リモコンスイッチの表示

(点灯：○、消灯：－ を示します)

運転状態	A		B		C		D		E		F	
	加湿運転		加湿運転 (ヒューミ= ON)		待機状態 (ヒューミ= OFF)		定時乾燥		定時乾燥		運転停止	
ヒューミディスタット	無		有		有		有無共通		有無共通		有無共通	
ファン強弱	強	弱	強	弱	強	弱	強	弱	強弱共通	強弱共通	強弱共通	強弱共通
⑤ 電源	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑥ 加湿	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑦ 強	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑧ 弱	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑨ 定時乾燥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑩ 警報	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

A: ヒューミディスタット無の場合は、加湿運転 (A) のみとなります。

B: ヒューミディスタット有の場合でヒューミディスタット接点が ON であれば加湿運転 (B) になります。

C: 加湿運転中 (B) にヒューミディスタットが OFF になると、待機状態 (C) になります。ヒューミディスタットが ON になれば加湿運転 (B) を再開します。VIB2400A-T/VIB4800A-T は、待機状態 (C) が 30 分継続したときに送風運転を行い室内空気を取り入れます。ヒューミディスタットが ON となった場合は、加湿運転 (B) となります。再度待機状態 (C) を 30 分継続したときは再度送風運転を行います。

D: (A) (B) (C) の状態から定時乾燥運転に移行した場合 (D) の表示になります。

E: (F) の状態から定時乾燥運転に移行した場合 (E) の表示になります。

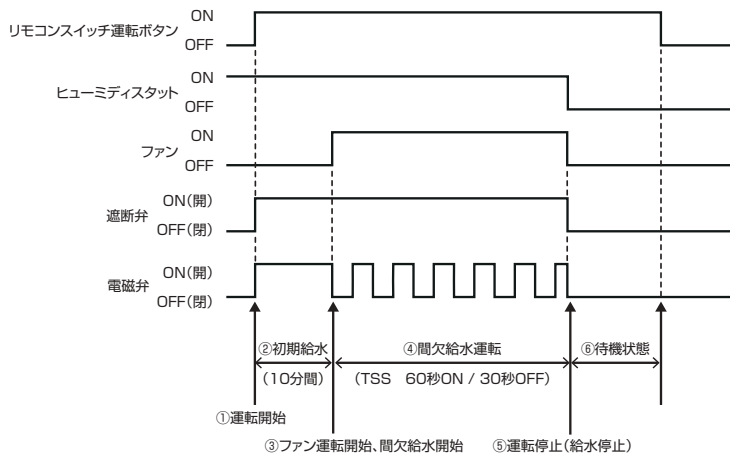
F: 運転ボタンを押すと、運転停止 (F) の状態になります。

※リモコンスイッチの運転ボタン OFF 後、または外部指令信号入力による運転 OFF 後の再運転時のファン強弱について  
運転停止前の状態が「強」であれば「強」で運転し、運転停止前の状態が「弱」であれば「弱」で運転を開始します。

## 6-2 基本的な運転動作

- 運転ボタン ON 時やヒューミディスタット ON 時など、加湿器の運転開始時はファンを停止した状態で連続給水を行って加湿モジュールを湿潤させ、給水による臭い成分などの洗い流しを行います (初期給水 10 分間)。
- 初期給水後、間欠給水 (TSS : Time Sharing System) となり、ファンが運転し加湿を行います。
- ヒューミディスタット OFF 時は給水とファンを停止させ待機状態となります。

図 -19 運転動作タイミングチャート



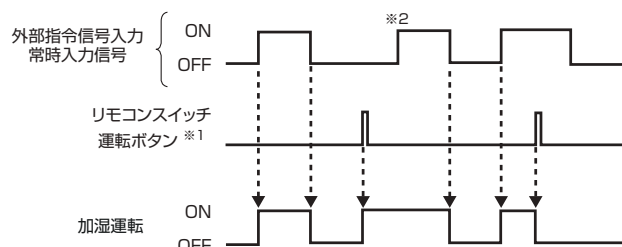
### 基本運転動作

- ① 運転ボタンまたは外部指令信号入力、およびヒューミディスタット ON による運転開始
  - ② 初期給水開始 (連続給水、ファン OFF)
  - ③ ファン運転開始、間欠給水開始
  - ④ 間欠給水運転 (ドレン排水用ポンプはドレンパン内の水位に応じて自動発停します)
  - ⑤ ヒューミディスタット OFF による運転停止
  - ⑥ 待機状態 (給水停止)
- ※VIB2400A-T、VIB4800A-T は待機中 30 分に 1 回、室内湿度を検知するために送風運転を行います。
- ※待機中、再度ヒューミディスタット ON により運転を再開した場合、初期給水の動作に戻ります。

### 6-3 リモコンスイッチ、外部指令信号入力の後押し優先機能

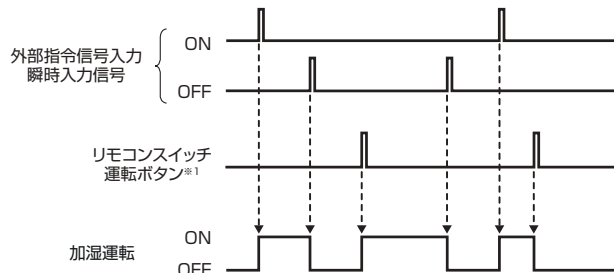
- リモコンスイッチでの発停の他に外部指令信号入力による発停を併用する場合、後押し優先で動作します。
- 外部指令信号入力の種類は常時入力と瞬時入力に対応しています。初期設定は常時入力信号となっています。瞬時入力信号とする場合は、P.36「4-5 外部指令信号入力による遠方発停（外部指令制御）」を使用する場合のディップスイッチ設定」を参照してディップスイッチの設定を変更してください。

図 -20 常時入力信号動作タイミングチャート  
(ヒューミディスタット ON 時)



- ※ 1：リモコンスイッチの運転ボタンは、停止中に押すと運転し、運転中に押すと停止します。
- ※ 2：後押し優先動作のため、外部指令信号入力強制停止させる場合は接点 ON → OFF 入力が必要になります。また、強制運転させる場合は接点 OFF → ON 入力が必要になります。

図 -21 瞬時入力信号動作タイミングチャート  
(ヒューミディスタット ON 時)

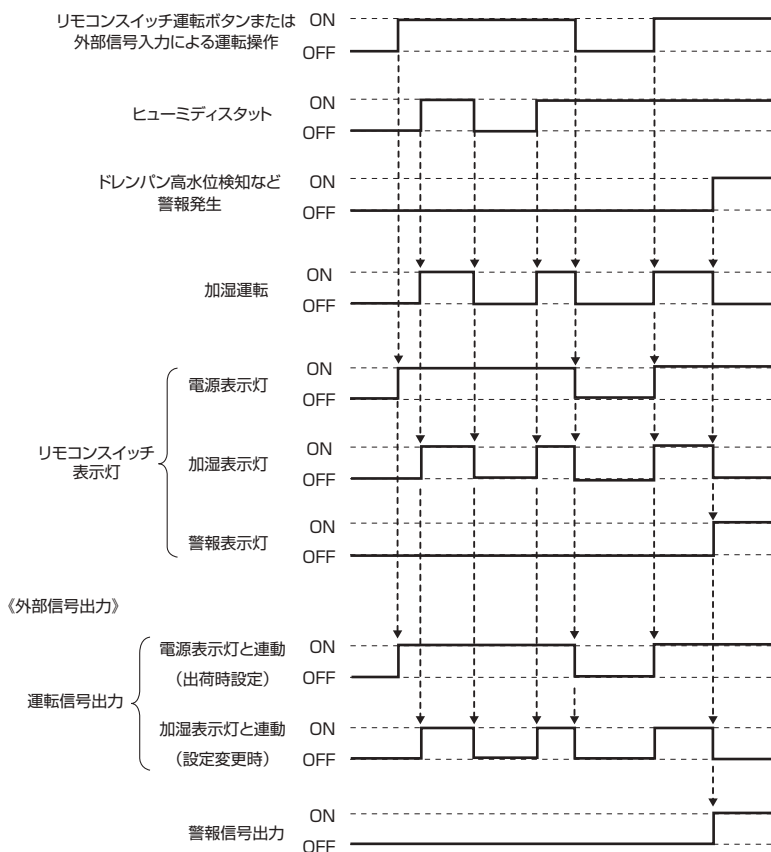


- ※ 1：リモコンスイッチの運転ボタンは、停止中に押すと運転し、運転中に押すと停止します。

### 6-4 運転動作と外部信号出力（運転信号、警報信号）

- 運転信号はリモコンスイッチまたは外部指令信号入力による運転操作状態であることを示す電源表示灯との連動、またはヒューミディスタット ON で加湿器が運転していることを示す加湿表示灯との連動のどちらかを選択できます。
- 初期設定では、電源表示灯と連動して出力するように設定されています。
- 加湿表示灯と連動させる場合には P.32「4-3 運転信号出力（外部信号出力）」を使用する場合のディップスイッチ設定」を参照してディップスイッチの設定を変更してください。
- 警報信号はドレンパン高水位検知など安全保護機能作動時に出力されます。警報発生時には警報が発生した加湿器の運転を停止し、リモコンスイッチの警報表示灯が点灯します。警報は自己保持されているので復旧するには警報の原因を解消した後に、加湿器元電源の漏電ブレーカを OFF にしてください（電源 OFF で自己保持が解除されます。リモコンスイッチの運転ボタンによる入／切では解除されません）。

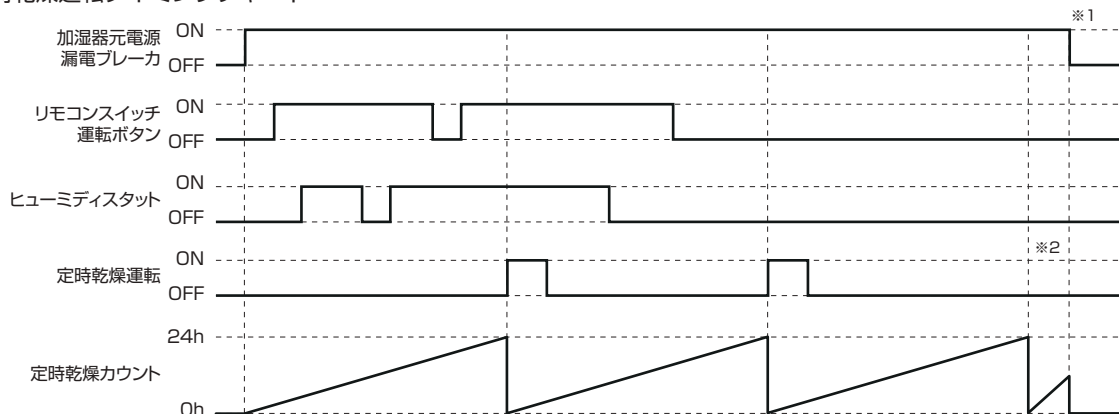
図 -22 運転信号出力タイミングチャート



## 6-5 定時乾燥運転について

- 定時乾燥運転は衛生的な空調を行うため、定期的に加湿モジュールを乾燥させる機能です。
- 加湿器元電源の漏電ブレーカ ON による電源供給により運転状況の監視を開始します。「加湿運転」を行った場合、24 時間カウントごとに定時乾燥運転が自動的にスタートし、約 1 時間で自動停止します。なお、定時乾燥運転を中止することはできません。またリモコンスイッチ「入/切」ボタンの操作は定時乾燥運転の動作には関与しません。

図-23 定時乾燥運転タイミングチャート



- ※ 1 加湿器元電源の漏電ブレーカー OFF により、定時乾燥カウントをリセットします。
- ※ 2 定時乾燥運転終了後、「加湿運転」を行わなかった場合、次の定時乾燥運転は行いません。

## 6-6 警報発生時の運転停止動作およびリモコンスイッチの表示について

- 本加湿器には表 12 の 3 種類の安全保護機能があります。安全保護機能作動時には取扱説明書を参照して処置を行ってください。

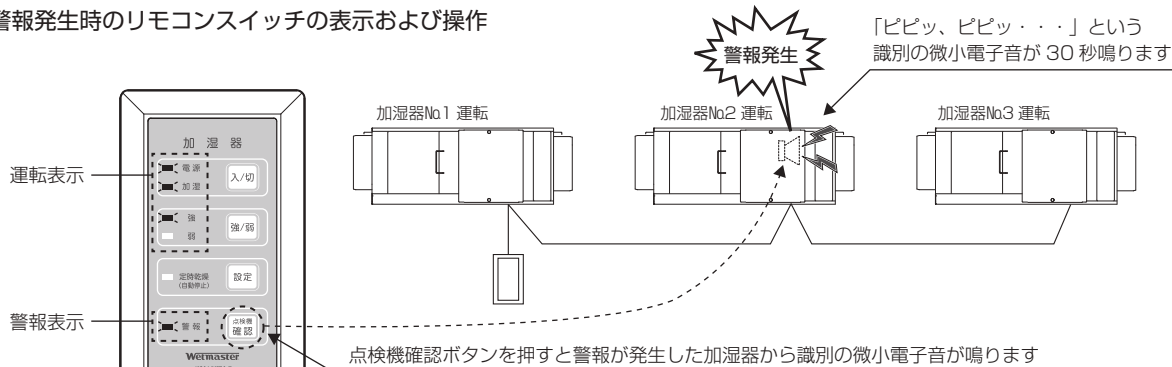
表 12 安全保護機能一覧

No.	安全保護機能	安全保護機能作動時				警報解除
		運転動作	リモコンスイッチ表示	外部信号出力	コントロールユニット LED	
1	ドレンパン高水位検知	運転停止	「警報表示灯」点灯	警報信号出力	LED3 (赤) 点灯	加湿器元電源の漏電ブレーカを OFF にすると警報表示灯の点灯が解除されます。警報の原因を解消した後に、電源を再投入してください。
2	給水電磁弁リーク検知				LED5 (黄) 点灯	
3	ドレン排水用ポンプ排水異常検知				LED5 (黄) または LED7 (緑) 点灯	

※ LED3、5、7 の点灯解除の方法は、P.33 図-14 を参照してください。

- 1 つのリモコンスイッチで加湿器本体を複数台制御する場合には、安全保護機能が作動した加湿器のみ運転を停止します。この時、リモコンスイッチの表示は運転状態の表示と警報発生時の表示の両方を表示します (図-21)。
- 警報発生時に点検機確認ボタンを押すと警報が発生した加湿器より微小電子音が 30 秒間鳴ります。加湿器本体からの電子音を確認することで警報が発生した加湿器が特定できます (微小電子音を途中で止めたい場合には点検機確認ボタンをもう一度押します)。

図-24 警報発生時のリモコンスイッチの表示および操作



※イラストは標準リモコンスイッチで表していますが、ヒューミ付リモコンの場合も同様です。

# 7 仕様

## 7-1 VIB2400-T、VIB4800-T (標準仕様)

\* 50/60Hz は共通仕様

機種・型式	滴下浸透気化式加湿器 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">VIB</span>		
型番	WM-VIB2400-T		WM-VIB4800-T
標準加湿能力	ファン強	2.4kg/h	4.8kg/h
	ファン弱	1.6kg/h	3.2kg/h
*上記は、ファン強：機外静圧 70Pa、吸込空気条件 23℃・40%RH、標準風量ファン強時 ファン弱：機外静圧 35Pa、吸込空気条件 23℃・40%RH、標準風量ファン弱時の値です。 標準加湿能力は機外静圧や吸込空気条件により変化しますので、諸条件が異なる場合は仕様書の加湿能力線図でご確認ください。			
標準風量	ファン強	710m <sup>3</sup> /h	1420m <sup>3</sup> /h
	ファン弱	450m <sup>3</sup> /h	900m <sup>3</sup> /h
*標準風量は機外静圧により変化しますので、諸条件が異なる場合は仕様書の加湿能力線図でご確認ください。			
運転音 <sup>*1</sup>	ファン強	35dB	39dB
	ファン弱	27dB	30dB
風量切替	リモコンスイッチ強・弱二段切替 (二位置式ヒューミディスタット取付可)		
定格電源	AC100V		
定格消費電力	ファン強	116W	210W
	ファン弱	48W	75W
電流値	ファン強	1.8A	3.2A
	ファン弱	0.7A	1.2A
運転時質量	31kg		49kg
ダクトサイズ	丸ダクト接続φ 250		
電圧許容範囲	± 10%以内		
使用条件	本体周囲温湿度	5～40℃ (凍結しないこと) 80%RH以下	
	吸込空気温度	5～40℃ (天井内本体周囲温度との差 10℃以内のこと)	
	給水水質	水道法水質基準に準ずる飲料水 <sup>*2</sup>	
	給水圧力、温度	0.05～0.5MPa、5～30℃	
給水方式	間欠給水方式 (TSS 制御) ※給水量 (VIB2400-T: 0.16ℓ/min ± 20%、VIB4800-T: 0.31ℓ/min ± 20%) ※運転開始時は加湿モジュールの湿潤・洗い流しのためにファンを停止した状態で 10 分間連続給水を行い、その後間欠給水となりファンを運転させ加湿を行います。		
瞬間最大排水量	約 1.5ℓ/min (ドレン排水用ポンプ始動時の瞬間流量)		
安全保護機能	1) ドレンパン高水位検知 (運転停止 / 警報表示灯点灯) 2) 給水電磁弁リーク検知 (運転停止 / 警報表示灯点灯) 3) ドレン排水用ポンプ排水異常検知 (運転停止 / 警報表示灯点灯)		
保健衛生対策	定時乾燥機能 (運転状況により自動的に加湿モジュールの強制乾燥を行います) *約 24 時間サイクルで加湿モジュールの強制乾燥を行い、臭気などの発生を予防します (約 1 時間で自動停止)。この場合、定時乾燥表示灯が点灯します。		
運転 / 停止	ヒューミディスタットの加湿信号により自動発停します。 任意の発停は「リモコンスイッチ操作による発停」と「外部指令信号入力による遠方発停 (外部指令制御の場合)」により行われ「後押し優先」となります。 *外部指令信号入力は「常時入力信号」と「瞬時入力信号」に対応しています。信号の種類に応じて加湿器本体コントロールユニットのディップスイッチ切替が必要です (初期設定は常時入力信号)。		
外部信号出力	1) 運転信号出力: 無電圧接点出力 (a 接点、125V 3A 抵抗負荷)、電源表示灯または加湿表示灯と連動 (初期設定は電源表示灯連動) 2) 警報信号出力: 無電圧接点出力 (a 接点、125V 3A 抵抗負荷)、自己保持		
アドレス設定	加湿器本体とリモコンスイッチの接続時にアドレス設定が必要となります。 *リモコンスイッチのオートアドレス機能により当該リモコンに接続されている本体接続台数を認識、設定します (リモコンスイッチの操作と表示灯の点滅回数で接続台数が確認できます)。		

※ 1 : 無響室に設置した加湿器本体の真下 1.5m で計測した値です。

※ 2 : 加湿器に使用する供給水は、必ず水道法に定められた水道法水質基準に適合した飲料水をご使用ください (上水道の使用を推奨します)。

飲料水の水質基準を満足した水でも地下水・井戸水・地下水を利用した専用水道・工業用水を利用した水の使用では、その含有成分の影響で早期のスケール発生やスケール飛散が生じる場合がありますのでご注意ください。

また、軟水器処理水および軟水器処理水と地下水・井戸水・地下水を利用した専用水道・工業用水との混合水は使用しないでください。軟質のスケールが析出し、飛散することがあります。



## 7-2 VIB2400A-T、VIB4800A-T (加湿器本体内部ヒューミディスタット内蔵仕様)

\* 50/60Hzは共通仕様

機種・型式	滴下浸透気化式加湿器 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">VIB</span>		
型番	WM-VIB2400A-T	WM-VIB4800A-T	
標準加湿能力	ファン強	2.4kg/h	4.8kg/h
	ファン弱	1.6kg/h	3.2kg/h
*上記は、ファン強：機外静圧 70Pa、吸込空気条件 23℃・40%RH、標準風量ファン強時 ファン弱：機外静圧 35Pa、吸込空気条件 23℃・40%RH、標準風量ファン弱時の値です。 標準加湿能力は機外静圧や吸込空気条件により変化しますので、諸条件が異なる場合は仕様書の加湿能力線図でご確認ください。			
標準風量	ファン強	710m <sup>3</sup> /h	1420m <sup>3</sup> /h
	ファン弱	450m <sup>3</sup> /h	900m <sup>3</sup> /h
*標準風量は機外静圧により変化しますので、諸条件が異なる場合は仕様書の加湿能力線図でご確認ください。			
運転音*1	ファン強	35dB	39dB
	ファン弱	27dB	30dB
風量切替	リモコンスイッチ強・弱二段切替		
定格電源	AC100V		
定格消費電力	ファン強	116W	210W
	ファン弱	48W	75W
電流値	ファン強	1.8A	3.2A
	ファン弱	0.7A	1.2A
運転時質量	31kg		
ダクトサイズ	丸ダクト接続φ 250		
電圧許容範囲	± 10%以内		
使用条件	周囲温湿度	5～40℃（凍結しないこと） 80%RH以下	
	入口空気温度	5～40℃（天井内本体周囲温度との差 10℃以内のこと）	
	供給水質	水道法水質基準に準ずる飲料水*2	
	供給水圧力、温度	0.05～0.5MPa、5～30℃	
給水方式	間欠給水方式（TSS制御） ※給水量（VIB2400A-T：0.16ℓ/min±20%、VIB4800A-T：0.31ℓ/min±20%） ※運転開始時は加湿モジュールの湿潤・洗い流しのためにファンを停止した状態で10分間連続給水を行い、その後間欠給水となりファンを運転させ加湿を行います。		
瞬間最大排水量	約 1.5ℓ/min（ドレン排水用ポンプ始動時の瞬間流量）		
湿度設定範囲	35～70%RH ※出荷時のヒューミディスタット設定湿度は40%RHです。設定湿度は、加湿器本体内部ヒューミディスタットユニットのディップスイッチの切り替えにより5%単位で変更が可能です。		
湿度設定ヒステリシス	- 5%RH		
安全保護機能	1) ドレンパン高水位検知（運転停止 / 警報表示灯点灯） 2) 給水電磁弁リーク検知（運転停止 / 警報表示灯点灯） 3) ドレン排水用ポンプ排水異常検知（運転停止 / 警報表示灯点灯）		
保健衛生対策	定時乾燥機能（運転状況により自動的に加湿モジュールの強制乾燥を行います） ※約24時間サイクルで加湿モジュールの強制乾燥を行い、臭気などの発生を予防します（約1時間で自動停止）。この場合、定時乾燥表示灯が点灯します。		
運転 / 停止	加湿器本体内部ヒューミディスタットの加湿信号により自動発停します。 また、任意の発停は「リモコン操作による発停」と「外部指令信号入力による遠方発停（外部指令制御の場合）」により行われ「後押し優先」となります。 ※外部指令信号入力は「常時入力信号」と「瞬時入力信号」に対応しています。信号の種類に応じて加湿器本体コントロールユニットのディップスイッチ切替えが必要です（初期設定は常時入力信号）。		
外部信号出力	1) 運転信号出力：無電圧接点出力（a接点、125V 3A抵抗負荷）、電源表示灯または加湿表示灯と連動（初期設定は電源表示灯連動） 2) 警報信号出力：無電圧接点出力（a接点、125V 3A抵抗負荷）、自己保持		
アドレス設定	加湿器本体とリモコンスイッチの接続時にアドレス設定が必要となります。 ※リモコンスイッチのオートアドレス機能により当該リモコンに接続されている本体接続台数を認識、設定します（リモコンスイッチの操作と表示灯の点滅回数で接続台数が確認できます）。		

\* 1：無響室に設置した加湿器本体の真下 1.5m で計測した値です。

\* 2：加湿器に使用する供給水は、必ず水道法に定められた水道法水質基準に適合した飲料水をご使用ください（上水道の使用を推奨します）。

飲料水の水質基準を満足した水でも地下水・井戸水・地下水を利用した専用水道・工業用水を利用した水の使用では、その含有成分の影響で早期のスケール発生やスケール飛散が生じる場合がありますのでご注意ください。

また、軟水器処理水および軟水器処理水と地下水・井戸水・地下水を利用した専用水道・工業用水との混合水は使用しないでください。軟質のスケールが析出し、飛散することがあります。

## 7-3 ヒューミ付リモコン

機種・型式	ヒューミ付リモコン
型番	WM-HRM102
本体周囲温湿度	5～40℃（凍結しないこと） 30～90% RH 以下（結露しないこと） * 当リモコンスイッチは室内専用です。室内に設置する場合においても、湯気、水しぶき、油などのかからない場所へ設置してください。
湿度設定範囲	35～70% RH * 出荷時のヒューミディスタット設定湿度は 40% RH です。設定湿度はリモコンスイッチ操作により 5%単位で変更が可能です。
湿度設定ヒステリシス	－ 5% RH
リモコンケース色	ホワイト（近似色 マンセル 5Y9/0.5）
アドレス設定	加湿器本体とリモコンスイッチの接続時にアドレス設定が必要となります。 * リモコンスイッチのオートアドレス機能により当該リモコンに接続されている本体接続台数を認識、設定します（リモコンスイッチ操作と表示灯の点滅回数で接続台数が確認できます）。





# ウェットマスター株式会社

本社営業本部 〒161-8531 東京都新宿区中落合 3-15-15 WM本社ビル TEL.03-3954-1101

●加湿器のメンテナンス、リニューアルに関するお問い合わせは、最寄りの各拠点へご連絡ください。

保守・サービス営業本部 〒161-8531 東京都新宿区中落合 3-15-15 カスタマーセンター TEL.03-3954-1110

大 阪 支 店 〒540-0024 大阪市中央区南新町1-1-2 タイムスビル TEL.06-4790-6606

名古屋営業所 〒464-0858 名古屋市千種区千種 1-15-1 ルミナスセンタービル TEL.052-745-3277

仙 台 営 業 所 〒981-3135 仙台市泉区八乙女中央 5-17-12 TEL.022-772-8121

福 岡 営 業 所 〒812-0004 福岡市博多区榎田 2-1-10 TEL.092-471-0371

- 業務用・産業用各種加湿器
- 流量管理システム機器／エアロQシステム・カラムアイ

<https://www.wetmaster.co.jp>